

事業報告書

2020（令和2）年度

社会福祉法人 愛 光

回顧と展望

「法人の進化と地域の回復」

■第Ⅳ期中期経営計画(2021年度～2023年度)策定

2005年の法人創立50周年に最初の「経営計画(改革期の社会福祉法人像を求めて)」を策定し、第Ⅱ期は2014年から3ヶ年の「中期経営計画」となった。第Ⅲ期中期経営計画(2017年度～2019年度)は、南部地域福祉センターの指定管理受託を機に圏域の福祉拠点構想と地域公益活動を主とした「ともいきプロジェクト」を立ち上げた。このことを踏まえ、2018年に見直しを行い、テーマを「地域包括ケアシステムの深化」とした。本来であれば2019年度が策定年度となるが、以下の理由から1年延長し2020年度を策定年度とした。

- ・2018年度に見直しによる計画変更があったこと。
- ・「ともいき」の名が徐々に浸透していることと事業が順調に推移していること。
- ・第5期佐倉市障害福祉計画と第7期佐倉市高齢者福祉・介護計画との計画年度と合わせることで計画策定の根拠が明確になること。
- ・障害福祉サービスと介護サービスの報酬改定等年度に合わせること。
- ・県内の台風被害、水害により有事の対応を再検討する必要があること。

策定にあたっては、外部機関を入れて約6ヶ月間、各事業所において「外部環境分析」「内部環境分析」を行い、法人経営を全員経営となるべくボトムアップ型の経営計画となるよう策定に取り組んだ。

～第Ⅲ期経営計画を振り返る～

対象期間であった2017年から2019年は、社会福祉法人の内部留保に関する指摘を受け、社会福祉法人そのものの見直しが議論され、改正社会福祉法の施行による、「経営組織のガバナンス強化」「地域における公益的取組の責務」「事業運営の透明性の向上」「財務規律の強化」を柱とする法改正が示された。議決機関としての評議員会の設置等直接的に法人運営に関わることは整理されていたため、規程等の整備で法改正の対応を行った。新たな取組としては、会計監査人の導入準備として会計事務所による巡回指導監査の実施であったが、収益規模による導入が順次見送られたため、法人としての管理体制の在り方を再考することとした。また、福祉充実残額については、5ヶ年の計画を作成し所轄庁に提出したが、法人の資金計画に基づいた計画となっていなかったこととニーズ調査等が不十分であることなど根拠の薄い新規事業を盛り込んでおり、有効な資金投入となっていなかったことは反省すべき点である。多額の内部留保があるとの指摘は、社会福祉充実残額が法人全体の1割足らずであったことから、内部留保の議論に疑問が残る。また、現に行っている社会福祉事業の継続を考えると自然災害や感染症による有事の対応や人材獲得のための経費や人件費の増額を踏まえると、自立・自律経営の観点から内部留保は必要であり、単に吐き出すものではない。確実性、効果的、適正に社会福祉事業を行う目的から再度、制度の在り方を見直すことに期待したい。

現役世代の減少にともない、福祉人材の確保は年々困難な状況となっているなか、離職防止と採用を重点実施項目とした。ここ10年の離職率は、高い年度で8%弱、低い年

度で2%弱と介護労働安定センターの実態調査結果(3ヶ年平均:14.7%)と比較すると低い傾向にある。一方採用については、リクルートにターゲットを絞り、パンフレットの改訂やSNSの活用、ホームページのリニューアルを実施している。新たにインターンシップも実施することで学生実習以外の採用効果は大きかったと評価できる。しかし、障害事業と高齢事業については、採用実態は良好であったが、児童分野や相談事業においては、毎年度人員不足となるなど専門職の育成を含めて、人事計画を練り直す必要があると感じた。

2018年度の経営計画の見直しは、当法人が事業所移転から取組んできた地域志向の事業展開を総括するものであることから、重点実施項目を「地域共生社会の実現」とした。佐倉市指定管理事業の南部地域福祉センターを南部圏域の福祉拠点として相談事業、総合事業の緩和型事業、地域公益事業である地域食堂、後援会主催の地域向けフォーラムや娯楽イベントを総称して「ともいき事業」として取組んだ。地域共生社会に関連した事業を検討するときは世代間交流の場の設定をするが、実施した地域食堂は、まさに子どもと高齢者との交流の場となった事業である。また、「ともいき事業」全体を考えると地区社協との連携やボランティアの活用など必要な地域資源が比較的、迅速かつ柔軟に行えたことは高く評価できると思う。

～第Ⅳ期中期経営計画に求めるもの～

テーマを「法人の進化と地域の回復」とした2021年度からの3ヶ年の計画は、法人の体力を検証し高めていく期間にしたい。社会福祉法人は、地域福祉の維持・向上が存在意義であり、目的である。その目的達成のために、経営基盤の強化、サービスの質の向上、事業経営の透明性の確保を図る経営が必要となる。策定にあたっては「ガバナンスの強化」「自立経営」「地域貢献」「人材育成」を4つの柱とする法人の基本計画と各事業所の戦略目標の達成状況の把握を定期的に行い計画の見直しも随時実施する。

ガバナンスの強化は、第三期の会計監査導入準備の巡回指導監査を今後の制度動向に関わらず継続していく。目的としては、内部統制の構築にあり、内部統制のデザインから整備評価、運用評価を経て事業・会計の内部統制マニュアルをゴールとしたい。

自立経営については、財務プロジェクトを設置し法人全体の財務状況分析と建物修繕計画(2021年～2035年)案の策定を行い計画的な資金投入、福祉充実計画策定、不採算事業検証などを行っていく。

地域貢献事業は、ともいき事業の充実を図りたいところであったが、新型コロナウイルス感染症の拡大で2020年度事業が止まってしまった。第Ⅳ期のテーマを地域の回復としたのも積み上げた事業や新規事業の構想が白紙になってしまい、現状復帰の目途が立っていない。コロナ渦ですべてがリセットされる今、地域の新たな福祉課題やニーズを再度掘り起こす必要がある。まずは、近隣住民のアンケート調査、新規ニーズの分析と既存の事業の検討、そして何より重要なのがボランティアの動向調査と心身ともに以前の活動ができる仕組み作りが必要であろう。じっくりと時間をかけて回復させていきたい。

人材育成は、社会福祉法人を取り巻く今後の外部環境の変化では、2040年に向けて生産年齢人口が激減するといわれ福祉人材の確保は困難になっていくことを見据える。第3期の離職や採用実績が良好である今だからこそ働きやすい、やりがいをもって働き続けられる職場環境作りを法人としてプロジェクトを立ち上げ進化させる必要がある。

(2021年5月 理事長:西原弘明)

2020（令和2）年度 事業報告

目 次

I. 法人本部

I－1	法人本部・・・・・・・・・・・・・・・・	1
-----	----------------------	---

II. 障害者支援事業部

II－1	ルミエール・・・・・・・・・・・・・・・・	15
------	-----------------------	----

（障害者支援施設）

II－2	めいわ・・・・・・・・・・・・・・・・	23
------	---------------------	----

（障害者支援施設）

II－3	リホープ・・・・・・・・・・・・・・・・	37
------	----------------------	----

（障害者支援施設）

II－4	日中活動・・・・・・・・・・・・・・・・	43
------	----------------------	----

（障害者支援事業部）

II－5	佐倉市よもぎの園・・・・・・・・	44
------	------------------	----

（就労継続支援B型）

II－6	ワークショップかぶらぎ・・・・・・・・	50
------	---------------------	----

（就労継続支援B型/自立訓練）

II－7	ジョーの家・・・・・・・・・・・・・・・・	56
------	-----------------------	----

（共同生活援助）

II－8	山王の家・・・・・・・・・・・・・・・・	61
------	----------------------	----

（共同生活援助）

II－9	事業部統合運営部門・・・・・・・・	66
------	-------------------	----

（健康管理/食事/ボランティア）

Ⅲ. 高齢者福祉事業部

Ⅲ－１	はちす苑・・・・・・・・・・・・・・・・	75
-----	----------------------	----

Ⅳ. 地域福祉事業部

Ⅳ－１	南部児童センター／学童保育所・・・・・・・・	93
-----	------------------------	----

Ⅳ－２	総合相談センター・・・・・・・・	99
-----	------------------	----

（佐倉市南部地域包括支援センター/アシスト）

Ⅳ－３	南部地域福祉センター・・・・・・・・	106
-----	--------------------	-----

I . 法 人 本 部

1. 概況

■コロナに翻弄された1年

2020 年は、想像もしなかった「新型コロナウイルス感染症」によって、全世界が振りまわされ歴史に残る1年となってしまった。2019 年 12 月に中国で発見された新種の感染症は、都市封鎖や急ピッチの病院建設の映像が流れたが、当時は他人事の感覚であった。その後ヨーロッパ中に感染が拡がり、WHO（世界保健機構）によるパンデミックが宣言されると、緊張感の世界を駆けめぐった。日本では、1 月に初めて感染が発見、クルーズ船でのクラスター、2 月に小中高校の臨時休校、3 月には東京五輪の延期、マスクや消毒液等の入手が困難など暗いニュースが続き、危機感を増長させることになった。

2020 年度がスタートするや、千葉県内障害者施設でのクラスターの発生、緊急事態宣言の発令など不安と戸惑いの始まりであった。法人では感染症対策委員会を中心に、その都度厚労省や各自治体、関係団体等の新型コロナウイルスに関する情報を入手し、関係者間で協議し対応策を打ち出した。法人内には、「新型コロナウイルス情報」として、政府の方針、社会の状況、法人の対応方針などを記載し発信した。

全国の感染者数は、5 月末頃には落ち着いた感もあったが、7 月から 8 月にかけて「第二波」が発生。気温が下がり始めた 11 月以降には再び感染者が増え始め「第三波」の襲来となり、1 月にピークを迎えた。1 月には、千葉県を含む 11 都府県に再び緊急事態宣言が発令された。

「三密」「ソーシャルディスタンス」「新しい生活様式」など、これまで耳にしたことのない言葉が日常化し、手洗い、マスク着用の習慣化など、社会生活を一変させた。

福祉サービスを進める上では、感染防止策の関係上行事やイベント、家族との面会やボランティアの受け入れなどを中止にせざるを得なかった。利用者は予期しない出来事に不安を感じるとともに、これまでにない制限でストレスを感じるケースもあった。支援場面では、知的障害や認知症等により利用者の多くが手洗いやマスクの着用が難しく、援助なしでは予防することができない利用者が大半である。また、感染弱者と言われる利用者は、基礎疾患を有する場合もあり、感染すると生命に直結しかねない。さらに、この間他の福祉施設で多数のクラスターが発生したが、そのほとんどが職員を媒介していることが明らかだった。そのため施設内部に感染を持ち込まないことを前提に、徹底した感染防止策が求められた。

この間、福祉サービスを続ける中で、利用者 3 名、職員 1 名の感染が時期をずらして発生した。また第三波のピーク時の 1 月には、職員の家族等（10 名）で感染が続発、職員、職員家族で 20 名以上が濃厚接触、PCR 検査を受ける事態もあった。ただ当法人の規模で、幸いにも感染者が少人数で抑えられたのは、職員の感染対策の意識の高さと努力の賜物と思う。

人とのつながりで弊害を及ぼす感染症であるが、福祉サービスでは信頼や人間関係づくりが欠かせない要素の一つでもある。皮肉なことに、コロナ禍によって大切な人との密接な関係や人とのつながりの重要性を改めて認識することにもなった。

〈法人での感染症対策の主な要点〉

- | | |
|----------------------|----------------------|
| ①新型コロナウイルス対応マニュアルの作成 | ②愛光新型コロナ対応ガイドラインの作成 |
| ③感染利用者発生時の援助業務志願者調査 | ④感染利用者対応時の特別手当の設置 |
| ⑤感染者、濃厚接触者の特別休暇等の設置 | ⑥愛光秋まつり、後援会イベント等の中止 |
| ⑦障害施設日中活動の分離（各施設別） | ⑧インフルエンザワクチン接種助成（職員） |
| ⑨新型コロナ特別慰労金支給 | ⑩外来者、家族等の面会表作成 など |

■エッセンシャルワーカー

エッセンシャルワーカーとは、生活の維持に欠かせない仕事を担っている人のことを意味する。新型コロナウイルスによって、多くの人が自粛生活を送る中、感染リスクと戦いながら働き続ける人への感謝と敬意を込めた呼称として、俄然注目されるようになった。主に、医療、福祉、農業、小売・販売、通信、公共交通機関など、社会生活を支える仕事が行われている。

私たち福祉サービスの業務は、社会の中では目立たず、地味な仕事ではあるが、社会の役に立っているということを改めて認識されることになった。だからこそ、気を引き締めて必要性を求める人たちのために襟を正して、邁進しなければならないと思う。

〈新型コロナウイルス感染症に関する社会、法人の動き、概要〉

月	社会の動き	法人の動き
4月	2 県内障害者施設でクラスター発生 7 「緊急事態宣言」発令(7都道府県) 16 「緊急事態宣言」全国に発令 30 「第1波」ピーク感染者 328 人	7 障害者施設日中活動、各委員会等中止 利用者発熱 フローチャート作成 14 職員発熱時フローチャート、事業縮小の休業手当方針発表 17 学童保育所休所
5月	14 緊急事態宣言 39 県解除「新しい生活様式」提唱 25 緊急事態宣言全面解除	1 児童センター、学童保育所、地域福祉センター休所 15 利用者職員のフローチャート見直し (37.5℃撤廃)
6月	2 「東京アラート」発信 12 都道府県またぐ移動の自粛要請	26 愛光秋まつり、地域食堂中止、ボラ受入中止、家族 面会時間制限、介護実習再開
7月	12 「大阪モデル」黄色信号点灯 15 東京都「感染拡大警報」発信 22 「GOTO トラベル」開始	10 感染症管理認定看護師派遣研修参加
8月	7 「第2波」ピーク感染者 1,605 人 8 新型コロナお盆帰省に各自治体注意喚起 11 世界の感染者 2000 万人超	6 感染利用者発生時の援助業務志願調査 11 家族面会、利用者帰省中止、新型コロナウイルス感 染症マニュアル作成 17 根郷通所利用者陽性発生。対策本部設置。根郷通所 休止(9/1 まで)。めいわ、根郷通所利用者職員 PCR 検 査実施(利用者 1 名陽性発生他陰性) 28 佐倉市感染症特別慰労金支給
9月	19 プロ野球 Jリーグ観客数上限緩和	2 根郷通所事業再開。職員の 1 日 2 回検温実施 24 法人ガイドライン作成
10月	1 「GOTO トラベル」利用拡大(東京都含む) 2 新型コロナワクチン接種無料方針発表 15 厚労省高齢者施設利用者等の面会の緩和推進 23 感染リスクが高まる「5つの場面」提唱	5 インフルエンザワクチン接種助成案内 16 面会緩和等に関するガイドライン変更
11月	16 札幌不要不急の外出自粛 27 大阪飲食店営業時間短縮	11 冬場の感染症対策発信(換気と加湿) 25 感染拡大に伴う家族面会、理美容の中止
12月	3 大阪独自の「非常事態宣言」 8 首都 4 都県知事共同メッセージ 15 「GOTO トラベル」全国一斉停止 25 新型コロナ変異株国内初認	7 感染症アドバイザー対策講座 10 年末年始の感染症対策発信
1月	7 首都 4 都県緊急事態宣言 8 「第3波」ピーク感染者 7,949 人 13 関西等 7 府県に緊急事態宣言(11 都府県)	7 佐倉事業所職員陽性発生 1 名 (職員家族の感染多数発生、職員の濃厚接触、PCR 受 診者等多数発生) 12 緊急事態宣言下での感染対策発信(実習受入中止)
2月	17 コロナワクチン先行接種始まる 28 緊急事態宣言 6 府県解除	15 緊急包括支援慰労金(国)支給 22 コロナワクチン接種、入所職員 PCR 検査情報提供
3月	5 首都 4 都県緊急事態宣言 2 1 日まで延長	23 入所施設職員 PCR 検査実施(1 回目全員陰性) 佐倉市コロナワクチン接種情報(高齢施設優先)

(副理事長 池田 勝也)

1 2020（令和2）年度実績

（1）財務（単位：百万円）

	令和2 年度	前年	増減	本部	相談	障害	高齢	地域	無償 貸与
サービス活動収益	1,997	1,902	95	1	78	1,292	445	186	0
経常増減差額	-14	-60	-45	-118	-5	119	-22	22	-11
経常増減差額比率 （％）	-0.7	-3.1			-6.2	9.2	-4.9	11.6	

※内部取引相殺および、単位未満の端数を四捨五入して表示しているため、表中の総額と内訳の合計及び比率が一致しない場合がある。

（2）個別運営実績

経営改革	・第Ⅳ期中期経営計画の策定 ・大規模修繕計画策定
新規事業	・佐倉市南部地域福祉センター指定管理者受託（2021～2025 年度）
事業運営	・内部統制構築推進（本部・各事業所 巡回指導監査実施）
地域貢献活動	《まちづくりへの協力》 ・地域環境美化（「愛の灯台花壇」の設置・自治会清掃活動への参加） ・地域福祉活動への参加（地区社協・まちづくり協議会） 《その他の地域貢献・交流活動》 ・地域食堂ともいき ・佐倉市南部地域福祉センター愛光たすけあい移送サービス ・城の辺地区社協買い物支援協力 ・施設利用者の音楽活動 ・小学生書き初め展 ・ボランティアの育成 ・地域防災～「福祉避難所」
設備管理	・ルミエール・めいわ 浴室、給湯工事 ・視障センター エレベーター更新工事 ・はちす苑 ルームエアコン改修、地下ピット水抜き工事 ・おひさま 各所扉修繕工事
後援会	・ギャラリーあいこう ・地域お祭りへの支援 ・子ども食堂の支援 ・小学生サッカー大会支援（根郷ガーデンカップサッカー大会）

(3) プロジェクト

プロジェクト名称	活動内容	活動実績
内部統制構築PT	巡回指導監査検証 外部監査導入準備	巡回指導監査実施(本部・各事業所) 検証継続
ともいきPT	地域共生事業の検討 地域包括ケアシステムの構築	地域食堂の継続
防災対策PT	事業継続計画(風水害)の見直し 災害時備蓄品の整備	事業継続計画(風水害)の作成 災害時備蓄品の整備
ICT活用PT	業務効率化の推進	ICT活用計画検討継続

2 事業の現況(2020年3月31日現在)

(1) 佐倉事業所(所在地/千葉県佐倉市山王2-37-9)

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
ルミエール	第一種事業	【種別】障害者支援施設 【定員】生活介護・施設入所支援 60 名 【認可】2007(平成 19)年 11 月 1 日	片野明美
	第二種事業	【種別】障害福祉サービス事業(短期入所) 【定員】3 名 【認可】2006(平成 18)年 10 月 1 日	
	公益事業	【種別】地域生活支援事業(日中一時支援事業) 【認可】2006(平成 18)年 10 月 1 日	
めいわ	第一種事業	【種別】障害者支援施設 【定員】生活介護 80 名(めいわ 56 名・根郷通所 24 名) 施設入所支援 56 名 【認可】2008(平成 20)年 8 月 1 日	安部一義
	第二種事業	【種別】障害福祉サービス事業(短期入所) 【定員】4 名(+空床利用) 【認可】2006(平成 18)年 10 月 1 日	
	公益事業	【種別】地域生活支援事業(日中一時支援事業) 【認可】2006(平成 18)年 10 月 1 日	
リホープ	第一種事業	【種別】障害者支援施設 【定員】生活介護・施設入所支援 50 名 【認可】2008(平成 20)年 4 月 1 日	中川光男
	第二種事業	【種別】障害福祉サービス事業(短期入所) 【定員】2 名(+空床利用) 【認可】2006(平成 18)年 10 月 1 日	
	公益事業	【種別】地域生活支援事業(日中一時支援事業) 【認可】2006(平成 18)年 10 月 1 日	

(2) 佐倉太田事業所 (所在地/千葉県佐倉市太田 1145-1)

施設等の名称	事業区分	事業内容	管理者
はちす苑	第一種事業	【種別】特別養護老人ホーム 【定員】54名 【認可】1999（平成11）年10月1日	麻生知明
ショートステイ はちす苑	第二種事業	【種別】老人短期入所事業 【定員】併設型20名（及び空床型） 【認可】2000（平成12）年1月1日	
		【種別】共生型短期入所事業 【定員】6名 ※老人短期入所事業定員に含む 【認可】2018（平成30）年9月1日	
デイサービス はちす苑		【種別】老人デイサービス事業 【定員】35名 【認可】1999（平成11）年10月1日	
		【種別】共生型生活介護事業 【定員】35名 ※老人デイサービス事業定員に含む 【認可】2018（平成30）年7月1日	
ホームヘルプサービス はちす苑		【種別】老人居宅介護等事業 【認可】2000（平成12）年4月1日	
ケアプラン はちす苑		【種別】居宅介護支援事業 【認可】2000（平成12）年4月1日	麻生知明

(3) 佐倉宮前事業所 (所在地/千葉県佐倉市宮前 2-13-1)

※佐倉市指定管理事業

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
佐倉市 よもぎの園	第二種事業	【種別】障害福祉サービス事業(就労継続支援B型) 【定員】40名 【認可】2008(平成20)年4月1日	大里 英巳

(4) 佐倉鎭木町事業所 (所在地/千葉県佐倉市鎭木町 352-2)

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
ワークショップ かぶらぎ	第二種事業	【種別】障害福祉サービス事業(就労継続支援B型) 【定員】14名 【認可】2015(平成27)年6月1日	近藤美貴
		【種別】障害福祉サービス事業(自立訓練〈生活訓練〉) 【定員】6名 【認可】2015(平成27)年6月1日	

(5) 佐倉城事業所 (所在地/千葉県佐倉市城 399-3)

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
ジョーの家	第二種事業	【種別】障害福祉サービス事業 (介護サービス包括型指定共同生活援助) 【定員】4名 【認可】2009(平成21)年4月1日	近藤美貴

(6) 佐倉大篠塚事業所 (所在地／千葉県佐倉市大篠塚 1587 南部保健福祉センター内)

※佐倉市指定管理事業

事業所の名称		事業区分	事業内容	管理者
佐倉市立南部 児童センター		第二種 事業	【種別】児童厚生施設 (児童センター) 【受託】2014 (平成 26) 年 4 月 1 日	吉田 信之
佐倉市立	根郷学童保育所 第二根郷学童保育所 山王学童保育所 大崎台学童保育所 寺崎学童保育所 弥富学童保育所 和田学童保育所	第二種 事業	【種別】放課後児童健全育成事業 (学童保育所) 【受託】2014 (平成 26) 年 4 月 1 日	
佐倉市南部 地域福祉センター		公益 事業	【種別】地域福祉センター 【受託】2016 (平成 28) 年 4 月 1 日	横川 民夫
総合相談 センター	佐倉市南部 地域包括支援センター	公益 事業	【種別】地域包括支援センター (業務委託) 【認可】2009 (平成 21) 年 4 月 1 日	高橋 早矢香
	佐倉市障害者 生活支援センター アシスト	第二種 事業	【種別】障害者相談支援事業 (一般・特 定相談) (業務委託) 【受託】2002 (平成 14) 年 4 月 1 日	小平 和俊 ※総合相談センタ ー所長; 森由美子

(7) 佐倉山王・太田事業所 (所在地／千葉県佐倉市太田 1879-1)

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
山王の家	第二種 事業	【種別】障害福祉サービス事業 (介護サービス包括型指定共同生活援助) 【定員】10 名 【認可】2017 (平成 29) 年 11 月 1 日	安部一義

3 理事会・評議員会

(1) 理事会の開催状況

	開催日	場所	出席	欠席	主な議題
第1回 (296回)	7月5日 (日)	愛光本館 第1会議室	理事 10 名 監事 2 名	0 名	2019（令和元）年度 事業報告について 2019（令和元）年度 決算報告について 監事監査報告 2020 年度第1回（通算第 65 回）評議員招集について
第2回 (297回)	7月21日 (火)	みなし決議 (書面決議)	理事・監事 13 名同意		評議員会招集について
第3回 (298回)	9月26日 (土)	愛光本館 第一会議室	理事 10 名 監事 1 名	1 名	諸規程の改正について
第4回 (299回)	11月28日 (土)	愛光本館 第1会議室	理事 8 名 監事 2 名	2 名	2020（令和2）年度第1次補正予算について 諸規程の制定について 2020（令和2）年度第2回（通算 66 回）評議員会招集について
第5回 (300回)	1月23日 (土)	みなし決議 (書面決議)	理事・監事 13 名同意		2021（令和3）年度理事会議決事項契約について
第6回 (301回)	3月13日 (土)	愛光本館 第1会議室	理事 10 名 監事 1 名	1 名	2020（令和2）年度 第2次補正予算案について 2021（令和3）年度 事業計画案、予算案について 諸規程の改正および制定について 定款第38条の適用について 2020（令和2）年度第3回（通算第 67 回）評議員会招集について

※（ ）内は通算回数

(2) 評議員会の開催状況

	開催日	場所	出席	欠席	主な議題
第1回 (65回)	7月31日 (金)	みなし決議 (書面決議)	全評議員 13 名同意		2019（令和元）年度 事業報告について 2019（令和元）年度 決算報告について
第2回 (66回)	12月12日 (土)	愛光本館 第1会議室	11 名	2 名	2020（令和2）年度第1次補正予算について 定款第38条の適用について
第3回 (67回)	3月27日 (土)	愛光本館 第1会議室	11 名	2 名	2020（令和2）年度 第2次補正予算案について 2021（令和3）年度 事業計画案、予算案について

※（ ）内は通算回数

(3) 理事・監事・顧問

任期/2019年6月23日～2021年6月定時評議員会終結時

役職名	氏 名	現 職 等	選任領域区分
理事長	西原 弘明	総括施設長	法人職員
副理事長	河野 尋幸	元行政関係者	地域の福祉関係者
〃	池田 勝也	愛光 高齢者福祉事業部長	法人職員
業務執行理事	河田ひろみ	愛光 障害者支援事業部長	法人職員
〃	吉田 信之	愛光 地域福祉事業部長	法人職員
〃	片野 明美	愛光 ルミエール施設長	法人職員
〃	池田 浩一	愛光 事務局長	法人職員
理 事	酒井綱一郎	会社取締役	地域の福祉関係者
〃	吉野 智	弁護士事務所 所長	法律家
〃	松山 毅	大学 先任准教授	社会福祉事業の学識経験者
監 事	滑川 里美	社会福祉士事務所 所長	社会福祉有識者
	井上 郷	税理士事務所 所長	財務有識者
会長	法澤 奉典	愛光 元理事長	
顧 問	荒木 直躬	社会福祉法人 理事長	
	岡田 正平	愛光後援会 元会長	
	島本 賢一	元愛光家族協議会 会長	
	長谷川匡俊	学校法人 理事長	
	望月 清義	元市議会議員	
	田邊 正雄	元社会福祉協議会 理事	

(4) 評議員

任期/2017年4月1日～2021年6月定時評議員会終結時

役職名	氏 名	現 職 等	選任領域区分
評議員	足立 元秀	地区社会福祉協議会 会長	地域の福祉関係者
〃	伊佐 勉	福祉関係団体役員	地域の福祉関係者
〃	石毛 滋之	愛光家族協議会 会長	利用者の家族の代表
〃	大賀 四郎	福祉関係団体 役員	地域の福祉関係者
〃	小川 雅夫	県教育相談員	社会福祉事業の学識経験者
〃	長田 研自	会社役員	地域の後援者
〃	葛西 広子	元市教育委員会教育長	社会福祉事業の学識経験者
〃	黒田 聡	福祉関係団体	地域の福祉関係者
〃	古山 日出男	(福) 千葉県視覚障害者福祉協会会長	地域の福祉関係者
〃	近藤 武雄	元自治会長	地域の福祉関係者
〃	中澤 昌子	元県立特別支援学校PTA連合会会長	地域の福祉関係者
〃	布施 千草	短期大学福祉学科学科長	社会福祉事業の学識経験者
〃	山崎 昭造	福祉関係団体 役員	地域の福祉関係者

(5) 評議員選任・解任委員

任期/2017. 3. 2～2021. 6

職 名	氏 名	任 期	備 考
監 事	滑川 里美	2017. 3. 2～2021. 6	社会福祉士事務所 所長
監 事	井上 郷	2017. 6. 24～2021. 6	税理士事務所 所長
外 部 委 員	稲村 多恵子	2017. 3. 2～2021. 6	元地区社会福祉協議会 会長
外 部 委 員	小林 眞智子	2017. 3. 2～2021. 6	地区民生委員児童委員協議会長
事 務 局	宮本 典昭	2017. 3. 2～2021. 6	愛光職員

4 職員の状況

(1) 採用・退職・異動 (2020年4月1日～2021年3月31日)

事業所名		2020. 4. 1 現員数	2020. 4. 1～2021. 3. 31				2021. 3. 31 現員数
			採用	異動 入	異動 出	退職	
本 部		16 (4)	1 (1)				16 (4)
地域福祉 事業部	アシスト	5 (1)					5 (1)
	南部地域包括支援センター	9	1			1	9
	南部地域福祉センター	12 (9)	2 (2)	1		2 (2)	11 (8)
	南部児童センター 学童保育所	48 (32)	14 (12)	5 (1)	3 (2)	20 (14)	46 (33)
障害者支援 事業部	ルミエール	42 (7)	5 (2)	4	2 (1)	4 (3)	41 (6)
	めいわ	41 (5)	3	5	4	2 (1)	41 (5)
	根郷通所センター	21 (11)		1	1		21 (11)
	リホープ	32 (6)	1	3	2	1	32 (6)
	よもぎの園	14 (7)		4 (1)	2		12 (7)
	ワークショップかぶらぎ	7 (1)					7 (1)
	ジョー家	3 (3)	1 (1)			1 (1)	2 (2)
	山王の家	5 (5)				1 (1)	5 (5)
	福祉相談室	2 (1)					2 (1)
	栄養管理室	3					3
	健康管理センター	5 (3)	2 (1)	1 (1)		1 (1)	7 (4)
高齢者福祉事業部 (はちす苑)		90 (44)	11 (8)	4 (2)	7 (4)	6 (2)	95 (50)
総 数		355 (139)	41 (27)	28 (5)	21 (7)	39 (25)	355 (144)

★育休・休職は現員から除く

★雇用形態変更・育休、休職の出入は、異動入・出にてカウントする

★年度末日退職者及び異動退職者は年度末日現員に含む

★年度当初採用者及び異動入職者は年度当初現員に含む

★事業所内での異動はカウントしない

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数()内に表示

(2) 採用形態別 (2020 年 4 月 1 日現在)

事業所名	総 数			正 職 員			サポート職員			パート職員		
	総数	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女
総 数	355	118	237	175	90	85	41	8	33	139	20	119
本部	16	8	8	7	5	2	5		5	4	3	1
アシスト	5	2	3	4	2	2				1		1
地域包括支援センター	9	2	7	7	2	5	2		2			
南部地域福祉センター	12	7	5	2	1	1	1		1	9	6	3
児童センター・学童	48	4	44	7		7	9	2	7	32	2	30
ルミエール	42	19	23	34	19	15	1		1	7		7
めいわ	41	19	22	31	17	14	5	2	3	5		5
根郷通所センター	21	9	12	9	7	2	1	1		11	1	10
山王の家	5		5							5		5
リホープ	32	14	18	25	13	12	1	1		6		6
よもぎの園	14	5	9	6	4	2	1		1	7	1	6
ワークショップかぶらぎ	7	3	4	5	3	2	1		1	1		1
ジョーの家	3		3							3		3
福祉相談室	2	1	1	1	1					1		1
栄養管理・健康管理	8		8	5		5				3		3
高齢者福祉事業部	90	25	65	32	16	16	14	2	12	44	7	37

★常勤嘱託はサポート職員に含む

(3) 役割等級別 (2020 年 4 月 1 日現在)

事業所名	総数	正 職 員					サポート職員	パート職員	
		2 等級	3 等級	4 等級	5 等級	6 等級	1 等級	1 等級	2 等級
	282	129	33	6	6		30	73	5
本部	12	2	2	1	2		3	2	
アシスト	5	4						1	
地域包括支援センター	9	4	3				2		
南部地域福祉センター	2		1		1				
児童センター・学童	14	4	3				7		
ルミエール	42	30	3		1		1	7	
めいわ	40	27	2	1	1		4	5	
根郷通所センター	18	5	3	1				9	
山王の家	5							5	
リホープ	31	20	4		1			6	
よもぎの園	14	4	1	1			1	7	
ワークショップかぶらぎ	6	2	1	1			1	1	
ジョーの家	3							3	
福祉相談室	2	1						1	
栄養管理・健康管理	8	4	1					2	1
高齢者福祉事業部	71	22	9	1			11	24	4

★常勤嘱託、特別雇用、管理宿直、配食サービス、児童センター・学童保育所パート、地域福祉センターパート、登録ヘルパーは役割等級なし

(4) 年齢構成 (2020 年 4 月 1 日現在)

総 数	年 齢	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上
	355	1	62	52	79	81	80
本部	16			2	4	6	4
アシスト	5			1	2	2	
地域包括支援センター	9		1	1	4	3	
福祉相談室	2			2			
南部地域福祉センター	12				1	1	10
児童センター・学童	48	1	4	2	4	18	19
ルミエール	42		14	12	9	4	3
めいわ	41		16	9	6	9	1
根郷通所センター	21		5		5	4	7
山王の家	5					2	3
リホープ	32		12	6	6	5	3
よもぎの園	14			5	5	3	1
ワークショップかぶらぎ	7			2	5		
ジョーの家	3				1	1	1
栄養管理・健康管理	8			1	4	3	
高齢者福祉事業部	90		10	9	23	20	28

(5) 免許・資格 (2020 年 4 月 1 日現在)

総 数	資格所持 延べ人数	社会 福祉士	精神 保健 福祉士	介護支援 専門員	介護 福祉士	社会福祉 主事	歩行 訓練士	保育士	幼稚園 教諭	小中高 教員
	343	34	15	6	126	106	3	23	13	17
本部	14	1		2	3	7		1		
アシスト	8	3	3			2				
地域包括支援センター	14	6	2		3	1	1	1		
福祉相談室	1					1				
南部地域福祉センター	12				1	2			9	
児童センター・学童	29	1			2	4		9		13
ルミエール	56	4	1	2	23	18		6	2	
めいわ	60	6	2	2	23	20	1	4	2	
根郷通所センター	11					9		1		1
山王の家	9				7	2				
リホープ	36	5	4		7	18	1	1		
よもぎの園	11	1			6	4				
ワークショップかぶらぎ	13	4	1		4	4				
ジョーの家	1									1
栄養管理・健康管理										
高齢者福祉事業部	68	3	2		47	15				1

5 諸規程整備状況

改正日	施行日	規 程	区分	整 備 内 容
2020. 3. 14	2020. 4. 1	就業規則	改正	WS かぶらぎ休憩時間および総合相談センターの勤務時間変更
2020. 9. 26	2020. 9. 26	給与規程	改正	欠勤および求職者の資金（第 8 条）詳細の追加。賞与の算定（第 4 0 条）詳細の削除。昇給・降給（第 44 条）詳細の追加
2020. 9. 26	2020. 10. 1	就業規則	改正	退職手当金（第 8 条）詳細の追加
2021. 3. 13	2021. 4. 1	給与規程	改正	新型コロナウイルス感染症対応特別手当（第 3 7 条）追加に伴う変更
2021. 3. 13	2021. 4. 1	サポート職員給与規程	改正	住宅手当・家族手当・新型コロナウイルス対応特別手当の追加
2021. 3. 13	2021. 4. 1	パート職員給与規程	改正	新型コロナウイルス感染症対応特別手当の追加
2021. 3. 13	2021. 4. 1	特別雇用職員給与規程	改正	新型コロナウイルス感染症対応特別手当の追加
2021. 3. 13	2021. 4. 1	嘱託職員就業規則	改正	嘱託職員給与規程制定による変更および追加
2021. 3. 13	2021. 4. 1	嘱託職員給与規程	制定	嘱託職員給与規程の新規制定

6 リスクマネジメント（福祉サービスにかかる事故と苦情の状況）

（１）事故の状況

	総数	本部	ルミール	めいわ	リホープ	はちす苑	よもぎの園	WSかぶらぎ	ジョーの家	山王の家	相談	児童センター	学童	地域福祉センター
（総数）	51	0	9	9	3	14	2	1	1	0	5	3	14	1
死亡に至った事例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨折等重症に至った事例	12	0	1	4	0	4	1	0	1	0	0	0	3	0
感染症発生事例	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
裂傷・打撲等通院治療事例	22	0	5	5	1	7	0	0	0	0	0	0	4	0
無断外出	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両事故（物損）	7	1	0	0	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0
誤投薬	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	4	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0

（２）苦情

	総数	本部	ルミール	めいわ	リホープ	はちす苑	よもぎの園	WSかぶらぎ	ジョーの家	山王の家	相談	学童	地域福祉センター
（総数）	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
食事等サービス内容に関すること	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員の対応、行動に関すること	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
介護、支援方針に関すること	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
設備、職員配置に関すること	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他の利用者に関すること	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（３）第三者委員の活動状況

施 設	担当委員	日 付	活動内容
リホープ	四方田委員	10月4日	利用者との懇談方式
めいわ	高石委員	7月29日	利用者との懇談方式
よもぎの園	加藤委員	12月25日	家族と懇談方式・利用者と個別面談
ワークショップかぶらぎ	四方田委員	12月25日	家族と懇談方式
ジョーの家	四方田委員	12月25日	利用者との懇談方式

7 事業経過（本部関係／2019. 4. 1～2020. 3. 31）

月	行事(会議 研修会 行事等)	業務執行理事会	施設長会議	サービス 責任者会議
4 月	辞令交付式・新任職員研修・BCP 研修・メンター研修・	9 日・22 日	コロナ対策 開催なし	コロナ対策 開催なし
5 月		7 日・21 日・ 26 日	コロナ対策 開催なし	コロナ対策 開催なし
6 月	家族協議会・決算ヒアリング・監事監査・退職辞令交付式・理事会・監事監査	8 日・25 日	24 日	10 日
7 月	辞令交付式・理事会・第三者評価（山王の家）・メンティー交流会・評議員会（書面による）・中期経営プロジェクト	1 日・15 日・ 22 日	22 日	8 日
8 月	法人介護マイスター研修・後援会監事監査・メンター研修・中期経営プロジェクト・みらいプロジェクト	5 日・27 日	26 日	12 日
9 月	メンター情報交換会・理事会・中期経営プロジェクト・みらいプロジェクト	11 日・23 日	23 日	9 日
10 月	法人墓参り・安全運転講習・メンター面談研修・中期経営プロジェクト・みらいプロジェクト	8 日・21 日	28 日	14 日
11 月	4 年目職員交流会・理事会・中期経営プロジェクト・みらいプロジェクト	4 日・18 日	4 日・12 日・ 25 日	11 日
12 月	感染症アドバイザー研修・新年度採用試験・評議員会・ともいき食堂（弁当配布）・中期経営プロジェクト・みらいプロジェクト	3 日・17 日	23 日	9 日
1 月	予算要望ヒアリング・メンティー交流会・理事会（書面による）・中期経営プロジェクト・みらいプロジェクト	6 日・20 日	14 日・27 日	13 日
2 月	内部登用試験・感染症アドバイザー検定講座・淑徳大学説明会・ともいき食堂（弁当配布）	4 日・17 日	17 日・24 日	10 日
3 月	予算ヒアリング・敬愛短大説明会・理事会・評議員会・退職辞令交付	4 日・9 日・ 22 日	24 日	10 日

Ⅱ. 障害者支援事業部

障害者支援施設
ルミエール

概況

「ともに支え合う 笑顔で、やさしく、ていねいな支援の実践」をスローガンとし、利用者を中心とする職員（生活支援員・医師・看護師・栄養士等関係職種）および家族等の連携により、その生活を支えていくこと、また、対応の見直しと丁寧な支援の実践を目標に掲げた。

当年度は新型コロナウイルス感染症対策と並行し運営。「最優先すべきは利用者の安全と感染防止」として、感染状況を考慮し法人警戒レベルに応じた面会・自粛を要請してきたが、最重度のご利用者の家族にとって、ご本人とコンタクトをとれない中での不安は強く、メールや電話での適宜の連絡、現状報告や写真など２～３ヶ月毎の送付、ブログの活用を行い、細やかに情報を伝え少しでも安心していただけるよう配慮した。利用者状況としては、50代の利用者２名の死去、情緒・行動面での変化が顕著な方への対応（専門医療機関の受診、支援検討）、身体機能低下が進んでいる方への対応等マンパワーの必要な支援が増加。ホーム間の協働体制等業務の見直しをはかっているが調整に苦慮している。幸い、インフルエンザ等の流行はなく経過した。

○数値目標

・施設入所（稼働率）：目標 98% ⇒ 実績 97.8%・生活介護（稼働率）：目標 97% ⇒ 実績 97.4%
短期入所（稼働率）：目標 68% ⇒ 実績 34.1%

※入退所状況；入所 ３名、退所 ２名により現員 59 名。次年度入所 1 名を予定。

短期入所利用状況；感染防止対応として他事業所併用者の利用を制限。実員数；5 名。

○サービス目標

・日中活動の充実；施設間交流の制限によりクリエイティブワークへの参加や外出企画は中止したが、施設内活動充実の好機ととらえ、係を中心に運動器具や遊具、創作活動素材等整備し、活動内容の提案、イベント企画等感染症対策を行いつつ実施。ホーム別食事会、施設内行事を概ね毎月毎に実施し、施設内で楽しく過ごせる機会の提供に努めた。

・服薬支援システムの活用により誤投薬事故発生ゼロ。ただし、飲みこぼしや頓服薬の指示変更の伝達・確認漏れによる服薬ミスは数回あり、看護師との連携、伝達方法、記録の在り方等見直した。

○地域連携目標

当年度はボランティア・地域活動等外部との交流を控えた。短期入所についても一定の制限のもと、レスパイトや入所体験等緊急事案については相談支援事業所との連携、体調確認の上実施。

○業務遂行目標

・リスクマネジメント；転倒による頭部・顔面裂傷 4 件。他害行為による受傷部の悪化 1 件。打撲による小指基節骨折 1 件。当年度は、発作時の転倒によるもののほか、利用者同士の接触、日常生活上の動きの中での突発的な事象から怪我に繋がる事例が多かった。事故後検証を行い、できる限りの危険予知、転倒しても大怪我に繋がらないリスクの軽減策、ホーム間の協働認識・協力体制の構築を進めた。不眠、自傷・他害行為等不穏状態が継続している方については行動・動線を見守りつつ、専門医療機関を受診し日常支援と投薬治療の両面からアプローチを行っている。

○人材育成目標

・介護アドバイザーによる講座を 2 回実施。当年度創設したケアマネジメント委員会を中心に、移乗動作・介護技術のみならず、生活環境の改善、余暇の過ごし方、QOL 向上に向け試行しつつ進めた。

・スタッフ会議の進め方を見直し、各係・委員会主体のミニ研修・ディスカッションを実施した。差異はあるが、職員個々、自己の役割認識と業務遂行、モチベーション向上もうかがえた。

・専門性の強化；コロナ禍で外部研修の多くが中止となったが、強度行動障害支援者研修、千葉県 DWAT（災害福祉支援チーム）研修に参加。次年度は WEB 研修を取り入れ計画的に実施していきたい。

（施設長 片野明美）

1 施設利用状況（2020.4.1～2021.3.31）

1-1 利用状況

【定員 60 名】

	施設利用者			1 日平均		空所				異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	総数	欠員	入院	外泊	入所	退所
年間	21900	21527	21423	58.7	97.8%	474	371	99	4	3	2

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者数と入所前状況	3			2	1			
退所者数と退所事由	2						2	

1-3 短期入所（ショートステイ）利用状況 【定員 3 名】

	利 用 者			
	延定員数	延総数	1 日平均	稼働率
年間	1095	372	1.0	34.1%

1-4 地域生活支援事業（日中一時支援事業）利用状況

	利 用 者	
	総 数	1 日平均
年間	0	0

1-5 出身地別利用状況

【千葉県】	男	女	【千葉県市】	男	女	【東京都】	男	女
佐倉市	1	2	中央区	0	2	足立区	2	0
船橋市	2	0	美浜区	1	0	板橋区	3	0
印西市	1	0	若葉区	0	1	江戸川区	3	1
大網白里市	0	1	稲毛区	1	0	大田区	2	0
君津市	3	0	花見川区	0	2	葛飾区	2	0
松戸市	1	2	計	2	5	港区	1	0
習志野市	1	0	合計	7		江東区	2	0
成田市	0	3	【埼玉県】			渋谷区	0	1
館山市	1	0				品川区	1	0
市川市	1	0	春日部市	0	1	世田谷区	2	0
八千代市	0	1	草加市	2	0	千代田区	1	0
銚子市	1	0	計	2	1	練馬区	1	0
南房総市	1	0	合計	3		目黒区	1	0
九十九里町	1	0	【神奈川県】			昭島市	1	0
鎌ヶ谷市	1	0				町田市	1	0
計	15	9	横浜市	0	1	計	23	2
合計	24		相模原市	1	0	合計		25
			計	1	1			
			合計	2				

※佐倉市住所所持者 34 名

2 利用者の状況（2020 年度中在所した全利用者）

2-1 年齢構成（年齢は 2020. 4. 1 現在）

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	60～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	61	0	12	4	22	16	7	46.0	91	22
%		0%	19.6	6.6	36.1	26.2	11.5			
男	43	0	8	3	17	10	5	45.5	69	22
女	18	0	4	1	5	6	2	47.2	91	23

2-2 障害区分

	総数	1	2	3	4	5	6	重度障害者 支援加算
総数	61	0	0	0	1	1	59	8
%	100	0	0	0	1.6	1.6	96.8	13.1
男	43	0	0	0	0	0	43	6
女	18	0	0	0	1	1	16	2

2-3 身体障害者手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	61	50	0	0	0	1	0	9
%	100	82.0	0	0	0	1.6	0	12.9
男	43	39	0	0	0	1	0	3
女	18	12	0	0	0	0	0	6

2-4 療育手帳による障害程度

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	61	19	27	0	0	15
%	100	31.1	44.3	0	0	24.6
男	35	10	25	0	0	8
女	11	9	2	0	0	7

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数	61	49	4	53	8
%	100	80.3	6.6	86.9	13.1
男	43	37	3	40	3
女	18	12	1	13	5

3-2 知的障害

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	61	43	17	0	0	60	1
%	100	70.5	27.9	0	0	98.4	1.6
男	43	31	12	0	0	43	0
女	18	12	5	0	0	17	1

3-3 障害の状況（総括）

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	61	53	23	4	39	1	60	1	45
%	100	86.9	37.7	6.6	63.9	1.6	98.4	1.6	72.1
男	43	40	17	2	28	1	43	0	33
女	18	14	6	2	11	0	17	1	11

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

3-4 日常生活動作（ADL）介護の状況

総数	排泄	食事	入浴	着脱衣	ベッドメイキング	移動（内）	移動（外）
常時全面で介助	23	14	34	19	60	31	61
%	37.7	23.0	55.7	31.1	98.4	50.8	100
常時多面で介助	18	23	23	20	0	9	0
%	29.5	37.7	37.7	32.8		14.8	0
時々部分的に介助	19	14	4	15	0	13	0
%	31.2	23.0	6.6	24.6	0	21.3	0
点検・配慮程度	1	10	0	7	1	3	0
%	1.6	16.3	0	1.6	1.6	4.9	0
自立	0	0	0	0	0	5	0
%	0	0	0	0	0	8.2	0

3-5 コミュニケーションの状況

	言語（会話）	意思表示	一般文字	点字
不可	38	6	60	61
%	62.3	9.8	98.4	100
一部で可能	20	50	1	0
%	32.8	82.0	1.6	0
だいたい可能	3	5	0	0
%	4.9	8.2	0	0
支障なし	0	0	0	0
%	0	0	0	0

4 援助サービス

4-1 援助サービスの実施状況

項 目	援 助 サ ー ビ ス の 実 施 状 況
【住居】	援助サービスの実施にあたっては、居住ブロック単位で、日常生活の基本となるケアを中心にしたサービスを行っている。 居住スペースにおいては、情緒の安定・プライバシーに配慮している。 当年度はコロナ禍にあり、特に感染症対策として衛生保持・感染症予防のためプラズマクラスター機能付き空気清浄機を各共用スペースに設置し、日常の管理として多目的除菌洗剤、電解次亜水（100ppm）を使用し居室や食堂、トイレのほか、手すりやドアノブ等手に触れる場所の除菌・消毒を1日2回以上行っている。また年間を通し手指のアルコール消毒および換気による空気の入替えを実施するなど感染症対策を徹底した。 環境整備として、経年劣化による浴室給湯配管改修工事と並行し現状に即したシャワー設備への改修と、不具合のあった各所照明設備更新工事を実施した。当年度実施予定だった共用部の床改修については緊急事態宣言等の関係で次年度に実施方向となった。 不定期であるが環境美化デイ、営繕活動デイを設定し、日頃手の回らない箇所の清掃や環境改善のための修繕等を行い、環境美化向上に努めた。
【食事】	ブロック単位での食事の提供を行っている。食事時に人が集中することによる騒がしさの緩和、嚥下機能低下に伴う誤嚥予防等に配慮し、食事支援を行った。 また、体調不良等身体状況の変化、栄養管理や摂食状況に配慮した食事形態や提供の工夫を行った。本年度も全利用者に対し栄養ケア計画を実施し定期的にモニタリングすることにより利用者の個別の栄養管理を実施した。
【排泄】	全介助の方が多く、支援においては排泄傾向の把握と本人に対応した定時排泄に努めている。特に排便に関しては、便秘傾向の方も多く、主治医への相談と内服、便秘改善目的で補助食品を提供している。健康管理面で、排尿量と摂取水分量（IN・OUT）の把握が必要な方数名については、身体状況に変化がないか計量を行い内服等もすすめている。
【入浴】	サマータイム（6～9月）は週3回、それ以外は週2回の入浴を基本として実施。その他、活動状況、皮膚疾患等個々の方の状況に応じて適宜シャワー浴を行っている。利用者の高齢化・重介護化に伴い、特殊浴槽（座位型入浴装置、ミスト浴）と普通浴槽（大・小浴）を活用し、高齢者はもとより、さまざまな身体状況の方へ安全に配慮し入浴サービスを提供した。
【ホーム活動】	ホーム活動は従来どおりの居住ブロック単位で、午前の余暇活動は居住ブロックに関係なく当日の担当職員が実施している。 全体的な傾向として、高齢化・重度化に伴い集団での活動よりも、個々の嗜好・ペースにあわせた個別活動に重点をおいた活動が主体となっている。 各ホーム活動においては、誕生会等ミニイベントを実施するほか、朝の会、造形、外出等を行った。 《朝の会》 1日の予定、勤務スタッフの紹介、食事メニューの紹介、連絡、ラジオ体操等。利用者への情報提供を行う。また、当番職員とご利用者により、誕生会や献立、一日の流れ等、毎日放送を行った。 《音楽》 CDや有線放送のラジオなどで音楽を流し音楽鑑賞等を通じ、音楽に親しむとともに、情緒の安定を図った。 《造形》 季節の行事で掲示・使用する作品等を中心に、活動した。書初め等季節にそった工夫も見られた。 《食事会》 デリバリー等注文し、個々の嗜好に合わせたメニューを提供。季節感や流行も取り入れ、食を楽しむ機会を提供した。当年度はコロナの影響にてテイクアウトの選択肢が増え、バラエティに富んだメニューからの選択、地域の店舗とのささやかな交流の機会が増えた。

【余暇活動】	《クラブ活動／行事》 例年はなのはな広場に集まりにぎやかに開催してきたが、当年度は感染症対策に留意し実施。「タイムラグをとりながら数名ずつ広場に集まり各々食事のテイクアウトやゲームへの参加」、という会もあれば、「ホーム毎に会場設定し放送機器を使いながら何とか一体感を保ち進行」という会もあり、各担当職員による創意工夫が感じられた１年だった。殊にクラブ活動については、夏季には暑中見舞いを作成し離れて暮らすご家族等への送付、秋にはルミエール秋まつりと称してケータリング風の食事や数種のレクリエーション企画を用意するなど、趣向を凝らした内容で大いに楽しんでいただく機会の提供が行われた。 《歩行・散歩》歩行能力と体力維持をはかり、楽しく歩くことを目的に、敷地内遊歩道の歩行、近隣公園への散歩を行った。十分な時間とはいえないが、高齢化による利用者の体力・筋力低下が見られる中、天候のよい時など日光浴も行った。 《外出》グループ外出、ニーズ別旅行は中止。緊急事態宣言下ではもとより、コロナ禍でマスク着用が一般的な約束事になり、なかなか着用の難しい方々については外出の機会は激減した。法人警戒レベルに応じ外出可能な時期についても、数名でのドライブを行うにとどまった。天候の良い日には近隣の公園で、地域の方との距離をはかりつつ散策やお花見を楽しんだ。
【とっぜん音楽会】	任意の参加…という形で開催。流れる音楽から季節や年代を感じ、アクティブに、かつ心穏やかになるよう活動を提供した。 ◎ ボランティア交流は当年度中止。ニーズ別旅行についても、集団でのバス移動にともなう感染リスクの観点から中止。

５ 運営管理

５－１ 職員状況

	2020.4.1 現員数	2019.4.1～2020.3.31				2021..3.31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総数	42 (7)	5(2)	4	2 (1)	4 (3)	41(6)
施設長	1					1
支援課長	1					1
主任	3					3
生活支援員	35(5)	3	4	2(1)	1	35(5)
クリーンスタッフ	2(2)	2(2)			3(3)	1(1)
機能訓練指導員	1(兼)					1(兼)
看護師	1(兼)					1(兼)
栄養士	1(兼)					1(兼)

★産休・育休・介護休・休職中職員も現員のままとする。

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数（ ）内に表示。

★網掛けについては、総数に表示していない。

5-2 職員研修の状況

施設内						
月 日	研修名	人数	月 日	研修名	人数	
4/1～4/4	新任職員研修	3	4/9	メンター研修	3	
5/19	ICT 研修（WEB）	3	8/1	ケアマネジメント研修	4	
8/9	コンプライアンス研修	7	10/5	ケアマネジメント研修	8	
10/15	口腔ケア研修	13	10/15	安全運転講習	1	
10/16	メンター面談研修	3	11/11	佐倉施設協研修（WEB）	2	
11/18	ケアマネジメント研修	7	12/11	コンプライアンス研修	7	
12/13	てんかん研修（WEB）	7	3/6	てんかん研修（WEB）	7	
3/26	労務管理者研修	2	3/30	BCP 研修	10	
施設外						
8/24	国勢調査員研修	1	10/12	千葉県認定調査員研修	1	
12/7	感染症対策アドバイザー資格講座	2	12/9	ターミナル研修	1	
2/3	感染症対策アドバイザー資格講座	3	3/8	サービス管理責任者更新研修	1	
3/9	サービス管理責任者更新研修	1				
複数研修						
研修内容		月 日				参加人数
感染症対策研修		4/11	5/8	5/9	5/10 5/14 5/16 5/17	20
		5/30				
強度行動障害基礎研修		9/15	9/30	10/20	10/28	3
DWAT 研修		10/6	10/30	3/3		1
苦情受付担当者研修		12/14	12/18			1
強度行動障害実践研修		3/15	3/16			1

5-3 実習受け入れ状況

期間	養成機関名	実施対象資格等	人数
8/3～8/17	千葉敬愛短期大学	保育士	1
8/3～8/24	淑徳大学	社会福祉士	2
8/31～9/25	大原医療秘書福祉専門学校	介護福祉士	2
10/1～10/16	東京福祉専門学校	保育士	1
11/9～11/24	東京福祉専門学校	保育士	2

6 行事实施状況

月	行事内容
4 月	グループ外出(10・17)・
5 月	歓迎会(17)・とつぜん音楽会(31)
6 月	クラブ活動; 納涼お茶会(21)
7 月	クラブ活動; アイスバイキング(12)
8 月	とつぜん音楽会(16)
9 月	
10 月	ルミエール秋祭り(29)
11 月	運動会(29)
12 月	とつぜん音楽会(18)・クリスマス会(24)
1 月	新年会(15)
2 月	クラブ活動; 和スイーツとお茶(12)
3 月	送別会(19)とつぜん音楽会(28)

め い わ

概況

当年度のスローガンは、「地域から信頼される利用者サービスを！」である。

・新型コロナウイルスの影響で帰省、外出やボランティアとの交流、日中活動はめいわ内でのみの活動と制限が出た。臨時のあおばの会を開き利用者に説明を行ったが、利用者の反応は早く、理解と協力をするとのことであった。利用者に感謝したい。

・自粛の中で利用者と社会の繋がりを考えて、地域のお弁当を食べる、全国の甘いものを取り寄せる、家族との zoom 面会などを行った。食事会では、企画、弁当の運搬、利用者への紹介を利用者自身が企画して行った。当該利用者のやりがいにあふれた表情が印象的であった。

・新型コロナウイルスの理解と感染症対策への備えについて、感染対策アドバイザー研修を受講した。また、法人の対策を職員会議で発信、確認した。

・6/3 利用者が亡くなった。68 歳であった。自分のやりたいことを言うてくれて実行してきた方であった。職員の振り返りでは、コロナ禍でスムーズに医療に繋がれず、めいわで過ごした数カ月の体調の変化、その医療的対応に苦慮した経験が強く印象に残っていたようである。

・8/1 新利用者が入所した。長い精神病院での入院生活にピリオドを打ち、新たな生活をめいわでスタートすることを希望している方である。

・病気で療養病床に入院した利用者が、回復の見込みが望めず 2 月末で退所した。

○数値目標（稼働率）

・施設入所支援 : 目標 97% ⇒ 実績 98.6%

・生活介護 : 目標 110% ⇒ 実績 109.7%

・短期入所 : 目標 80% ⇒ 実績 62.6%

○サービス目標

・高齢化対応は、3 名の利用者が特養並みの介護を行ってきた。はちす苑出身の職員がレクチャーを行い移乗や食事介助等が対応できるようになってきている。

○地域連携目標

・家族からの虐待事例と家族の怪我で 3 名の緊急ショートステイを受け入れた。

・4 月のある日、茶道ボランティアさんから手紙と丁寧に折った折鶴が届いたので、お礼の手紙を送付すると共に、各ボランティアさん宛に近況報告を兼ねた手紙を送った。

○業務遂行目標

・めいわでは災害が起きた場合を想定して、被災生活についての訓練を初めて行った。地震が発生し、ライフラインの水と電気が止まっている想定である。1 階と 2 階の連絡方法や利用者への声掛けが少なかった。等の課題が上がった。利用者は協力的であった。

○人材育成目標

・2/6 男性利用者最高齢（享年 81 歳）の方が亡くなった。職員会議では、ご本人と歩んできた 1 年間を振り返り、職員の気持ちが一つだったからこそ、高齢期の利用者に寄り添う支援は何かを考え実践できたのではないかと話があった。「利用者に寄り添う支援」という言葉をよく使うが、そのなかで我々は利用者に育てられているような気がしてならない。利用者と共に成長していく気持ちと姿勢が大事であると教えてくれたケースである。

・手引き歩行時の利用者の転倒骨折事故を受けて、職員の視覚障害者への手引き歩行能力向上のための研修を行った。基礎的なことを忘れていた職員が多かったので、利用者の安全のためにも今後も行っていきたい。

○その他

・第三者委員高石直美委員による利用者との懇談会（7 月）

（施設長 安部一義）

2020（令和2）年度 事業報告書 根郷通所センター

概況

千葉県内の障害者施設で発生した新型コロナウイルス集団感染により県からの通達を受け、年度の開始早々に、ご家族に対して利用自粛のお願いをすることとなった。更に緊急事態発出後は“9割の利用者が自粛生活”を送ることとなり大きな混乱が予想された。7月には条件付きで解除となるものの、その1ヵ月後、根郷通所センター内で新型コロナウイルスの感染者が発生する。保健所の指導のもと、めいわ利用者・職員を含む140名のPCR検査を実施。その結果2名の利用者が新たな感染者として判明したことにより2週間の営業自粛となる。営業の再開後は感染症対策の更なる強化を図り、滞ることなく利用者を受入れている。根郷通所センターの利用者が新型コロナウイルスに感染というまさかの事態であったが、それぞれの冷静な対応により大きな混乱や不安を招くことなく乗切ることができた。

コロナ禍により制限のある活動を余儀なくされたが決して負の経験だけではなかった。まず、長期の在宅生活を通して利用者本人が通所せずとも“自宅にて落ち着いて過ごすことができる”ということを経験したことである。それにより当該利用者の休日は自宅で過ごすという選択肢が増えることとなった。次に、余暇の提供だけでは限界が見えたことだ。即ち仕事の必要性である。障害の重さや有無に関わらず“大人にとって如何に仕事が大切”であるかを改めて実感する機会となった。

○数値目標（稼働率）

生活介護：目標 124% ⇒ 実績 118.9%

・新型コロナウイルスの影響により利用の自粛と事業所の閉所を招いたが、県の通達を受け4市と調整を行い「電話による在宅支援」に切り替えたことにより“稼働率の低下を最低限に回避”することができた。※在宅支援とは：電話による健康状態の把握および通所自粛が解除された際のスムーズな受入れのための情報共有

○サービス目標

・新型コロナウイルスの影響により個別面談の機会を得ることができなかったが、電話や送迎の場面を通して、本人と家族の意向を反映した支援計画を何とか作成することができた。懸案事項であった個別面談による詳細なアセスメントは未実施のままであり課題として残った。

・利用者の支援について、ニーズに即した関りが図られるようになり“マニュアルに固執した支援から、より個別性の高い支援”へとシフトすることができた。それにより職員・利用者共に心に余裕ができ、以前に増して事業所内に穏やかな空気が流れている。

・感染症対策により、各事業所独自での日中活動となり“受注作業・木工作业・創作活動”を展開し、“コロナ禍明けを見据えた活動を念頭に取り組んだ。それぞれが自由な発想をもって展開し意欲を持った取り組みを行った。

・アンドロイドタブレットを導入したことにより、自閉症の利用者が時間を持て余してしまわない様に行っていた「自立支援課題」の必要がなくなった。また、音声読上げツールは視覚・知的障害者にとっても有効であるため更なる活用を模索する予定である。

○地域連携目標

・千葉女子専門学校（保育科）1名／聖徳大学（児童学部児童学科）6名／二葉看護学院4名／中央介護福祉専門学校（介護福祉科）2名／千葉敬愛短期大学（現代子ども学科）2名／新型コロナウイルスの影響による中止となった実習生7名

・新型コロナウイルスの影響によりボランティアの受入れについては実施できなかった。

○業務遂行目標

・利用者の活動を停止させて行なっていた職員会議を閉所日に実施することとした。職員が全員出席することで個別支援計画作成会議など、本来の会議の持つ意義を果たすことへ繋がった。

・年次有給休暇の平均取得は年5日の目標を達成。引続き有給休暇を取得しやすい環境を整備する。

○人材育成目標

・新型コロナウイルスの影響により“他法人の施設見学等”の実施はできなかった。

（所長：菊地 暁生）

1 施設利用状況 (2020.4.1～2021.3.31)

1-1 利用状況

①めいわ

【定員56名】

	施設利用者			1日平均		空所				異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	総数	欠員	入院	外泊	入所	退所
年間	20440	20342	20161	55.2	98.6	279	125	119	35	2	3

②根郷通所センター

【定員24名】

	通所利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	5808	10467	6904	28.5	118.9	0	2

1-2 入・退所状況

①めいわ

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者数と入所前状況	2			1		1		
退所者数と退所事由	3				1		2	

②根郷通所センター

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者数と入所前状況	0	0	2	0	0	0	0	0
退所者数と退所事由	2	0	0	1	1	0	0	0

1-3 短期入所（ショートステイ）利用状況

①めいわ

【定員4名】

	利用者			
	定員	総数	1日平均	稼働率
年間	1460	910	2.7	62.5

1-4 地域生活支援事業（日中一時支援事業）利用状況

①めいわ

	利用者	
	総数	1日平均
年間	24	0.1

②根郷通所センター

	利用者	
	総数	1日平均
年間	0	0

1－5 出身地別利用状況

① めいわ

【千葉県】	男	女	【千葉市】	男	女	【東京都】	男	女		
銚子市	1	1	緑区	1		練馬区大泉		1		
市川市	1		若葉区	1	1	練馬区石神井		2		
松戸市	1					台東区		1		
香取市	1					江東区	1			
茂原市	1		計	2	1	渋谷区		1		
成田市	1	1	合計	3		世田谷区北烏山		1		
佐倉市	5	3	【新潟県】			世田谷区	1	1		
匝瑳市	1					足立区（東部）		1		
酒々井町	1		魚沼市		1	目黒区		2		
柏市	3	1				八王子市	1			
君津市		1				小金井市	1			
我孫子市	1		計		1	青梅市	1			
船橋市	2	1	合計	1		狛江市		1		
大多喜町	1					西東京市		3		
長生村		1								
八街市	1									
習志野市		1								
四街道市		4	計							
			合計							
計	21	14								
合計	35									
								計	5	14
								合計	19	

②根郷通所センター

出身地	男	女	計			
佐倉市	11	5	16			
四街道市	8	12	21			
習志野市	1	0	1			
千葉市	4	2	6	男	女	合計
成田市	0	1	1	24	20	44

2 利用者の状況（31 年度中在所した全利用者）

2-1 年齢構成（年齢は 2020. 4. 1 現在）

① めいわ

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	60～	70～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	58	0	3.4	5.2	20.7	44.8	17.2	8.6	55	85	22
%	100	0	2	3	12	26	10	5			
男	28	0	1	3	8	10	3	3	53	81	25
女	30	0	1	0	4	16	7	2	57	85	22

②根郷通所センター

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	44	2	19	12	6	5	33.0	72	19
%	100	4.5	43.2	27.3	13.6	11.4			
男	24	1	11	6	4	2	33.4	72	19
女	20	1	8	6	2	3	32.6	55	19

2-2 障害区分

① めいわ

	総数	1	2	3	4	5	6	重度障害者 支援加算
総数	58	0	0	0	4	13	41	19
%	100	0	0	0	6.9	22.4	70.7	
男	28	0	0	0	2	4	22	10
女	30	0	0	0	2	9	19	9

② 根郷通所センター

	総数	1	2	3	4	5	6
総数	44	0	0	6	13	13	12
%	100	0	0	13.6	29.5	29.5	27.3
男	24	0	0	3	8	8	5
女	20	0	0	3	5	5	7

2-3 身体障害者手帳による障害程度

① めいわ

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	58	33	6	1	2			16
%	100	56.9	10.3	1.7	3.4			27.6
男	28	20	3	0	0			5
女	30	13	3	1	2			11

② 根郷通所センター

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	44	13	0	2	2	0	1	26
%	100	29.5	0	4.5	4.5	0	2.3	59.1
男	24	5	0	2	1	0	1	15
女	20	8	0	0	1	0	0	11

2-4 療育手帳による障害程度

① めいわ

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	58	7	27	7	5	12
%	100	12.1	46.6	12.1	8.6	20.7
男	28	4	12	1	2	9
女	30	3	15	6	3	3

② 根郷通所センター

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	44	20	16	5	2	1
%	100	45.5	36.4	11.4	4.5	2.3
男	24	10	10	3	0	1
女	20	10	6	2	2	0

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

① めいわ

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	58	25	15	40	18
%	100	43.1	25.9	69	31
男	28	16	7	23	5
女	30	9	8	17	13

② 根郷通所センター

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	44	9	5	14	30
%	100	20.5	11.4	31.8	68.2
男	24	5	2	7	17
女	20	4	3	7	13

3-2 知的障害

① めいわ

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	58	11	32	9	5	57	1
%	100	19	55.2	15.5	8.6	98.3	1.7
男	28	7	16	2	2	27	1
女	30	4	16	7	3	30	

②根郷通所センター

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	44	20	16	5	2	43	1
%	100	45.5	36.4	11.4	4.5	97.7	2.3
男	24	10	10	3	0	23	1
女	20	10	6	2	2	20	0

3-3 障害の状況（総括）

① めいわ

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	58	43		3			57	1	
%	100	74		5.2			98.3	1.7	
男	28	23					27	1	
女	30	20		3			30		

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

② 根郷通所センター

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	44	14	6	0	0	3	43	5	21
%	100	31.8	13.6	0	0	6.8	97.7	11.4	47.7
男	24	7	3	0	0	2	23	3	11
女	20	7	3	0	0	1	20	2	10

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

３－４ 日常生活動作（ＡＤＬ）介護の状況

めいわ

総数	排泄	食事	入浴	着脱衣	ベッド メイキング	移動 (内)	移動 (外)
常時全面で介助 %	3 5.2	4 6.9	5 8.6	4 6.9	19 32.8	6 10.3	6 10.3
常時多面で介助 %	9 15.5	12 20.7	32 55.2	9 15.5	23 39.7	7 12.1	41 70.7
時々部分的に介助 %	31 53.4	31 53.4	19 32.8	27 46.6	11 19.0	31 53.4	6 10.3
点検・配慮程度 %	14 24.1	11 19.0	2 3.4	18 31.0	5 8.6	13 22.4	4 6.9
自立 %	1 1.7	0 0	0 0	0 0	0 0	1 1.7	1 1.7

３－５ コミュニケーションの状況

めいわ

	言語(会話)	意思表示	一般文字	点字	盲人用ワープロ
不可 %	13 22.4	7 12.1	49 84.5	57 98.3	58 100
一部で可能 %	12 20.7	19 32.8	5 8.6	0 0	0 0
だいたい可能 %	32 55.2	32 55.2	4 6.9	1 1.7	0 0
支障なし %	1 1.7	0 0	0 0	0 0	0 0

4 援助サービスの実施状況

① めいわ

項 目	援助サービスの実施状況
日中活動 (月～金)	午前・午後共に各作業班に分かれて活動を行なった。 利用者本人の希望を聞き取り、所属の活動を決定している。
農耕班	堆肥の生産。地域の方と交流するユニバーサル農業での野菜配達を行なった。
園芸班	新型コロナウイルスの影響により自粛
手工芸班	さをり織りと洗濯たたみを行った。さをり織りについては新たな販売先としてネット販売を視野に模索した。
新設班	地域新聞の配達、アルミ缶等資源回収作業。地域貢献活動を行なった。
創作班	牛乳パックをリサイクルして、販売用品を作成。紙漉き。
陶芸班	新型コロナウイルスの影響により自粛
受注作業班	マグネット組み立て、点字名刺作成、封入作業を行った。
リハビリ班	高齢者を対象とし、運動機能訓練、レクリエーション、散歩
余暇活動	
音楽	利用者 40 名ほど、月 1 回の午後の活動、自由参加 合奏・合唱の他、音楽に合わせて身体を動かす。
太鼓	利用者めいわ 5 名 月 1 回のペースで太鼓の練習、めいわ内行事で演奏。地域の行事への参加は自粛中。
その他	※ 新型コロナウイルス感染防止のため活動は中止しているが、感謝の手紙を送った。 ・茶道ボランティア ・傾聴ボランティア ・音楽ボランティア
あおばの会	利用者自治会活動（1 回/月） 総会（役員選出、掃除・朝の放送等の各係り決め）、新年会

②根郷通所センター

項 目	援助サービスの実施状況
日中活動 (月～金)	午前・午後共に各作業班に分かれて活動を行なった。利用者本人の希望を聞き取り、所属の活動を決定している。
農耕班	家庭菜園程度の畑にて野菜を栽培し、収穫したものを食して楽しんだ。
園芸班	多肉植物を中心に栽培し、市場での販売を目指した。
手工芸班	さをり織りと組紐を行なった。組紐は木工製品とコラボして販売を目指した。
創作班	牛乳パックをリサイクルし紙漉きを行なった。園芸班、陶芸班とコラボして商品販売を目指した。
陶芸班	園芸班とコラボし、多肉植物を植える器作りを行なった。
受注作業班	宅配寿司のセット組、パンフレットの封入、地域新聞のポスティング作業を行なった。
※グループ活動	
散歩	日中活動終了後に実施。

5 運営管理

5-1 職員状況

① めいわ

	2020.4.1 現員数	2020.4.1～2021.3.31				2021..3.31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総数	41(5)	3(0)	5(0)	4(0)	2(1)	41(5)
施設長	1					1
支援課長	1					1
主任	2					2
生活支援員	37(5)	3	5	4	2(1)	37(5)
クリーンスタッフ						
機能訓練指導員	1(兼)					1(兼)
看護師	1(兼)					1(兼)
栄養士	1(兼)					1(兼)

② 根郷通所センター

	2020.4.1 現員数	2020.4.1～2021.3.31				2021..3.31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総数	21(11)					21(11)
施設長	1(兼)					1(兼)
支援課長(所長)	1					1
主任	1					1
生活支援員	16(8)		1	1		16(8)
クリーンスタッフ	3(3)					3(3)
機能訓練指導員	1(兼)					1(兼)
看護師	1(兼)					1(兼)
栄養士	1(兼)					1(兼)

★育休・休暇中職員は現員から除く

★雇用形態変更・育休、休職の入出は、異動入・出にてカウントする

★年度末日退職者及び異動出職員は年度末日現員に含む

★年度当初採用者及び異動入職員は年度当初現員に含む

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数（ ）内に表示。

5-2 職員研修の状況

① めいわ

施設内					
月 日	研修名	人数	月 日	研修名	人数
8/1	介護マイスター	2			
10/15	安全運転	3			
10/16	面談研修	4			
12/7	感染症研修	2			
12/9	はちす苑研修 (ターミナルケア)	3			
2021. 2/18	メンティー交流会	4			
施設外					
12/6	歩行訓練士研修 (zoom)	1			
複数研修					
研修内容		月 日		参加人数	
強度行動障害者支援者研修		9/15. 30		1	
強度行動障害者支援者研修		10/20, 28		1	

② 根郷通所センター

施設内		
月 日	研修名	人数
	新型コロナウイルスの影響により自粛	
施設外		
	新型コロナウイルスの影響により自粛	
複数研修		
研修内容		参加人数
新型コロナウイルスの影響により自粛		

5-3 実習受け入れ状況

① めいわ

期間	養成機関名	実施対象資格等	人数
8/17~9/3	江戸川学園おおたかの森専門学校	社会福祉士	1
9/14~10/16	東京福祉専門学校	社会福祉士	1
10/1~10/27	城西国際大学	社会福祉士	1
10/1~10/30	城西国際大学	社会福祉士	1
11/2~12/3	城西国際大学	社会福祉士	2
11/30~12/15	成田国際福祉専門学校	介護福祉士	2

② 根郷通所センター

期間	養成機関名	実施対象資格等	人数
11/16~18	中央介護福祉専門学校	介護福祉士	2
9/1~30	聖徳大学	保育士	6
9/29~10/1	双葉看護学院	看護師	4
8/3~8	千葉女子専門学校	保育士	2
8/3~17、11/2~9	千葉敬愛短期大学	保育士	2

6 行事実施状況

① めいわ

月	行事内容
7 月	歓迎会(21)
8 月	納涼祭(28)
9 月	敬老会(21)
12 月	忘年会(23)
1 月	新年会(11)
3 月	送別会(17)

② 根郷通所センター

月	行 事 内 容
1 月	成人を祝う会
3 月	やよい会

概況

当年度のスローガンは、「高齢化対応・意思決定支援の強化」とした。高齢化対応として高齢支援プロジェクトを設置し、浴室の全面改修を法人の大規模修繕に提案した。また歩行訓練等、高齢利用者のリハビリの充実を図った。意思決定支援の強化として、個別支援計画作成に関し、職員の思いではなく利用者の思いに耳を傾け利用者の意思・意見が十分に反映された個別支援計画の作成を重視すると共に、モニタリングで再確認を実施した。

○数値目標

- ・施設入所　：　目標　98％　⇒　実績　97.4％
- ・短期入所　：　目標　96％　⇒　実績　45.2％
- ・生活介護　：　目標　94％　⇒　実績　96.0％

○サービス目標

- ・個別対応の充実として、意思決定支援を十分に反映させた個別支援計画の作成を行い、毎月の自立支援プロジェクト、高齢支援プロジェクトで振り返りを実施した。さらにモニタリングで再確認を実施した。
- ・高齢化対応として、歩行等のリハビリの充実に加え、はちす苑のデイサービスの利用を積極的に行った。
- ・障害３施設の連携については、中期経営計画の中で検討していくこととなった。

○地域連携目標

- ・次年度の９月を目標に地域移行を目指している利用者が１名いるが、コロナ禍でＢ型作業所等の体験ができず苦慮している。また、地域移行予定先である船橋市の相談事業所との訪問もかなわないため、打合せが頓挫している状態で移行時期の遅れが懸念されている。しかし、利用者の思いは強くモチベーションは維持されている。
- ・地域行事の参加については、コロナ禍で地域行事が殆ど中止となっているため、オレンジカフェにエレクトーンクラブが参加した１回のみとなった。

○業務遂行目標

- ・入所者の確保について、入所の待機者として長期利用の短期入所利用者確保していたが、２月に高齢化による体調不良により有料老人ホームへ移動となってしまった。通常の短期入所については、コロナ禍の関係で他法人のサービス利用者が利用できないため稼働が下がっている。高齢化による日中活動の居残り組が増える中、職員配置を１名から２名に増やし日中支援強化を図った。
- ・居室清掃の徹底について、担当職員任せにせずフロア毎に会議の中で確認を行い徹底した。
- ・国を挙げて働き方改革が叫ばれる中、良好な職場環境を目指し、時間外勤務の見直し有給休暇取得のしやすさ等、労働環境の改善に取り組んだ。
- ・ボランティアの拡充、地域の防災訓練・清掃・お祭り等への積極的な参加については、コロナ禍により中止となっているため実行不可能となった。

○人材育成目標

- ・ベテラン職員の意識向上について、思ったような改善に繋がらず苦慮した。しかし、一部の職員を除き、経験・実績に基づいた目標設定がモチベーションアップに繋がった。

（施設長　中川　光男）

1 施設利用状況（2019.4.1～2020.3.31）

1-1 利用状況

【定員50名】

	延べ年間施設利用者			1日平均		延べ年間空所				異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働数	総数	欠員	入院	外泊	入所	退所
年間	18250	18250	17797	49.1	97.4	0	0	436	17	1	1

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者数と入所前状況	1				1			
退所者数と退所事由	1						1	

1-3 短期入所（ショートステイ）利用状況 【定員2名】

	利用者			
	延べ定員	延べ総数	1日平均	稼働率
年間	730	330	1.0	45.2

1-4 地域生活支援事業（日中一時支援事業）利用状況

	利用者	
	延べ総数	1日平均
年間	0	0

1-5 出身地別利用状況

【千葉県】	男	女	【千葉市】	男	女	【東京都】	男	女
市川市	3		稲毛区		2	板橋区志村		1
市原市	2	1	中央区	1		足立区	1	
柏市		1	若葉区	2		練馬区大泉	2	
香取市	1		美浜区		1	練馬区石神井	1	
鴨川市	1		計	3	3	大田区	1	
袖ヶ浦市		2	合計	6		江戸川区	2	
館山市	1		【埼玉県】			葛飾区		1
東金市		1				計	7	2
流山市	1		春日部市	1	1	合計	9	
野田市	1		白岡町	1				
旭市	1					【茨城県】		
船橋市	3							
茂原市	1		計	2	1	鹿嶋市	1	
八街市		1	合計	3				
八千代市	1		【神奈川県】					
佐倉市	1	4				計	1	
長南町		1	大和市	1		合計	1	

成田市	1				
四街道	1				
計	19	11		計	1
合計	30			合計	1

2 利用者の状況（2020 年度中在所した全利用者）

2-1 年齢構成（年齢は 2020. 4. 1 現在）

	総数	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	51	4	3	3	10	16	11	4			
%	100	8	6	6	20	31	21	8	60.2	87	21
男	34	4	2	2	5	10	7	4	60	87	21
女	17	0	1	1	5	6	4	0	61.4	78	35

2-2 障害程度区分

	総数	1	2	3	4	5	6
総数	51	0	0	1	19	18	13
%	100	0	0	2	37	35	26
男	34	0	0	1	14	10	9
女	17	0	0	0	5	8	4

2-3 身体障害者手帳による障害程度

	総数	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	不所持
総数	51	40	5	0	0	0	0	6
%	100	78	10	0	0	0	0	12
男	34	29	3	0	0	0	0	2
女	17	11	2	0	0	0	0	4

2-4 療育手帳による障害程度

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	51	0	7	4	5	35
%	100	0	14	8	10	68
男	34	0	3	3	3	24
女	17	0	4	1	2	10

2-5 就学状況（最終学歴）

	総数	普通学校 義務	特別支援 義務	普通高等 学校	特別支援 高等部	千葉盲 （再掲）	その他	不就学
総数	51	16	6	5	21	14	1	2
%	100	31	12	10	41	27	2	4
男	34	9	3	4	15	8	1	2
女	17	7	3	1	6	6	0	0

2-6 就労経験

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	51	22	29
%	100	43	57
男	34	16	18
女	17	6	11

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	51	32	11	43	8
%	100	63	22	85	15
男	34	22	9	31	3
女	17	10	2	12	5

3-2 知的障害

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	51	0	6	4	5	15	36
%	100	0	12	8	10	30	70
男	34	0	2	3	3	8	26
女	17	0	4	1	2	7	10

3-3 障害の状況（総括）

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	51	43	8	5	0	1	35	13	12
%	100	84	16	10	0	2	70	25	24
男	34	31	5	4	0	1	21	9	9
女	17	12	3	1	0	0	14	4	3

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

3-4 日常生活動作（A D L）介護の状況

	排泄	食事	入浴	着脱衣	ベッド メーキング	移動 (内)	移動 (外)
常時全面で介助	0	0	0	0	12	4	33
%	0	0	0	0	24	8	65
常時多面で多介助	2	0	3	0	12	1	10
%	4	0	6	0	24	2	20
時々部分的に介助	10	2	22	2	12	8	4
%	20	4	43	4	24	16	8
点検・配慮程度	13	42	14	21	7	27	1
%	25	82	27	41	14	53	2
自立	26	7	12	28	8	11	3
%	51	14	24	55	14	21	5

3-5 コミュニケーションの状況

	言語（会話）	意思表示	一般文字	点字	盲人用 ワープロ
不 可 %	0 0	0 0	40 78	32 63	43 84
一部で可能 %	4 8	4 8	4 8	4 8	5 10
だいたい可能 %	0 0	0 0	3 6	2 4	3 6
支障なし %	47 92	47 92	4 8	13 25	0 0

4 援助サービスの実施状況

区 分	援助サービスの実施状況
住居・食事 日用品等の提供	前年度 1 階の手すり改修を行ったが、今年度は残っていた 2 階の手すりを改修した。感染症対策として、食堂、職員室の机にパーテーションを設置した。外部に外出する機会が減ってしまった為、内部で楽しめるものとしてカラオケ機器をリースした。カラオケだけでなく、リハビリ班の運動や行事の際の BGM としても活用している。
各種専門的訓練 及 び 日中活動	【受注作業】 箸入れや箸組み、おしぼりの袋詰め、宅配寿司や釜飯のセット組、マグネット組立、カレンダー組立、消しゴム袋詰めを行った。 (利用者 15 名参加) 【園 芸】 花苗の栽培を行った。物井駅ヤックス前、南図書館の花壇整備も行っている。 (利用者 7 名参加) 【リハビリ】 高齢者や視覚障害者を対象とし、運動機能訓練、歩行訓練、レクリエーション、散歩、個別外出などを行った。 愛光健康堂、はちす苑への出張マッサージは感染症の為、行えなかった。 (利用者 5 名参加) 【創 作】 牛乳パックのリサイクルによる紙漉きを行っている。 (利用者 2 名参加) 【手 工 芸】 さをり織り、さき織り、組紐、羊毛フェルト作りなどを行っている。 (利用者 8 名参加) 【陶 芸】 箸置きや一輪挿しなどの小物から、食器類、植木鉢などの陶作。手びねりや鑄込み、機械ろくろ等を使用し作品作りを行っている。 (利用者 5 名参加)
ケアマネジメント	個別支援計画を毎月の高齢プロジェクト、自立プロジェクト、フロア会議で進捗状況や課題を共有し、利用者支援を行った。日頃の支援を積み重ねる中で、ご本人の本当のニーズは何かを汲み取る研修を行った。高齢支援プロジェクトでは、生活リハビリを積極的に行い、体力維持に努めた。自立支援プロジェクトでは地域移行や施設内自立を目指し、歩行訓練やパソコン訓練等に取り組んだ。

保健・医療	高齢化に伴う、失禁の増加について、高齢プロジェクトで、データを取りながら、誘導時間の変更やリハビリパンツの適切なサイズの検討にも取り組んだ。持病の為、施設内で亡くなられた利用者があり、終末期の支援について考えさせられた。年度の後半には転倒による怪我や癌での入院が続き、入院が長期に渡るケースも出た。
余暇活動	外出行事の計画が難しくなった為、施設内で楽しめる行事を行うよう、務めた。カラオケ、映画上映、食事会の実施、運動会等を行った。外出が可能な時期には希望に添い、買い物や外食に出かけた。カラオケクラブは毎月実施。マラソンクラブは大会が中止になり、ボランティアとの練習も出来なくなった為、音の出るボールを使って体を動かす等工夫して取り組んだ。
自治会活動	自治会主催で、夏を楽しもう会、もみの木会、弥生会を行った。感染症の関係で、外部のボランティアによる演奏やご家族を招待することは出来なかったが、エレクトーンクラブの演奏や自分達で考えたクイズを行う等、皆が楽しめることを考え、感染症にも気を配りながら実施できた。
愛光健康堂	感染症の関係で外部のマッサージは中止となった。施設内のリハビリを中心にしている。

5 運営管理

5-1 職員状況

職 名	2020. 4. 1 現員数	2020. 4. 1～2021. 3. 31				2021. 3. 31 現員数
		採用	異動入	異動出	退職	
総 数	32 (6)	1	3	2	1	32 (6)
施設長	1					1
課長	1					1
主任	2					2
生活支援員	25 (5)	1	3	2	1	25 (5)
清掃	1 (1)					1 (1)
機能訓練士	1 (兼)					1 (兼)
看護師	0					0
栄養士	1 (兼)					1 (兼)

★育休・休暇中職員は現員から除く

★雇用形態変更・育休、休職の入出は、異動入・出にてカウントする

★年度末日退職者及び移動出職員は年度末日現員に含む

★年度当初採用者及び異動入職員は年度当初現員に含む

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数（ ）内に表示

5-2 職員研修の状況

施設内					
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
1/21	メンティ交流会	3			2
11/19	4年目職員対象交流会	2			1
12/7	はちす苑研修	1			
施設外					
10/12	認定調査研修	2			
10/15	安全運転講習会	2			
11/16	苦情解決研修会	1			
12/3	知的協会合同研修・施設長会議	1			
12/16	苦情解決研修会	1			
12/22	DWAT 研修	2			
2/17・24	盲ろう者福祉ワーカー研修	1			
複数研修					
研修内容			月 日		参加人数
介護マイスター研修			8/1		3
メンター面談研修			8/2・10/16		2
感染症対策アドバイザー検定講座			12/7 2/3		4

5-3 実習受け入れ状況

期 間	養成機関名	実習対象資格等	人 数
8.3～8.23	淑徳大学	社会福祉士	1
8.17～8.31	江戸川おおたかの森専門学校	社会福祉士	1
8.18	日本教育福祉専門学校	社会福祉士	1
10.1～10.15	城西国際大学（前半）	社会福祉士	3
10.16～10.30	城西国際大学（後半）	社会福祉士	3
11.2～11.15	城西国際大学（前半）	社会福祉士	2
11.16～11.30	城西国際大学（後半）	社会福祉士	2
11.30～12.16	NHK 学園	社会福祉士	1
12.14～12.29	NHK 学園	社会福祉士	1

6 行事実施状況

月	行 事 内 容
5 月	好きなお弁当を外注して1階フロアの絆を強くしコロナに勝とう！(21)
6 月	3ヶ月越しの外出です(13) 外出でリフレッシュ(14) 美味しいものを食べよう(20) 美味しい物を食べよう(21) 美味しい物を食べて梅雨を乗り切ろう！(28)
7 月	買い物、外出 深川で天井を食べよう。ビックAで買い物(5) 好物のお寿司を食べに行こう(12) 柏アリオで柏アンパンとビーフラッシュで美味しいものを食べよう(19) お出かけを楽しもう。(19) 特別養護老人ホーム見学(20) イオンモール巡り～幕張新都心～(24) コロナ明けのご褒美！誕生日を祝おう！(26) オレンジカフェ(26)
8 月	久しぶりに外出しよう！(8) 美味しい物が食べたい(8) 同室者と親睦を深めよう。好きな物を食べよう。(10) 大好きな中華を食べに行こう。(12) 美味しいものを食べに行こう(12) 中華をお腹一杯食べよう！(16) ドラムの代わりにお出かけ(23) セブンパークアリオ柏を散策しよう(30) 買い物、外出 深川で天井を食べよう。ビックAで買い物(30) 夏を楽しもう会 2020(28)
9 月	久々の外出で美味しい物をたべよう(5) お出かけを楽しもう(13) 浅草に行けないかわりにサッポロビール園で美味しいビールを飲もう(20) イトウヨーカドウに行こう(21)
10 月	たまにはお外でラーメンでも食べに行こう。(3) 映画館で映画を観たい(4) 仲良く中華を食べに行こう。(4) GO TO EAT！！(10) 外出で美味しい物を食べよう(17) イオンタウンおゆみ野に行こう(18) お出かけを楽しもう。(18) 余暇行事が出来ないので、お食事会を開こう！(25)
11 月	中華をお腹一杯食べよう！(8) 行ったことのないショッピングモール巡り～セブンパークアリオ柏～ どうしても、ウナギが食べたい！(22) 僕はカレーが好きなんだ…♪ココイチに行きたい！！(15) カラオケ機器を購入した為、皆で歌って楽しもう。(23) 成田に行ってみよう！(29)
12 月	もみの木会 2020(27)
1 月	お正月を皆で楽しもう！【コロナに負けるな】開催！冬の小(笑)運動会(17)
2 月	コロナに負けるな。美味しいものを食べて楽しく過ごそう(28)
3 月	弥生会(21)
毎月	カラオケクラブ、エレクトーンクラブ

概況

2020 年度は、法人より『障害者支援施設日中活動活動改革方針』が示されてから 10 年という節目の年であった。コロナ禍に翻弄されたことは言うまでもなく、緊急事態宣言が発出された以降は、商品の販売ルートが絶たれたことにより“社会との接点が希薄”となる現実を否応なしに突き付けられることとなった。それを受け、社会との接点を絶たれたことによる閉塞感を打破すべく“インターネット販売”の提案がなされたが既存の商品では立ち行かない現実と直面する。“福祉施設が作った商品を売りにするのではなく見劣りのしない商品を売りにすべく”、利用者とタックを組んで商品の開発を行うこととなった。

当年度はコロナ禍という不測の事態を受け、売り上げをあげることや商品を積極的に作ることはせず、“飛躍のための準備期間”として位置付けた。「成人施設における日中活動（仕事）がもたらす意味」や「利用者が作った商品を世に送り出す意味（社会参加）」、また、「充実した活動内容（労働と仕事の違い）」など、成人施設における仕事の意味（理念）をリーダー層を中心にコロナ禍で得た実体験を交えつつ確認し合った。年度の後半には、それが原動力となり商品開発を行うなど一定の成果を上げ始めている。この勢いと流れがコロナ禍明けにどう花開くのか期待したい。

○サービス目標

・感染症対策の関係で“施設毎の活動を強いられる”こととなったが、それが功を奏し“新たな展開”を得ることができた。受注作業部門では近隣の企業に対し電話にて営業を行った結果、新規に 2 件の取引先を掴んだ。車で 5 分程度の流通関係の企業へ訪問した際には「事業拡大を検討しているため、その際は内職作業員として力を貸して欲しい」と嬉しい声を頂戴する。また、自主生産部門においては多肉植物の販売を目指し“栽培と器の開発”に着手するなど、その他さまざまなアイデアや提案がなされた。

○地域連携目標

・佐倉市とのコラボレーションによりスウェーデントーチ（ウッドキャンドル）の製作を行った。市内にある森林を整備する際に出た間伐材を活用し「佐倉市ふるさと納税の商品化」を目指す。また、成田市内の高校より教材として使いたいとの依頼もあり実現へ向けて動き始めている。

・依頼を受け「佐倉南図書館の花壇の管理作業」を受託する。「愛の灯台基金」の後援を受け花壇を彩る作業を行ってきた。地域の方が写真に収めるなど評判は上々のようである。

○業務遂行目標

・既存の作業班に加え、現場の発案により“新たな作業班（新設班）を追加”することとなった。近隣の住宅 700 戸に対して地域新聞のポスティング作業を実施している。台車を用いるなどの創意工夫が盛り込まれ“盲重複を持つ最重度の利用者が働きやすい環境”が構築されつつある。しかし、同時に実施している“空き缶の回収・潰し作業”に関しては衛生面の観点から検討すべき課題を残した。

・コロナ過を機に農作物の栽培を休止し環境整備の徹底を図ったことにより、作業環境が向上し盲重複障害を持つ方の動線が今まで以上に確保された。今後も環境整備の徹底を図ると共に利用者の“加齢への対応”と堆肥作りの際に出る“匂いや粉塵”の対策を図るべく機械化を検討中である。

○人材育成目標

・より良い仕事場の環境を目指し“活動場所の大幅な見直し”を行った。特に他害行為や無届外出を頻繁に行っていた利用者の動きが改善されたことは大きな成果であった。環境の調整は「自閉症支援の基本的なテクニック」が盛り込まれ“職員の支援技術の向上”が形となって表れた。残念ながら目標に掲げた自閉症支援に特化した研修への参加は 1 件（ウェブ研修）のみであった。

・受注班において“箸を袋に入れる内職作業”を行っているところであるが、仕事の依頼が無くなった際に“練習箸という名目”で不良となった箸と袋を出し入れする活動を行っていた。「生産性も無く、唯々、時間を潰す活動」が、脈々と受継がれてきたが“節目の年に終止符が打たれる”こととなった。日中活動の現場において“鋭い権利擁護の視点”がこのような形で表れたことは法人の人材育成の賜であろう。

（日中活動コーディネーター 菊地 暁生）

就労継続支援Ｂ型

佐倉市よもぎの園

概況

当年度のスローガンは「働くを笑顔に 新しい挑戦」とし、コロナ禍で不安多い一年であったが閉所することなく事業運営を行った。スローガンとしていた新しい挑戦では、今までよもぎの園が行ってこなかった自主生産品の作成、販売に取り組み、特にミシン作業を活かした手作りマスク生産に力を入れ定期的に販売会を行うことで全体の作業収入減少の中、一定水準の工賃支払いを実現できた。

佐倉市から指定管理を受託し１２年が経過した。コロナ禍の影響を受け、行事、家族会、地域連携等ほとんど実施することができなかったが、季節行事の実施、家族会役員および、第三者委員との面談、地区社協との連携等できる範囲のことを行った。

○数値目標（稼働率／工賃） 目標：90% ⇒ 実績：69.1%

新規利用者の獲得はあったが年度途中で引越しによる終了、コロナ不安による長期欠席等により目標に掲げている稼働には至らず稼働率が低下した。

工賃については、年度当初から感染拡大している“新型コロナウイルス感染症”の影響で作業の減少が著しく、特にメインであった航空機関連の仕事が停止したことにより大幅な減収となった。しかし、自主生産品の販売や新しい取引先の仕事が軌道に乗ったこと等により前年より３割程度の減収に抑えることができた。

○サービス目標

意思決定支援の推進については、最終モニタリングの場に本人が同席する場を設け、サービス利用に対する意思の確認を行った。

安定した作業供給の継続という点については、コロナ禍による影響でメイン作業が停止してしまったが、ウエス作りや自主生産品の作成、新しく契約した業者の検品包装作業の仕事等を行ったことにより利用者の手が止まることなく提供できた。

施設内環境の整備については玄関ホールへ手すりの設置や段差の解消等を行った。また、ミシン作業の増加に伴いミシンを増やした。

○地域連携目標

残念ながら地元自治会行事はコロナの影響で全て中止となったが、自治会開催時等にマスクの販売会の実施、町内広報によもぎの園の紹介を掲載して貰う等の連携ができた。また、施設開放については、緊急事態宣言解除後に書道と健康体操サークルへ定期的に貸し出しを行った。

○業務遂行目標

新規自主生産活動の導入についてはミシン作業、特にマスク作りが軌道に乗り、市役所への販売会や宮前地区の自治会での販売会、草笛の丘での販売会等に参加し現在はリピーターも増えている。関係機関への営業活動は積極的には行えなかったが、印旛特別支援学校へのマスク販売会の実施やよもぎの園での印旛特別支援学校さくら分校の野菜販売等で交流を図ることができた。

○その他

・第三者委員加藤裕二委員による家族と利用者との懇談会（１２月）

（所長 大里 英巳）

1 施設利用状況

1-1 利用状況

(2020. 4. 1～2021. 3. 30)

【定員 40 名】

	延べ年間通所利用者			1 日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	10480	9475	7245	27.6	69.1	2	1

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	2	0	2	0	0	0	0	0
退所者と退所事由	1	0	0	0	0	0	0	1

1-3 出身地別利用状況

出身地	男	女	合計
佐倉市	23	13	36

2 利用者の状況

2-1 年齢構成 (2020. 4. 1 現在)

	総数	19～	20～	30～	40～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	36	0	5	7	28	44.2	68	18
%	100	0.0	12.5	17.5	70.0			
男	23	2	2	5	14	42.6	67	18
女	13	0	1	1	11	46.6	68	29

2-2 療育手帳による障害程度

(2019. 4. 1 現在)

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	36	5	2	18	6	5
%	100	13.8	5.5	50.0	16.6	13.8
男	23	4	2	9	5	3
女	13	1	0	9	1	2

2-3 身体障害者手帳による障害程度

(2019. 4. 1 現在)

	総数	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	不所持
総数	36	2	1	0	0	0	0	33
%	100	5.5	2.7	0	0	0	0	91.6
男	23	1	0	0	0	0	0	22
女	13	1	1	0	0	0	0	11

2-4 精神障害者保健福祉手帳による障害程度

(2019. 4. 1 現在)

	総数	1 級	2 級	3 級	不所持
総数	36	1	1	0	34
%	100	2.7	2.7	0	94.4
男	23	0	1	0	22
女	13	1	0	0	12

2-5 就学状況（最終学歴）

(2019. 4. 1 現在)

	総数	普通学 校義務	特別支 援義務	普通高 等学校	特別支援 高等部	千葉盲 (再掲)	その他	不就学
総数	36	6	0	5	22	0	3	0
%	100	16.6	0	13.8	61.1	0	8.3	0
男	23	3	0	3	16	0	1	0
女	13	3	0	2	6	0	2	0

2-6 就労経験

(2020. 4. 1 現在)

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	36	15	21
%	100	41.6	58.3
男	23	9	14
女	13	6	7

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

(2020. 4. 1 現在)

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	36	0	1	0	35
%	100	0	2.7	0	97.3
男	23	0	1	0	22
女	13	0	0	0	13

3-2 障害の状況（総括）

(2020. 4. 1 現在)

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声 言語	内部	知的	精神	重複
総数	36	0	2	0	0	0	34	3	0
%	100	0	5.5	0	0	0	94.4	8.3	0
男	23	0	1	0	0	0	22	1	0
女	13	0	1	0	0	0	12	2	0

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

4 援助サービスの実施状況

送迎	○4 経路運行 ①よもぎの園～ユーカリヶ丘～染井野方面～よもぎの園 ②よもぎの園～王子台～J R 佐倉方面～よもぎの園 ③よもぎの園～江原台～大蛇方面～よもぎの園 ④よもぎの園～京成佐倉～よもぎの園 ○利用者からの直接利用料の徴収はなし
宅配弁当 の 仲介	○昼食サービスの要望を受け、宅配弁当の仲介を実施（希望者のみ） ・出勤時に現金を徴収して、職員が宅配弁当業者に注文

作 業	○ヘッドホン結束 （ヘッドホンリサイクル） ・ 国際線航空機のヘッドホン清掃、結束する作業 （6月より休止中） ○タオル縫製 （汚れ拭き上げ用品） ・ 使用済みのバスタオルを二枚の拭き上げ用タオルに作り替える作業 ○ウエス作製 ・ 洋服やシーツなどを指定された大きさにカットする作業 ○腰壁材梱包 （家の壁紙の分かれ目を隠すもの） ・ 木目調の部材を短冊段ボールで梱包し型番のシールを貼る作業 ○ゴムパッキン詰め （試験管のキャップ作り） ・ キャップにゴムパッキンを入れる作業 ○枠のフィルム剥がし （CD、DVDラベルを印刷した原版） ・ シルク印刷の原版清掃する作業 ○足場インサート （建築物の基礎に埋め込む資材） ・ 金属ネジにプラスチックの素材を入れ込みナットを機械で締めこむ作業 ○検査キット封入 （健康診断で使用する検尿容器） ・ 健康診断で使用する尿器のシール貼り及び封入する作業 ○封入作業 ・ 大きささまざまな袋に2、3種類の用紙を入れる作業 ○自主生産活動（ミシン作業、マスク付属品作成） ・ 布マスク作成、マスクストラップ作成、小物家具等作成
自治会 活動	「利用者による利用者のための自治会」をキャッチフレーズに発足 会長…1名 副会長…1名 書記…1名 ○給与規定について ・ 給与規定の内容確認および承認 ○期末ボーナスについて ・ ボーナスの支給方法および承認 ○環境整備について ・ 掃除分担の作成 ○行事計画について ・ 行事計画の内容確認および承認 ○その他 ・ 利用者間の決まり事の確認および周知の場

5 運営管理

5-1 職員状況

職 名	2020. 4. 1 現員数	2020. 4. 1～2021. 3. 31				2021. 3. 31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総 数	11 (5)					12 (7)
管理者	1		1			1
主任 (サービス管理責任者)	1					1
生活支援員	5 (5)		3	2		6 (6)
作業指導員	2					2
目標達成指導員	1					1
運転手	1 (1)					1 (1)

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数は（ ）内に表示。

5-2 職員研修の状況

施設内					
月 日	研修名	人数	月 日	研修名	人数
2/27	池田副理事長講演	11			
施設外					

5-3 行事实施状況

月 日	行 事 内 容
12/29	利用者忘年会
1/26	利用者新年会
2/2	節分
備 考	

ワークショップかぶらぎ

フレックスワークコース／ライフステップコース

（就労継続支援Ｂ型）

（自立訓練（生活訓練））

概況

当年度のスローガンは「自身の力を信じ、力を発揮できるエンパワメントの深化へ」であった。新型コロナウイルス感染症の影響により、稼働・受注作業共に厳しい一年であった。そんな状況ではあったが、逆に支援や作業環境を見つめ直す機会として取り組むことができた。作業スペースに個別ブースを設け、また現在の作業に合わせた環境整備を行った。個別ブースを利用することで、周囲が気になり集中できなかった利用者が、落ち着いて作業することに繋がっている。今後も現状維持ではなく、定期的に見直しを図り良い環境づくりに繋げていきたい。支援面では、自主生産活動を通し自信を得て、受注作業に取り組む時間が増えた利用者もいた。新型コロナウイルス感染症への対応に利用者も職員も追われ、ストレスがあった一年であった。しかし其々が自分の出来ることを模索した一年であり、感染者がなく大きな混乱にならず過ごすことが出来たのは、利用者・現場職員の協力によるものが大きいと感じた。当面続くこの困難を今後も一体となって乗り越えていきたい。

○数値目標

【稼働率】フレックスワークコース（就労継続支援Ｂ型）目標稼働率 110%⇒実績 92.7%

ライフステップコース（自立訓練（生活訓練））目標稼働率 65%⇒実績 83.5%

※春は緊急事態宣言の発出により、自主的に通所を控える利用者がいたため、稼働が落ち込んだ。本人たちの病状に合わせ、週１回の在宅支援を行った。コロナ禍でも安心して通所できるように JR 佐倉・京成佐倉のみだった送迎を、最寄り駅までに変更した。２回目以降の緊急事態宣言では自主的に通所を控える利用者はおらず、稼働の安定に繋がってきている。

【工賃】

目標時給額 360 円⇒実績時給額：334 円（前年度比-38 円）、工賃月額 12,067 円

新型コロナウイルス感染症の影響により、受注作業が止まってしまう事態となった。印刷についてもイベントの中止が続き、毎年秋に受注していた市のイベント関係のポスター印刷等が見込めなかったが、地区社協等の定期刊行物を受注することができ、大きなマイナスとならずに済んだ。止まってしまった受注作業の代替として安価ではあるが、新たな作業を導入でき、利用者の手を止めることなく経過することが出来た。厳しい状況の中、令和３年度に向け基本報酬区分を落とさず取得できたのは、営業担当の職員はじめ、現場の職員が一体となって取り組んだ成果と言える。

○サービス目標

カフェの運営については、様々な案を練る期間となった。新型コロナウイルス感染症の流行で一般開放はできなかったが、カフェや厨房内の整備、価格設定等について検討を行った。

○地域連携目標

年度後半に城の辺地区社協の買い物支援への協力を行ったが、緊急事態宣言の発令により一旦中止となっている。また鍋木２丁目自治会と協議し、自治会への加入ができた。

○業務遂行目標

作業工程、作業環境の見直しを図った。

○人材育成目標

コロナ禍で外部研修の中止が続いた。年度後半にはオンラインを使った研修が増え、必要に応じ受講した。外部研修への派遣が難しいため、職員会議を利用しケースの見直しや事業所内ミニ研修を実施した。

【その他】

○第三者委員による懇談会 12 月 25 日実施

（所長 近藤 美貴）

1 施設利用状況（2020.4.1～2021.3.31）

1－1 利用状況

①就労継続支援B型

【定員14名】

	延べ年間通所（訪問）利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	3752	7174	3485	12.95	92.7%	9	6

②自立訓練（生活訓練）

【定員6名】

	延べ年間通所（訪問）利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	1608	2975	1341	4.96	83.5%	12	6

1－2 入・退所状況

①就労継続支援B型

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	3	0	0	3	2	0	0	0
退所者と退所事由	6	0	0	4	0	2	0	0

②自立訓練（生活訓練）

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	12	0	0	10	2	0	0	0
退所者と退所事由	6	0	0	6	0	0	0	0

1－3 出身地別利用状況

①就労継続支援B型

出身地	男	女	計			
佐倉市	15	14	29			
四街道市	0	0	0			
富里市	0	0	0			
酒々井町	2	0	2			
成田市	0	3	3	男	女	合計
八街市	0	0	0	17	17	34

②自立訓練（生活訓練）

出身地	男	女	合計
佐倉市	5	10	15
四街道市	0	0	0
富里市	1	0	1
印西市	1	0	1
酒々井市	0	1	1

2 利用者の状況

2-1 年齢構成（2020. 4. 1 現在）

①就労継続支援B型

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	60～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	33	0	0	10	13	8	2	45.1	76	31
%	100	0	0	30.3	39.3	24.2	6.0			
男	16	0	0	3	7	4	2	47.8	76	32
女	17	0	0	7	6	4	0	42.7	55	31

②自立訓練（生活訓練）

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	11	0	3	1	3	4	45.1	69	26
%	100	0	27.2	9.0	27.2	36.3			
男	5	0	2	0	1	2	46.0	69	26
女	6	0	1	1	2	2	44.5	57	29

2-2 精神障害者保健福祉手帳による障害程度

①就労継続支援B型

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数	34	4	14	2	14
%	100	11.7	41.1	5.8	41.1
男	17	1	8	2	6
女	17	3	6	0	8

②自立訓練（生活訓練）

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数	18	3	11	1	3
%	100	16.6	61.1	5.5	16.6
男	7	1	4	1	1
女	11	2	7	0	2

2-3 就労経験

①就労継続支援B型

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	36	31	5
%	100	86.1	13.9
男	17	15	2
女	17	14	3

②自立訓練(生活訓練)

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	18	17	1
%	100	94.4	5.5
男	7	6	1
女	11	11	0

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

①就労継続支援B型

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数	34	0	0	0	34
%	100	0	0	0	100
男	17	0	0	0	17
女	17	0	0	0	17

②自立訓練(生活訓練)

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	18	0	0	0	18
%	100	0	0	0	100
男	7	0	0	0	7
女	11	0	0	0	11

3-2 知的障害

①就労継続支援B型

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	34	0	0	0	0	0	34
%	100	0	0	0	0	0	100
男	17	0	0	0	0	0	17
女	17	0	0	0	0	0	17

②自立訓練(生活訓練)

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	18	0	0	0	1	1	17
%	100	0	0	0	5.5	5.5	94.4
男	7	0	0	0	0	0	7
女	11	0	0	0	1	1	10

4 援助サービスの実施状況

作業	○ミーティング（全体ミーティング月2回、部門ミーティング月1回） ○セッアップ部 ・ビニールシート折り ・工具検品 ・ナブキン折り ○クリーン&メンテナンス部 ・館内清掃 ○総務部 ・納品請求書の発行 ・フェイスブック管理 ○プリント部 ・名刺作成 ・封筒作成 ・各種シール作成 ・各種チケット作成 ・イベントのぼり作成 ・ネジボルトの組み立て、計数 ・印刷物の丁合、封入 ・紙製箱の組み立て ・館内環境の美化、整備 ・時給換算表の入力 ・共同受注サイトチェック ・ポスターチラシ作成 ・イベントプログラム作成 ・冊子、報告書、議案書の作成 ・イベント横断幕作成
プログラム	○疾病管理とリカバリー【IMR】（月2回） ○ライフステップミーティング（月1回） ○茶話会（月2回） ○ピアネットワークプログラム【PNP】（随時開催） ○調理会（月1回） ○パソコン ○ビジネスマナー
カフェ活動	○ミーティング（月2～3回） ○飲食メニューの提供、考案 ○カフェ環境整備、月末事務
送迎	○「JR佐倉駅、京成佐倉駅、京成酒々井駅、和田方面」、「京成志津駅、京成臼井駅」の2路線で送迎。 時間帯は朝と夕方のほか昼の時間帯に要望があった時に運行する「デマンド便」を実施。

5 運営管理

5-1 職員状況

職 名	2020. 4. 1			2020. 4. 2～2021. 3. 30				2021. 3. 31		
	継続	異動 入	採用	退職	異動 出	異動 入	採用	退職	異動 出	継続
総 数	7									7
管理者	1 兼									1 兼
主任	1 兼									1 兼
生活支援員	4 (1)									4 (1)
職業指導員	1									1

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数（ ）内に表示。

5-2 職員研修の状況

施設内					
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
12/7	法人感染症研修	1	12/26	SST の基本構造 利用者の話を聞くとときに心掛けて いること	6
2/27	手洗い実践 虐待伝達研修 副理事長講演	6	2/3	法人感染症研修	1
			3/26	法人労務管理研修	1
施設外					
5/1	千葉県精神障害者地 域支援事業所協議会 ネット研修	1	9/3、5	衛生管理集中研修	1
			9/26	災害用発電機の使用について	6
9/29	基幹相談支援センター研 修		10/12	千葉県障害支援区分認定調 査員研修	1
12/8	食品衛生責任者講習	1	12/14、18	苦情解決研修	1
1/22	障害者虐待防止・権利擁 護研修(WEB)	1	1/23	佐倉地区・印西地区合同地域 集会	1
1/30	千葉県精神保健福祉 協議会 WEB研修	7	2/10	CSW フォローアップ研修	1

5-3 実習受け入れ状況

期 間	養成機関名	実習対象資格等	人数
8/4～5	淑徳大学	社会福祉士	1
8/26	〃	〃	1
9/7～10/1	日本社会事業大学通信	精神保健福祉士	1
9/30	東京福祉専門学校	社会福祉士	1
11/4～5	城西国際大学	〃	1
11/26	〃	〃	1
11/30	〃	〃	1

5-4 行事实施状況（2020. 4. 1～2021. 3. 31）

月 日	行 事 内 容
10 月 15 日	避難訓練
12 月 25 日	第三者委員相談会
3 月 17 日	避難訓練

2020（令和 2）年度 事業報告書
共同生活援助（障害者グループホーム）
ジョーの家

概況

当年度のスローガンは「地域に溶け込んだアパートであることを大切にしよう」であった。

新型コロナウイルス感染症の影響で、利用者に自粛をお願いすることの多い一年であった。入居者は少ないが共有するスペースがあり、また就労している利用者もあり、外からの感染リスクについて緊張が高かった。年度後半に１名の利用者が障害者支援施設のロングショートステイに移行した。この方は開設当初からの利用者であった。本人が望む暮らしに近い形がどこにあるのか、介護保険も見据え検討を行った。移行後、世話人会議でも振り返りを行った。入居当時を振り返り、現在と比較して本人ができるところ、難しくなったところなど意見交換をした。結果は障害者支援施設で体調が悪化し入院となり、本人・職員の思い描いた生活ではなくなったが、様々な視点で検討を行ったことは意味があったと感じた。その後、体験利用を経て新たな利用者が入居となった。設立当初は自立している障害支援区分２までの方の入居を想定していたようだが、相談支援事業所へ利用希望者を確認したところ、グループホームの利用希望者は障害支援区分３以上の方が多かった。年度末に２回目の指定更新の手続きを終え、ジョーの家の在り方について検討する時期に来たのではないかと感じた。

○数値目標

稼働率 目標 98%⇒実績 97.0%

※前年度に入居した利用者が事業所の生活に慣れるまで定期的に自宅へ外泊していたことと、１名の入れ替えがあったため目標数値を達成できなかった。

○サービス目標

世話人会議で各利用者の状況を確認し、必要に応じて支援の組み立てや見直しを行った。年度当初は前年度に入居した利用者の生活について、年度後半では新しい入居者について検討を行った。それぞれ本人たちのペースで事業所に慣れてきている。

○地域連携目標

毎年楽しみにしている地域の催しは、新型コロナウイルスの影響で中止となり参加できず残念であった。緊急事態宣言の発出時はそれぞれが週末を楽しんでいたことも自粛することになり、利用者にとってはストレスの多い一年であった。

○業務遂行目標

自主性の尊重と必要な支援について考えた一年であった。管理的にならず、必要な事をどう伝えるか、本人たちの力を見極め、時に介入することもあった。年度初めに入居した利用者については、毎週末に実家へ外泊しており、食事時にも会話が少なかったため、他の入居者との関わりづくりや週末の余暇支援の一環として調理会を行った。その後、少しずつ会話が増え事業所での生活にも慣れたようであった。

○人材育成目標

新型コロナウイルス感染症の影響で、外部研修は中止が続いた。高齢化への対応等は世話人会議等で情報交換を行った。他事業所の様子が伺える世話人の集いは、世話人が良い影響を受けることも多く良い研修の機会である。暫くはコロナ対策が続くため、他事業所の情報等を提供できる機会を模索したいと思う。

【その他】

○第三者委員による懇談会 12月25日実施

（所長 近藤 美貴）

1 利用状況（2020. 4. 1～2021. 3. 31）

1－1 利用状況

【定員 4 名】

	延べ年間利用者			1 日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	1460	1460	1420	3.8	97.2	1	1

1－2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	1	1	0	1	0	0	0	0
退所者と退所事由	1	0	0	0	1	0	0	0

1－3 出身地別利用状況

出身地	男	女	合計
佐倉市	3	2	5

2 利用者の状況

2－1 年齢構成（2020. 4. 1 現在）

	総数	30～	40～	50～	60～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	4	0	1	1	3	55.2	68	41
%	100	0	25.0	25.0	50.0			
男	2	0	0	0	2	65.0	68	62
女	2	0	1	1	0	45.5	50	41

2－2 精神障害者保健福祉手帳による障害程度

	総数	1 級	2 級	3 級	不所持
総数	4	0	1	1	2
%	100	0	25.0	25.0	50.0
男	2	0	1	0	1
女	2	0	0	1	1

2－3 療育手帳による障害程度

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	4	0	0	0	1	3
%	100	0	0	0	25	75
男	2	0	0	0	0	2
女	2	0	0	0	1	1

2－4 身体障害者手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	4	0	0	0	0	0	0	4
%	100	0	0	0	0	0	0	100
男	2	0	0	0	0	0	0	2
女	2	0	0	0	0	0	0	2

2－5 就学状況（最終学歴）

	総数	普通学校 義務	特別支援 義務	普通高等 学校	特別支援 高等部	千葉盲 (再掲)	その他	不就学
総数	4	1	0	3	0	0	0	0
%	100	25.0	0	75.0	0	0	0	0
男	2	1	0	1	0	0	0	0
女	2	0	0	2	0	0	0	0

2－6 就労経験

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	4	3	1
%	100	75	25
男	2	2	0
女	2	1	1

3 利用者の障害の状況

3－1 視覚障害

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数	4	0	0	0	4
%	100	0	0	0	100
男	2	0	0	0	2
女	2	0	0	0	2

3-2 知的障害

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	4	0	0	0	1	1	3
%	100	0	0	0	25.0	25.0	75.0
男	2	0	0	0	0	0	2
女	2	0	0	0	1	1	1

3-3 障害の状況（総括）

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複	その他
総数	4	0	0	0	0	0	1	3	0	0
%	100	0	0	0	0	0	25.0	75.0	0	0
男	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0
女	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

4 援助サービスの実施状況

食事提供	朝・夕の食事を提供。業務用献立配達システムにより、栄養管理された献立に基づいて世話人が調理し食事を提供。 誕生日などはその利用者の希望するメニューに変更し提供。
体調管理	健康状態の把握、緊急時の通院、不調時の静養や通院の促しを行う。

5 運営管理

5-1 職員状況

職 名	2020.4.1 現員数			2020.4.2~2021.3.30				2021.3.31 現員数		
	継続	異動入	採用	退職	異動入	異動出	採用	退職	異動出	継続
総 数	4(2)		1(1)							4(2)
管理者	1 兼									1 兼
サービス管理 責任者	1 兼									1 兼
世話人	2(2)		1(1)					1(1)		2(2)

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数（ ）内に表示。

5－2 職員研修の状況

施設内					
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
12/7	法人感染症研修	1	2/3	法人感染症研修	1
3/26	法人労務管理研修	1			
施設外					
1/22	障害者虐待防止・権利擁護研修(WEB)	1	2/13	千葉県障害者グループホーム大会	2

5－3 行事実施状況（2020. 4. 1～2021. 3. 31）

月	行 事 内 容
10 月 24 日	避難訓練
12 月 25 日	第三者委員面談
3 月 24 日	避難訓練
誕生祝	入居者誕生月毎に実施（食事会）

グループホーム 山王の家

概況

当年度のスローガンは、前年に引き続き「育もう、生きる力」である。

新型コロナに伴う影響で、利用者の生活環境に大きな制限が出た。新型コロナウイルス感染防止のための長期帰宅、山王の家に留まることや通所事業所への利用自粛が行われてきた。

不要不急の外出自粛が叫ばれている中、毎週末帰省していた利用者にとっては、帰宅できないことや、山王の家に留まることのストレスの為、宿直者が平日の昼食メニューを工夫したり、皆でお菓子作りをする。時には散歩へ出掛けたり、映画を見たりと対応してきた。

就労している利用者は、電車通勤を続けているので出入りの際は消毒を徹底してきた。

８月１７日の根郷通所での新型コロナ陽性者発生に伴い、通所へ通う６名のうち、３名の利用者が濃厚接触者となった。保健所の指導により、翌１８日から山王の家を濃厚接触者隔離施設とした。結果、山王の家に４名、帰宅５名、リホープ緊急ショートステイ１名という暮らしとなった。

根郷通所利用者２人目の陽性者発生に伴い、実家へ帰省していただいた１名の方の濃厚接触が判明し、PCR検査を受けていただくこととなったが、幸いにも陰性であったため、９月５日に山王の家に戻っている。

感染症対策については、平日の午前中に利用者が出掛けた後、世話人が全共有スペースの消毒を最優先におこなっている。

○数値目標（稼働率）

・目標 95% ⇒ 実績 90.4%

○サービス目標

・利用者の希望で５月から休みの日の昼食を宅配業者に発注している。契約業者の献立を見ると、昼食の方が夕食メニューよりも豪華であるので利用者からは好評である。

・コロナ対策として、洗面所にポンプ式に代わりオートソープディスペンサー、玄関には、オートアルコールディスペンサーも用意した。また、来訪者も多いことから、自動で検温できる非接触式検知器サーモマネージャーを設置した。

・利用者は、皆それぞれ自分の部屋の模様替えや、デコレーションをしている。しかし、共有スペースはハロウィンやクリスマスの時期は利用者と職員で飾り付けをするが、普段は生活感もないような風景でまだまだ脱施設化に程遠いと感じ、観葉植物を配置したりとより家庭的な雰囲気づくりをおこなっている。

・山王の家で金銭管理を行っている利用者は、現金の取り扱いを廃止して、電子マネーsuicaを個人用に用意して買い物をするようにした。現金を取り扱うリスクが軽減した。

・利用者間のトラブルにより１名の利用者が退所した。職員側の問題は、職員が利用者の行動が重大なこととの認識が薄く、報告、職員間の注意喚起へと繋がられなかったことである。

・ご家族が入居希望を出した方に、ご本人に説明をして見学していただいたところ、希望が上がったので、ご家族にも見学をしていただき、４月に５日間の体験利用をすることとなった。

○業務遂行目標

・７月に第三者評価結果報告を受けた。改善点を受けて、生活支援員の会議録を山王の家で閲覧できるようにした。また、毎日の日誌を作成して世話人と宿直職員に情報が入るようにした。

・10/6宿直者１名だけで対応する夜間想定避難訓練を実施した。防火管理者立ち会いで、夕食後の１９時以降に実施した。当日の宿直者１名で１０名の利用者の避難対応を行った。１名の利用者が居室にとどまり避難が数分遅れたが、職員の誘導により無事に避難することができた。

（管理者 安部一義）

1 利用状況（2020. 4. 1～2021. 3. 31）

1－1 利用状況

【定員 10 名】

	延べ年間利用者			1 日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	3,650	2,570	3,301	9.0	90.4	0	1

1－2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	0	0	0	0	0	0	0	0
退所者と退所事由	1	0	0	0	0	0	0	1

1－3 出身地別利用状況

出身地	男	女	合計
佐倉市	5	1	6
四街道市	1	1	2
船橋市		1	1

2 利用者の状況

2－1 年齢構成（2020. 4. 1 現在）

	総数	18～	20～	30～	40～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	10	0	1	4	5	37	56	21
%	100	0	10	40	50			
男	7	0	0	2	5	45	56	32
女	3	0	1	2	0	29	36	21

2－2 精神障害者保健福祉手帳による障害程度

	総数	1 級	2 級	3 級	不所持
総数	10	1	0	0	9
%	100	10	0	0	100
男	7	1	0	0	6
女	3	0	0	0	3

2-3 療育手帳による障害程度

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	10	4	3	1	1	1
%	100	40	30	10	10	0
男	7	4	0	1	1	1
女	3	0	3	0	0	0

2-4 身体障害者手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	10	0	0	0	0	0	0	10
%	100	0	0	0	0	0	0	100
男	7	0	0	0	0	0	0	7
女	3	0	0	0	0	0	0	3

2-5 就学状況（最終学歴）

	総数	普通学校義務	特別支援義務	普通高等学校	特別支援高等部	千葉盲（再掲）	その他	不就学
総数	10	0	0	2	7	0	0	1
%	100	0	0	20	70	0	0	10
男	7	0	0	2	4	0	0	1
女	3	0	0	0	3	0	0	0

2-6 就労経験

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	10	3	7
%	100	30	70
男	7	3	4
女	3	0	3

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数	10	0	0	0	10
%	100	0	0	0	100
男	7	0	0	0	7
女	3	0	0	0	3

3-2 知的障害

	総数	最重度	重度	中度	軽度	非該当
総数	10	4	3	1	1	1
%	100	40	30	10	10	10
男	7	4	0	1	1	1
女	3	0	3	0	0	0

3-3 障害の状況（総括）

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複	その他
総数	10	0	0	0	0	0	9	1	0	0
%	100	0	0	0	0	0	100	10	0	0
男	7	0	0	0	0	0	6	1	0	0
女	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

4 援助サービスの実施状況

食事提供	朝はチルドの食事を提供し、本人達に和食、洋食を選んでもらい提供している。 また、夕食は業務用献立配達システムを利用し利用者と一緒に調理を行っている。
体調管理	健康状態の把握。薬の管理。突発の際の通院付き添い。

5 運営管理

5-1 職員状況

職 名	2020. 4. 1 現員数	2020. 4. 1～2021. 3. 31				2021. 3. 31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総 数	4(4)				1(1)	3(3)
管理者	1 兼					1 兼
サービス管理責任者	1 兼		1 兼			1 兼
生活支援員	13(1) 兼					13(1) 兼
世話人	4(4)				1(1)	3(3)

☆数字は総数で表示し、うちパート職員の数（ ）内に表示。

☆網掛けは、職員数にカウントしない。

☆生活支援員（宿直等）についてはバックアップ施設（めいわ入所部・通所部、よもぎの園）兼務

5－2 行事实施状況（2020. 4. 1～2021. 3. 31）

月	行 事 内 容
10/6	避難訓練
3/29	避難訓練

Ⅱ－９ 障害者支援事業部統合運営部門

１ 健康管理（健康管理センター）

１－１ 概況 （2020 年度）

当年度はコロナ禍での生活の変化がある中で、職員１名と通所事業部で利用者２名の新型コロナ罹患があった。従来の感染対策から新型の未知なる感染症への備え、対応についての検証や、今後に生かす実践へと各施設で迅速な対策を模索した。緊張感を個々に持ち意識的な行動により、入所者罹患無しの結果につながったことは良かった。一方で転倒による骨折やてんかん重責発作、脳出血、胃や大腸・膀胱の進行性癌の発覚等で通院や入院が必要となり、治療や方向性での選択に関わる問題点、施設での受け入れ態勢等様々な課題がある事が浮き彫りになった年であった。

１－２ 保健関係行事の実施状況

月	保 健 関 係 行 事
4月	衛生・感染症対策委員会、血圧・体重測定、法人新任研修
5月	衛生・感染症対策委員会、血圧・体重測定
6月	衛生・感染症対策委員会、血圧・体重測定、法人健康診断(職員)
7月	衛生・感染症対策委員会、血圧・体重測定
8月	衛生・感染症対策委員会、血圧・体重測定、法人健康診断(利用者)
9月	衛生・感染症対策委員会、血圧・体重測定、内科健診(利用者)
10月	衛生・感染症対策委員会、血圧・体重測定、内科健診(利用者)、インフルエンザワクチン接種
11月	衛生・感染症対策委員会、インフルエンザワクチン接種、血圧・体重測定、医務内会議
12月	衛生・感染症対策委員会、血圧・体重測定
1月	衛生・感染症対策委員会、血圧・体重測定
2月	衛生・感染症対策委員会、血圧・体重測定、医務全体会議
3月	衛生・感染症対策委員会、血圧・体重測定

1-3 施設内診療

診療科		総数	ルミエール	めいわ	リホープ
【内科】 診療日数 95	延人数	1252	456	385	411
【歯科】 診療日数 51	延人数	363	140	122	101
【医務室】 処置日数 365	延人数	7860	3298	362	4200
【精神科】 診療日数 24	延人数	618	311	235	72
【泌尿器科】 診療日数 13	延人数	372	70	235	67
【他科】 診療日数 0	延人数	0	0	0	0

1-4 施設外医療機関での受診状況

診療科		総数	ルミエール	めいわ	リホープ
内科	延人数	102	28	17	57
歯科	延人数	13	3	5	5
眼科	延人数	33	4	19	10
外科	延人数	32	10	5	17
精神科	延人数	224	136	43	45
その他	延人数	240	46	88	106

1-5 入院の状況

入院		総数	ルミエール	めいわ	リホープ
件数		23	3	3	17
総日数		722	102	152	468
実人数		11	2	3	6
内訳	男	6	1	1	4
	女	5	1	2	2
医療機関別人数（延人数）	佐倉中央病院	3	2	1	
	聖隷佐倉市民病院	1			1
	東邦大学医療c 佐倉病院	8			8
	千葉中央メディカルセンター	1		1	
	八千代病院	2			2
	佐倉厚生園	1		1	
	四街道徳洲会病院	1			1
	成田富里徳洲会病院	5	1		4
	成田赤十字病院	1			1

1-6 疾患別入院理由

(延人数・重複発症含む) 疾患別入院理由	肺炎（疑い含む）	2	骨折	1
	ステント交換	7	右脳出血	1
	S状結腸捻転	1	胃・十二指腸潰瘍	1
	スキルス性胃がん	1	大腸癌	1
	ストマ調整	1	大腸癌に伴う腸炎症 疑い	1
	てんかん重積発作	1	不穏による医療保護 入院	2
	発熱	1	脊椎損傷、頸椎症	1
	腎盂炎・便秘	1	骨折	1

1-7 救急搬送の状況

搬送件数	総数	ルミエール	めいわ	リホープ
	10	3	1	6
(内訳)	男:4 女:6	男:2 女:1	男:1 女:0	男:1 女:5

2 食事サービス（栄養管理室）

2-1 概況

○新型コロナウイルスの蔓延に伴い感染発症時における給食提供について、給食委託業者と話し合いを行い、施設内や厨房内での感染者発生やはちす苑の厨房が業務停止に陥った場合などを想定し対策を講じた。

○新型コロナウイルスによる自粛は、施設内の利用者にも大きなストレスを与えた。これまで当たり前のようにできていた外出や運動などが制限され、それによるストレスのはけ口として清涼飲料水の摂取や間食の増加が懸念された。そこで栄養指導として清涼飲料水に含まれる砂糖の量をパネルにしたものを作成し糖分過剰摂取にならぬよう、職員・利用者への注意喚起を行った。併せて、施設内では日中活動や行事に参加していただくなど利用者に身体を動かす機会を提供し、ストレス軽減につながるよう働きかけた。

○栄養ケア会議では、血液検査の結果が芳しくない利用者や体調面が気になる方、療養食加算対象の方を中心に食事量・間食量・運動量など施設から提供された情報を元に施設管理者、栄養改善委員などと改善に向けて話し合いを行った。それにより、一部数値が改善した利用者も見られた。引き続き健康維持・増進のため、栄養管理に努めたい。

○利用者の高齢化に伴い、個々の咀嚼力や嚥下状態に合わせた適切な食事形態の提供が求められ施設職員や給食委託業者の協力を得ながら取り組みを行った。

2-2 通常献立

	朝食 8:00～	昼食 12:00～	夕食 18:00～
献立名	ご飯 納豆 春野菜の五目煮 塩もみ野菜 みそ汁（もやし、人参）	ご飯 青菜と豚バラの温奴 ポテトサラダ 大豆と昆布の煮物 みそ汁（ブロッコリー、油揚げ）	ご飯 魚の塩焼き（さわら） 煮しめ 青梗菜とツナの和え物 みそ汁（ほうれん草、里芋）

２－３ 食種構成表

	常 食	特 別 食		
		刻み	粥	ミキサー・ペースト食
総 数	141	31	7	3
ルミエール	37	15		1
めいわ	33	11	1	2
通所	40	2		
リホープ	31	3	6	
	療 養 食			
	減塩食	脂質コントロール食	糖尿病食	貧血食
総 数		7	15	
ルミエール		4	2	
めいわ		2	4	
通所				
リホープ		1	9	

２－４ 基準摂取栄養量

エネルギー	1900kcal	たんぱく質	74g	脂質	50g
糖質	285g	カルシウム	550mg	鉄分	10mg
ビタミンA	850 μ g	ビタミンB1	1.3mg	ビタミンB2	1.5mg
ビタミンC	100mg	食塩相当量	8.0g		

２－５ 栄養改善委員会開催状況（各月開催）

委員の構成・・・利用者代表 1名、各施設職員 3名、施設栄養士 2名
委託業者 1名（栄養士）

月 日	内 容 （例）
10月21日	＊栄養士から連絡（①配膳車の取り扱いについて、②清涼飲料水に含まれる糖分について、③非常食について）、 ＊委託給食会社からのお願い ＊検食簿からの意見 ＊施設からの意見

2-6 行事食献立

月・日	区分	行 事 名	献 立
4月22日	昼	春の献立	たけのご飯、さわらの塩麴焼き、 ほうれん草のごま和え、野沢菜漬 け、のっぺい汁
5月5日	昼	端午の節句	五目ちらし（穴子）、いかと里芋の 煮物、 沢煮椀、柏餅
7月7日	昼	七夕	枝豆ごはん、さわらの塩麴焼き、里 芋のそぼろ煮、オクラのすまし汁、 梅ゼリー
7月21日	昼	土用の丑の 日	五目ちらし（穴子）、切り干し大根 のオイスターソース、バンサンス ー、オクラのすまし汁
8月5日	昼	夏の献立	冷やし中華、焼きおにぎり、ナスと ピーマンの味噌炒め、コーヒーゼ リー
9月21日	昼	敬老の日	赤飯、ぶりの塩焼き、炊き合わせ、 すまし汁（大根、こまつな）、プル ーン甘煮
9月22日	昼	秋分の日	ごはん、かき揚げ、高野豆腐の煮物、 みぞれ汁、おはぎ
9月24日	昼	秋の献立	きのご飯、さんまの薬味煮、竹輪 の磯辺揚げ、塩もみ野菜、みそ汁 （さつま芋）
10月29日	昼	秋の献立	栗ごはん、鶏のじぶ煮、切り干し大 根のサラダ、みそ汁（かぶ、かぶ葉） みたらし団子
12月21日	昼	冬至	ちらし寿司、切り干し大根のゆず 和え、すまし汁（はんぺん、みつ ば）、南瓜ババロア
12月25日	昼	クリスマス	ロールパン、マカロニグラタン、大 根とささみのサラダ、コーンポタ ージュスープ、チョコレートケー キ

12月31日	昼	大みそか	年越しそば、えびとそら豆のかきあげ、いなり寿司、ほうれん草と油揚げの和え物、手作り水ようかん
1月1日	夕	お正月	ごはん、ぶりの照り焼き、友禅和え、伊達巻き、鶏肉の八幡焼き、ハムマリネ、紅白そうめん汁
1月7日	昼	七草	七草粥、鶏肉の塩こうじ焼き、白菜の甘酢和え、 のっぺい汁、水ようかん
2月2日	昼	節分	ちらし寿司、ひじきの煮物、沢庵漬け、すまし汁（はんぺん、みつば）、手作り水ようかん
2月14日	昼	バレンタインデー	ご飯、鶏肉のクリーム煮、南瓜サラダ、ベーコンとエリンギのスープ、チョコレートプリン
3月3日	昼	ひな祭り	ちらし寿司、蒸し鶏とキャベツの和え物、かぶのそぼろ煮、紅白そうめん汁、桜もち
3月18日	昼	創立記念日	赤飯、松風焼き、刺身（ねぎとろ）、ブロッコリーの蟹あんかけ、紅白そうめん汁
3月20日	昼	春分の日	ご飯、ローストポーク、えびと玉ねぎの酢の物、沢煮椀、おはぎ

3 ボランティアの育成と受け入れ

3-1 ボランティア受け入れ状況 (障害支援事業部) (0件/0人)

活 動 内 容	件数	延べ 人数	活 動 内 容	件数	延べ 人数
理髪	0	0	作業補助	0	0
歩行介助	0	0	行事協力	0	0
外出介助	0	0	ダンス・舞踊	0	0
伴走	0	0	傾聴・朗読等	0	0
清掃	0	0	音楽	0	0
施設・備品整備	0	0	茶道・花道	0	0
裁縫	0	0	公演	0	0
洗濯・たたみ	0	0	手工芸	0	0
生活介助	0	0	その他	0	0

3-2 ボランティア登録状況 (障害支援事業部) (0団体 0名・個人0名)

団 体 名	会員数	所在地域	団 体 名	会員数	所在地域
新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、ボランティアの受け入れを中止。そのため新規および継続の登録もなし。					

3-3 ボランティア育成事業 (全事業所)

月 日	内容
中止	ボランティア交流会 ※新型コロナウイルス感染症のため中止
中止	地域デビュー講座 災害ボランティア講座 (南部地域福祉センター) ※新型コロナウイルス感染症のため中止
(ボランティア交流会中止に変わる取り組み) ・ボランティアの方々へ感謝のマスクプレゼント ⇒緊急事態宣言等もあり、自粛が続いているボランティアの皆さまに、感謝の気持ちを込めて佐倉市よもぎの園・ワークショップかぶらぎで作成したマスク 171 名 (171 枚) をプレゼント送付する。	

3-4 福祉教育

月 日	機関名	対象者	学習内容
新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、小中学校が休校となる。学校再開後は、カリキュラムの遅れを取り戻すため、福祉学習(総合学習)は中止となり、アイマスク体験、点字講座、交流体験も中止となった。			

3-5 地域食堂「ともいき」開催状況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、地域食堂ともいきの開催は中止。それに代わる取り組みとして、外部業者(地域の飲食店)にお弁当作成を依頼。買取したお弁当を100円で販売する。						
開催日	発注先	地域住民	見学者	ボランティア	延人数	運営スタッフ
10月21日	おふくろ食堂弁当	68	0	3	71	10
12月16日	マハロ弁当	63	1	3	66	12

○開催場所：10月山王集会所 12月高齢者ケアセンターはちす苑

○開催日：第三水曜日 16:30～ ○お弁当代：100円

Ⅲ. 高齡者福祉事業部

高齢者福祉事業部

はちす苑

概況

完成したロゴマークのタグライン「らしく 楽しく 末永く」をスローガンとし、「はちす苑 8 つの誓い」を基に、新たな気持でスタートする形であったが、新型コロナウイルス感染症による対応に追われ、施設運営において大きな影響を受けた年度であった。施設利用者は、家族に会うことができない、楽しみ（レクリエーション・外出など）を行うことが難しく、生活がさらに制限される形となってしまった。職員も仕事だけでなくプライベートにおいても、感染予防・自粛生活を送らなければならず、リフレッシュができない状態となつてしまい、心身ともにストレスなど大きな負担がのしかかった。そのような状況においても、施設内に新型コロナウイルスなど感染症が広がらなかったのは、職員の仕事に対する責任感の強さと感染症対策をはじめとした日々の努力によるものである。その結果、全体の総収入は、かかりまし経費などの補助金があったものの、約 445,000,000 円と高い数値となった。

年度途中での常勤職員退職、職員の怪我などで人員不足を補えず、前年度に引き続き、特養・ショートステイ常勤職員の公休消化ができなかった。前述のとおり、現場職員に大きな負担がかかっていたにもかかわらず、通常の休みを付与できなかったことは、運営側の大きな責任である。業務改善、人員配置の見直し、他部署への応援依頼など、労働環境の改善が大きな課題である。

○数値目標

特養・ショートステイの合算稼働率は、目標数値を達成できた。それぞれで 100% 台の稼働があったことが大きい。デイサービスは、年間通して 60% 後半から 70% 前半と稼働が伸び悩んだが、共生型の利用者数は安定しており、前年度より収入も増え 1,000 万円台となった。ホームヘルプは、登録ヘルパーの退職などはなかったが、利用者の入院などの関係で平均月收入が 192 万円であった。ケアプランは、年度途中で介護支援専門員が 4 名体制となり、実績が伸びたこと、さらに特定事業所加算Ⅱを算定できるようになったため、収入増となった。

	目 標 値		実 績 値	
特養 ショートステイ	稼働率	合算 97%	98.0%	合算 97.6%
	月平均介護保険収入	2,500 万円	96.5%	2,684 万円
配食サービス	月平均収入	23 万円		19 万円
	食数換算	274 食		193 食
デイサービス	稼働率	75%		69.9%
	1 日平均利用者数	26 人		24.4 人
	月平均介護保険収入	600 万／月平均		639 万円
ホームヘルプ	月平均契約者数	60 件		58.3 件
	月平均介護保険収入	190 万円	(訪問型月平均 7 万円)	192 万円
ケアプラン	月平均実績件数 (予防プラン含む)	115 件		114 件
	月平均介護保険収入	140 万円		167 万円

○サービス目標

・事業所の価値向上に向けての取り組み強化⇒実施できず。

・重度化予防、自立支援に向けた機能訓練の実施

機能訓練指導員を採用できなかったが、特養では、外部の機能訓練指導員により個別に実施している。

・危険予知によるリスクへの対応強化

危険予知において職員間で差がみられており「予測」への意識強化が必要である。服薬関連の重大事故は「ひと間違い」の誤薬事故が 1 件、薬の投薬間違い（重複して服薬）1 件、インシュリン単位間違い、合計 3 件発生してしまった。施設内においては、事故が起こるたびにマニュアルを更新してきたが「人」によるチェックは限界があるため、特養で「服やっくん」を次年度導入することにした。「放置」についても、看板やタイマーな

ど様々な手段を講じてきたが、件数は減っておらず逆に増えているため、視覚的に認識できるよう「ケアの途中」を意味する、点滅ライトを使用することとしている。

【事故に関する資料】

※年間ヒヤリハット 687 件数件（令和元年度ヒヤリハット件数 858 件）

※年間事故総数 36 件

防ぐべき事故 24 件 予測ができた事故 11 件 予測が難しい事故 1 件

●事故の主な内容

異食・誤飲 2 件 転倒 15 件（骨折・・右脚脛骨 1 左手首 1 左大腿部頸部 1 裂傷、打撲等 4）

※転倒について

転倒 15 件のなかで、転倒骨折予防パンツを着用している利用者 10 名、その内 7 名怪我を防いでいる。

※誤薬事故について

総数 11 件 人間違い 1 件 重複して服薬 1 件 インシュリン単位間違い 1 件

服薬忘れ 8 件（排便カウントミス 薬のセットミスなど）

※その他事故について 放置 4 件 無届外出 1 件 車両事故 1 件など

●苦情 1 件 地域住民からの苦情

（苦情内容）「愛光」と書かれた車両の運転席窓からゴミを投げ捨てる行為を目撃した。

発生時間帯に業務をしていたと思われる職員がおり、聞き取りした結果「私です」と認めた。社会人・組織人としてあり得ない行為であるため、上司から嚴重注意をした。

○地域連携目標

- ・通所型 B、のびのび入浴、フレイル予防事業については、当年度実施せず。
- ・介護者のつどい 1 回実施（参加人数 7 人）
- ・地域との連携強化

地域連携強化への動きがほとんどできない状態であったが、ケアプランにおいて、地域の老人サークルへ訪問する機会があり、介護保険制度の説明、地域高齢者の生活に関する相談、ケアマネジャーの仕事の説明などを実施した。

○業務遂行目標

- ・行動指針、行動規範、ルールブックの活用

「はちす苑 8 つの誓い実行プロジェクト」会議で話し合われており、現状とのギャップなどさまざまな声が挙がっている。何のために作ったのか、それを職員に理解してもらい、できることから実行することが大切であることを伝えていく。次年度は委員会として活動し、アンケートなど実施することで現状を把握し、ルールブックも今より見やすい内容にするなど検討していく。求人などへの活用においては、就職フェアの面接で「ルールブック」を示すと高評価であった。

・ICT 導入については、次年度介護ソフト更新の関係から、令和 4 年度の導入を目標に検討していく。業務改善・労働環境改善については、公休買取が当年度も発生したため、次年度、業務改善委員会を立ち上げる。

- ・選択的介護、介護保険外サービスの導入

デイサービスで、洗濯サービスを導入。対象は、自宅での洗濯が厳しい独居の方を中心に行う。現在 2 名利用されている。今後は、買い物代行や施設内でのワクチン予防接種を検討している。

- ・助成金を活用したデイサービス設備修繕

馬主協会から助成金を得られなかった。次年度、千葉県助成金を活用し、トイレ設備改修を実施する予定。

○人材育成目標

- ・資格取得 主任介護支援専門員 1 名 介護支援専門員 1 名

・インターネット研修、オンライン研修を中心に例年通り研修を実施できた。前年度実施できなかったターミナルケアを経験された家族を講師として招き、ターミナルケア研修を実施した。また、特に当年度は、感染症対策研修に力を入れ、職員 15 名が感染症対策アドバイザー資格を得た。

・相談員、介護支援専門員の営業については、新型コロナの影響があったため大病院への営業は難しい状況であったが、クリニックなど可能な範囲で実施した。

・両課長に今後の介護保険改正、介護保険制度の動き、経営に関する研修をオンラインで受講してもらい、経営に対する意識強化へつなげた。

1. 特別養護老人ホーム

医療的ケアの必要な方が増えており、持病による入院が増えているが、前年度より入居者の入院日数は、前年度（599 日）より 177 日減少した。丁寧なケア、また、訪問歯科と連携し定期的な口腔ケアと言語聴覚士による誤嚥検査などを実施した結果、誤嚥性肺炎を発症する人数が減少したことが要因として挙げられる。排泄・褥瘡ケア内容が、アウトカム評価の加算算定要件を満たしているため、令和 2 年 7 月より算定を開始した。他職種が連携することでデータを活用しケアの質をさらに向上したい。看取りケアは、6 名（退所 7 名の内）実施した。

2. ショートステイ

長期ショートステイ利用者が例年に比べ安定していたこと、特養入居者が入院した際の空きベッド活用や、緊急ショートの入入れを積極的に行った結果、収入増となった。また、共生型事業においては、親（要支援）が緊急入院し障害の子（区分 5 55 歳）の行き場がないケース、21 歳男性（知的障害 プラダウィリー症候群）の利用など、徐々に受入の窓口が広がっている。（共生型延べ利用人数 126 人）経験を積み事例を重ね、定期利用者を獲得できるよう、外部関連機関との関係づくりにさらに力を入れたい。

3. 佐倉市高齢者等ふれあい配食サービス事業（委託事業）

4 月と 5 月は他法人施設で新型コロナウイルスによるクラスター感染が発生したため、佐倉市からの要請により臼井、王子台、江原台を緊急で対応した。

根郷、和田、弥富の地域を担当しているが、限界集落であり新規の配達があっても、入院や施設入所に至ることから減少する速度が早い。そのため佐倉市高齢者福祉課に配達地域の見直しを何度も訴え続けた。その結果、次年度から江原台、角来の地区は飛び地であるが、はちす苑の配達地域になることが決まった。約 30 食程度、増える見込みになる。

4. デイサービス

年間を通して、稼働が伸び悩んだ。相談員が定期的に通院に行けないこと、新規契約が得られていないことが大きい。今後、サービスの見直しや新たなサービスの提供（開発）、営業活動の強化、送迎の工夫は必須である。また、介護保険の動向を意識しながらアウトカム評価・加算への取組、介護保険外サービス・選択的介護サービスの導入、広報戦略を強化し、地域の認知度を上げていかなければならない。

共生型生活介護利用者数 実利用者数 16 人 延べ利用者数 1,052 人

5. ホームヘルプサービス

入院者増と人員不足（登録ヘルパー）ではあったが、何とか目標は達成した。しかし、依頼を断っているケースがあり、ヘルパーを確保できていれば収入増を見込める。佐倉市内においても、登録ヘルパーの数は減少傾向で、サービスを維持する意味でも職員不足をどのように補うのか、佐倉市全体の大きな課題である。

6. ケアプラン

介護支援専門員 3 名体制となり、さらに年度内でフルタイムパートを採用できたため、目標であった 4 名体制を構築できた。ケアマネジャー各自が、実績件数に対して意識を持って取り組んだ結果、大幅な収入増となった。新型コロナウイルスの関係で、地域関連事業がほとんど実施できない状態であり、ケアプランへ集中できる状況であったが、これが通常になった場合、現在の件数を維持しながら地域貢献事業の展開ができるかどうか、業務改善・生産性向上が大きな課題である。

（苑長 麻生 知明）

1 事業の実績(2020.4.1～2021.3.31)

1-1 特別養護老人ホームはちす苑(介護老人福祉施設)

【定員 54 名】

	延べ年間施設利用者			1 日平均		延べ年間空所				入 退 所	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	総数	欠員	入院	外泊	入所	退所
(当年)	19,710	19,710	19,323	52.9	98.0%	422		422		7	7
(前年)	18,664	19,004	18,406	50.2	98.0%	599	10	588	1	23	19

※ 定員とは入所定員に各月暦日数をかけたもの。

※ 入院日と退院日は含めていない。

1-2 ショートステイはちす苑（短期入所生活介護事業）

【定員 20 名】

	延べ年間施設利用者		1 日平均	
	定員	利用総数	利用数	稼働率
(当年)	7,300	7,045	19.3	96.5%
(前年)	7,320	6,795	18.7	92.8%

1-2-1 特養 ショートステイ合算

	延べ年間施設利用者		1 日平均	
	定員	利用総数	利用数	稼働率
(当年)	27,010	26,368	72.2	97.6%
(前年)	25,984	25,201	68.3	97.0%

1-3 佐倉市高齢者等ふれあい配食サービス事業（委託事業）

月	食数	実利用者数	新規	終了
4 月	258	21	11	1
5 月	209	13	0	8
6 月	221	19	1	6
7 月	222	13	1	0
8 月	215	14	1	1
9 月	184	13	0	1
10 月	184	13	0	0
11 月	172	12	0	1
12 月	200	13	1	0
1 月	161	13	0	0
2 月	166	13	1	2
3 月	174	11	0	1

1-4 デイサービスはちす苑（通所介護事業 基準該当生活介護事業）

【定員 35 名】

	延べ年間通所利用者			1 日平均		利 用 契約者 (共生含)	共生型生活介護
	営業日	定 員	総 数	利用数	稼働率		利用契約者数 16 延べ利用人数 1,052
(当年)	308	10,780	7,542	24.4	69.9	915	
(前年)	308	10,780	7,491	24.3	69.4	822	

1-5 ホームヘルプサービスはちす苑（訪問介護事業）

	延べ年間 利用総件数	身体介護		生活援助		独自・緩和		自由		利 用 契約者	合計援助 時間数
		延べ件数	延べ時間数	延べ件数	延べ時間数	延べ件数	延べ時間数	延べ件数	延べ時間数		
(当年)	6,926	2,826	1,589	2,272	1854.5	(独自) 1,415 (緩和) 382	(独自) 1394.5 (緩和) 381.5	31	9.75	700	5229.75
(前年)	7,366	3,268	1885.5	2,246	1871.5	(独自) 1,392 (緩和) 444	(独自) 1,376.5 (緩和) 444.5	16	9.25	758	5587.25

1-6 ケアプランはちす苑（居宅介護支援事業）

月	月末契約数	継続	新規	再開	中断	終了	その他	実績	
								要支援	要介護
4月	118	84	8	2	9	4	16	23	68
5月	120	94	8		4	3	11	26	74
6月	114	97	6	1	5	1	8	29	83
7月	116	104	6	1	4	1	4	29	87
8月	115	96	3		7	1	12	27	85
9月	123	100	5	1	3	4	10	31	93
10月	121	99	7	1	4	3	7	28	90
11月	124	108	4	2	4	3	9	28	89
12月	129	111	6		4	2	10	32	86
1月	132	111	8		5	2	8	32	95
2月	133	119	10		3	4	6	34	95
3月	135	119	8		4	2	6	34	95

2 入居者・利用者の状況（2020年度全契約者）

2-1 利用者総数

	全利用者			特養ホーム入居者			居宅サービス利用者※		
	人数	男	女	人数	男	女	人数	男	女
人数	407	152	255	61	11	50	346	141	205
%	100	37.3	62.7	15.0	2.7	12.3	85.0	34.6	50.4

※ はちす苑が提供する居宅サービス[ケアプラン（居宅介護支援）・ショートステイ（短期入所）・デイサービス（通所介護）・ホームヘルプ（訪問介護）]を指す。

2-2 年齢構成

（年齢は2020.4.1現在）

		総数	65未満	65～69	70～79	80～89	90以上	最高齢
全利用者	総数	407	15	19	83	188	102	
	%	100	3.5	5.2	20.4	46.0	24.9	
	男女	152 255	7 8	12 7	37 46	67 121	29 73	94歳 102歳
特養ホーム 入居者	人数	61	1	2	9	27	22	
	%	15.0	0.2	0.5	2.3	6.6	5.4	
	男女	11 50	1	2	4 5	3 24	1 21	92歳 102歳
居宅 サービス 利用者	人数	346	14	17	74	161	80	
	%	85.0	3.3	4.7	18.1	39.4	19.5	
	男女	141 205	6 8	10 7	33 41	64 97	28 52	94歳 101歳

2-3 居住地域

		総 数	佐倉市	四街道市	成田市	富里市	その他
全利用者	総数	407	339	50	1		17
	%	100	83.3	12.3	0.2		4.2
	男	152	123	22			7
	女	255	216	28	1		10
特養ホーム 入居者	人数	61	48	7	1		5
	%	15.0	11.8	1.8	0.2		1.2
	男	11	10	1			
	女	50	38	6	1		5
居宅 サービス 利用者	人数	346	291	43			12
	%	85.0	71.5	10.5			3.0
	男	141	113	21			7
	女	205	178	22			5

2-4 要介護認定の状況

		総 数	自立	要支援	I	II	III	IV	V	障害
全利用者	総数	407		74	54	61	89	90	36	3
	%	100		18.2	13.3	15.0	21.9	22.0	8.9	0.7
	男	152		28	25	28	29	27	14	1
	女	255		46	29	33	60	63	22	2
特養ホーム 入居者	人数	61				4	25	25	7	
	%	15.0				1.0	6.1	6.1	1.8	
	男	11				1	4	4	2	
	女	50				3	21	21	5	
居宅 サービス 利用者	人数	346		74	54	57	64	65	29	3
	%	85.0		18.2	13.3	14.0	15.8	15.9	7.1	0.7
	男	141		28	25	27	25	23	12	1
	女	205		46	29	30	39	42	17	2

2-5 面会・外泊状況（特養入居者）オンライン含む

	回数	50 回以上	49～40 回	39～30 回	29～20 回	19～10 回	9～1 回	なし
	人数	0	0	0	0	0	61	0
面会 回数 (年)	%	0	0	0	0	0	100	0
	男	0	0	0	0	0	11	0
	女	0	0	0	0	0	50	0
外泊 日数 (年)	回数	20 日以上	19～15 日	14～10 日	9～5 日	4～1 日	なし	
	人数	0	0	0	0	0	61	
	%	0	0	0	0	0	100	
	男	0	0	0	0	0	11	
	女	0	0	0	0	0	50	

2-6 特養新規入居者(2020 年度中)

	総数	入居時年齢				入居時要介護度				
		65～	70～	80～	90～	1	2	3	4	5
人数	7	1	1	4	1	0	0	3	1	3
男	2	1	0	1	0	0	0	0	0	2
女	5	0	1	3	1	0	0	3	1	1
	総数	入居前状況								
		在宅	老健	病院	その他					
数	7	7	0	0	1					
男		0	0	0	0					
女		7	0	0	1					

2-7 特養退所者(2020 年度中)

	総数	退所時年齢					退所時要介護度				
		～64	65～	70～	80～	90～	1	2	3	4	5
人数	7	0	0	1	2	4	0	1	3	0	3
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	7	0	0	1	2	4	0	1	3	0	3
	総数	退所時理由									
		在宅	施設	入院	死去						
人数	7	0	0	1	6						
男	0	0	0	0							
女	7	0	0	1	6						

3 特養入居希望者(2021. 3. 31 現在)

	総数	年齢区分					介護認定による要介護度						
		～64	65～	70～	80～	90～	要支	1	2	3	4	5	不明
人数	180	2	3	43	95	37	0	2	8	68	63	34	5
%	100	1.1	1.7	23.9	52.7	20.5	0	1.1	4.4	37.8	35.0	18.9	2.8
男	89	2	3	22	51	11	0	1	6	31	30	18	3
女	91	0	0	21	44	26	0	1	2	37	33	16	2
	総数	現状											
		在宅	老健	病院	他								
人数	180	77	36	43	24								
%	100	42.8	20	23.9	13.3								
男	89	33	16	24	16								
女	91	44	20	19	8								

4 保健・医療サービス

概況

◎サービス目標

前年度の入院件数は、前年度と比較し 0.7%減少となった。特に誤嚥性肺炎での入院が減少した。訪問歯科高輪会と連携し、言語聴覚士による嚥下機能評価を各2名ずつ月1回行った。計7名診察し、1名につき2～3回診療を実施し、食事形態・食事の提供の仕方・食事時の箸、スプーンの選択・食事環境等に関してアドバイスをもらい、食事介助に活かしている。口腔ケアについても、以前より受診者が増加しており、指導されたことを実施することで、成果が出ている。しかしながら、「脱水」「尿路感染症」が原因の入院が横ばいであり、全身状態が年齢と共に低下している利用者への水分提供は、課題である。

感染症防止策としては、利用者・職員の1日2回の検温、職場環境の1日2回の消毒、1回毎に2回の手洗いをやっている。インフルエンザワクチン予防接種も、アレルギーの方を除き100%の接種率であった。研修については、オンライン研修を活用しガウンテクニックを部署毎に指導を行った。「感染症対策アドバイザー」研修も、法人・はちす苑と開催され、多数の職員が資格を取得した。当年度は、インフルエンザ罹患患者・コロナウイルス感染症の罹患者がいなかった。平素より、一人一人が感染症対策に高い意識を持たれている結果である。

○地域連携目標

共生型の23歳男性利用者のショートステイを受け入れた。在宅酸素や、インスリン注射があり、医療的ケアも必要な方である。母親が主となり面倒を見ていたが、入院の必要があり、今回初めてのショートステイ利用となった。若い利用者なので、周囲となじめるのか、長い利用期間を過ごしていけるのか、不安であった。しかし、本人の明るい性格、また、声をかけて下さる利用者もあり、予定の利用期間を過ごすことができた。

デイサービスを利用されている共生型の55歳女性利用者は、同居の母親が病氣療養のため入院となり、緊急でショートステイを利用することとなった。デイサービス、ショートステイ両方を利用しながら過ごされていた。正式に入所する施設も決まり、本人も安堵されていると思う。

○業務遂行目標

当年度より、デイサービス利用者の、バーサルインデックスを使用した機能訓練評価を開始した。開始にあたり、看護師全員が、評価方法のビデオを見た。始めに数名の看護師が、デイサービスの利用者の名前、日常生活の事を職員から聞きながら、本人のデイサービスでの様子を見てチェックした。項目の内容と、利用者の機能の微妙な差異に悩むことはあったが、現在は、機能訓練評価を行う時には、デイサービス勤務の看護師と、2人体制で勤務シフトを組むことにより、スムーズに行えている。今後も、更に身体機能訓練が注目されると思われる。

(健康管理室 看護主任 阿部美樹子)

4-1 健康診断・施設内診療の実施状況

月	健康診断の実施状況		施設内診療日数				
	入居者	職員	内	泌	眼	皮	歯
4月	血圧測定・体重測定		4	2	0	0	4
5月	血圧測定・体重測定・血検・検尿 健康診断・胸部レントゲン	健康診断(胸部レントゲン・血検・検尿・心電図・身長・体重・聴力・視力・腹囲・診察) 腰椎問診・診察	3	2	0	0	4
6月	血圧測定・体重測定・内科健診		5	2	0	0	4
7月	血圧測定・体重測定		4	2	0	0	5
8月	血圧測定・体重測定		4	2	0	0	4
9月	血圧測定・体重測定		5	2	0	0	4
10月	血圧測定・体重測定・血検・検尿 内科健診	夜勤者健康診断(血検・検尿・心電図・身長・体重・聴力・視力・腹囲・診察) 腰椎問診・診察	4	2	0	0	4

11月	血圧測定・体重測定・ インフルエンザ予防接種	インフルエンザ予防接種・	4	1	0	0	4
12月	血圧測定・体重測定		4	2	0	0	4
1月	血圧測定・体重測定		4	1	0	0	4
2月	血圧測定・体重測定		4	2	0	0	4
3月	血圧測定・体重測定		5	3	0	0	4

4-2 施設（内）診療月別内 ※「実人数」は受診した個人単位の人数

診療科		総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	延人数	867	74	56	87	66	58	78	61	67	73	80	82	85
	実人数	444	34	31	42	35	29	36	32	39	36	39	47	44
眼科	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科	延人数	623	62	55	40	41	32	51	50	57	55	39	70	71
	実人数	245	19	19	19	19	16	19	21	22	22	23	23	23
泌尿器科	延人数	122	11	11	9	9	10	9	10	5	12	6	11	19
	実人数	67	6	6	5	5	5	5	5	5	6	6	6	7

4-3 施設（外）医療機関受診状況

診療科		総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	延人数	107	12	13	6	7	6	7	9	14	9	13	7	4
	実人数	85	1	8	6	8	6	9	9	10	8	13	7	4
外科	延人数	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	実人数	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
整形外科	延人数	28	0	1	3	2	2	3	5	3	5	1	1	2
	実人数	23	0	1	3	2	3	3	3	2	2	1	1	2
泌尿器科	延人数	14	0	2	0	2	1	1	1	3	2	1	0	1
	実人数	12	0	2	0	2	1	1	1	2	1	1	0	1
眼科	延人数	14	0	0	4	1	0	0	1	0	1	4	3	0
	実人数	13	0	0	4	1	0	0	1	0	1	3	3	0
脳外科	延人数	20	0	2	0	1	1	1	3	1	2	3	2	4
	実人数	17	0	2	0	1	1	1	1	1	2	3	2	3
精神科	延人数	27	1	3	2	3	3	2	4	2	2	3	0	2
	実人数	27	1	4	2	4	3	2	3	2	2	2	0	2
循環器科	延人数	16	1	1	0	2	1	3	1	1	3	1	0	2
	実人数	16	1	1	0	2	1	3	1	1	3	1	0	2
歯科	延人数	3	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0
	実人数	3	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0
耳鼻科	延人数	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	実人数	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
乳腺科	延人数	4	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	実人数													

	実人数	4	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
救急外来	延人数	34	1	3	3	0	3	3	2	6	5	2	2	4
	実人数	34	1	3	3	0	3	3	2	5	2	2	2	4
ペーサーメーカー	延人数	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
	実人数	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
消化器科	延人数	8	0	1	0	1	1	0	2	1	0	0	2	0
	実人数	8	0	0	0	1	1	0	2	1	0	0	2	0
総合外来	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神経内科	延人数	23	1	3	2	3	2	3	0	4	0	4	0	1
	実人数	23	1	3	2	3	2	3	0	4	0	4	0	1
形成外科	延人数	6	1	0	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0
	実人数	6	1	0	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0
皮膚科	延人数	19	0	1	2	0	3	0	2	1	0	5	1	4
	実人数	17	0	1	4	0	3	0	2	1	0	3	2	1
腎臓内科	延人数	11	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	実人数	11	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
嚥下外来	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4-4 入院の状況（特養在所契約期間中）

件数	入院 総日数	平均 入院日数	実人数	性別		年齢別内訳			
				男	女	50～	70～	80～	90～
30	453	15.1	29	8	21	3	3	17	6

※入院総日数⇒入院日 退院日含む

4-5 入院理由

肺炎	3	心虚血	1
誤嚥性肺炎	2	尿路感染	4
急性胆嚢炎	1	低ナトリウム血症	2
頭部外傷	1	胆管炎	1
脳梗塞	1	敗血症	1
脱水	4	腎炎	1
左大腿部痛	1	胸椎圧迫骨折	1
意欲低下	1	心不全	2
重症逆流性食道炎	1	悪性リンパ腫	1
慢性心不全憎悪	2	硬膜下血腫	1
神経因性膀胱	1		

4-6 機能回復訓練（指圧）の実施状況

	特別養護老人ホーム (外部委託含)			ショートステイ (外部委託含)			デイサービス		
	日数	延人数	実人数	日数	延人数	実人数	日数	延人数	実人数
合計	265	988	10	280	488	13	308	3,696	62

5 食事サービスの状況（栄養係）

5-1 標準献立（平均所要量エネルギー1512kcal//蛋白 64.6g//脂質 30.6g//糖質 235.9g）

	朝食（8:00～）	昼食（12:00～）	夕食（18:00～）
献立名	ごはん 納豆 小松菜のおかか煮 なめたけおろし もやしと麩のみそ汁 牛乳	カレーライス フレンチサラダ らっきょ・福神漬け きゅうりのぬか漬け チンゲン菜とわかめのスープ フルーツ（キウイ）	ごはん 赤魚の煮つけ 里芋添え キャベツのソテー 白菜漬け 玉ねぎと人参のみそ汁

5-2 食種構成表

総数	主 食				副 食				胃ろう
	白米	軟飯	粥	粥ミキサー	常菜	一口	きざみ	ソフト	
50 (入院4)	19		7	3	12	17	12	5	0

5-3 行事食献立

月	行事名	献 立 名
4月	お花見	甘酒を提供する。
5月	八十八夜 端午の節句 お楽しみ	デザートにお茶まんじゅうを提供 あなごのちらし寿司、里芋といかの煮物、たけのこの沢煮、水ようかん やわらか牛丼、ふきの炒め煮、きゅうりの漬物、なめこのみそ汁 ごはん、すずきの西京焼き、白菜煮びたし、ふきの葉の佃煮、まいたけのみそ汁
6月	入梅 千葉県民の日 芒種 和菓子の日 夏至	まぜご飯、いわしの生姜煮、豆腐さらだ梅風味、漬物、プリン、みそ汁 みそラーメン、焼きおにぎり、ほうれんそうピーナツ和え、杏仁豆腐 雑穀ごはん、さばの竜田揚げ、ひじきの煮物、しその実漬け、南瓜のみそ汁、オレンジ たけのこごはん、炒り鶏、豆腐のなめたけがけ、とろろ芋、きゅうり漬け、紅白そうめん汁、抹茶ようかん ごはん、豚の生姜焼き、冬瓜煮、ぬか漬け、さつま芋のみそ汁、うめゼリー
7月	七夕 土用うしの日 はちすフェスティバル	五目そうめん、海老とピーマンの天ぷら、セロリのれもん風味、星形のねりきり やわらかうな丼、信田の炊き合わせ、奈良漬け、豆腐すまし汁、キウイフルーツ にぎり寿司（まぐろ、サーモン、ねぎとろ、納豆、いなりすし、たまご焼き等） マンゴー、けんちん汁
8月	山の日 お盆	オムライス、苦瓜の炒め、かにかまのみつばのすまし汁、フルーツ（すいか） いなり寿司、豆腐と肉のごまみそがけ、ぜんまいの煮物、のっぺい汁、黄桃缶
9月	重陽の節句 敬老会 敬老の日 秋分の日	栗ごはん、鰯の香味焼き、ほうれん草の菊花和え、白菜の浅漬け、まいたけのすまし汁、フルーツ（梨） 扇型赤飯、ぬか漬け、マグロとサーモン盛合わせ、炊き合わせ、青菜のくるみ和え、茶わん蒸し、そうめん汁、フルーツ（梨、巨峰）→松花堂弁当での提供 蒸エビちらし寿司、肉詰め信田の煮物、はんぺんとふのりのすまし汁、ねりきり ごはん、天ぷらの盛り合わせ、菜の花の辛子和え、漬物、しめじのすまし汁、白桃缶

	十五夜	しそ香りごはん、鮭のつけ焼き、白菜とホタテの煮びたし、漬物、なめこと水菜のすまし汁、ねりきり
10月	はちす苑開設記念日 愛光広報誌掲載 発酵食品 ハロウィン	赤飯、白身魚の山芋焼き、小松菜と蒸し鶏の辛子和え、漬物、ふのりのすまし汁 お汁粉 さつま芋ごはん、鰯の甘酒みそ焼き、切干大根煮物、浅漬け、とろろ昆布すまし汁、 ブルーネ紅茶煮 クリームチーズ入り南瓜サラダを提供。
11月	寿司パーティー 愛光広報誌掲載 発酵食品	寿司職人が来苑し、マグロ、サーモン、ほたて等握りたてを味わった。 さつま芋ごはん、鰯の甘酒みそ焼き、切干大根煮物、浅漬け、とろろ昆布すまし汁、 ブルーネ紅茶煮
12月	麺の日 忘年会 冬至 クリスマス 大みそか	みそラーメン、春巻き、杏仁豆腐、豆乳飲料 すき焼き、きりたんぽ鍋、蟹の寄せ鍋、など各街で鍋を味わった。 ごはん、手作りさつま揚げ、青菜ゆず和え、大根塩もみ、はるさめスープ、南瓜プリン ミートソースドリア、ツナサラダ、アスパラガススープ、もみの木のねりきり 年越しそば、海老と野菜のてんぷら、いなり寿司、野菜ジュース
1月	お正月 七草 鏡開き	元旦の昼：すまし仕立てのお雑煮、赤飯、お刺身盛り合わせ、炊き合わせ、かまぼこ、 伊達巻、栗きんとん、和菓子 →松花堂弁当での提供 2日の昼：みそ仕立てのお雑煮、かにちらし寿司、茶わん蒸し、切り干し大根の煮物、 ココナッツミルクゼリー黒豆のせ 七草粥、鰯の塩こうじ焼き、白菜と厚揚げの煮浸し、大根の浅漬け、えのきだけすまし 汁、豆乳寒天黒みつがけ ごはん、ぶりの照り焼き、五目豆、漬物、小松菜のスープ、おしるこ
2月	節分 バレンタインデー お楽しみ	卵の太巻きすしといなりすし、つみれと大根の煮物、すまし汁、あんず寒天 ごはん、鶏肉のクリーム煮、南瓜サラダ、漬物、エリンギスープ、チョコの和菓子 ごはん、マグロの山かけ、鶏肉のゴボウ煮、ぬか漬け、豚汁、キウイフルーツ
3月	ひなまつり ホワイトデー 愛光創立記念日 春分の日 お彼岸	菜の花のちらし寿司、薬味やっこ、三平汁、和菓子 チョコのババロア 赤飯、とろびんちょうマグロの山かけ、炊き合わせ、かきたま汁、ココナッツミルクゼ リー ごはん、えびと野菜の天ぷら、小松菜の白和え、おしんこ、すまし汁、おしるこ やわらか大福

6 運営管理

6-1 職員状況

職 名		2019. 4. 1	2019. 4. 2～2020. 3. 30				2020. 3. 31
		現員数	退職	異動出	異動入	採用	現員数
総 数		89 (44)	5 (2)	1 (1)	2 (1)	9 (8)	94 (50)
苑長（施設長）		1					1
総務課	（法人所属）事務員	1					1
	事務員	1 (1)					1 (1)
	運転手	1 (1)					1 (1)
	クリーンスタッフ	7 (7)				1 (1)	8 (8)
	管理宿直者	3 (3)					3 (3)
	配食サービス配達員	5 (5)					5 (5)
施設サービス課	課長	1					1
	主任ケアスタッフ	3					3
	ケアスタッフ	29 (8)	2 (1)		2 (1)	3 (3)	32 (11)
	生活相談員	1					1
	管理栄養士	1		1	1		1
居宅サービス課	【ケアプラン】						
	主任ケアマネジャー	1					1
	ケアマネジャー	2				1 (1)	3 (1)
	【デイサービス】						
	主任ケアスタッフ	1					1
	ケアスタッフ	11 (7)	3 (1)			3 (2)	11 (8)
	生活相談員	1					1
	ボランティアコーディネーター	1 (1)					1 (1)
	【ホームヘルプ】						
	居宅サービス課課長（サ提）						1
	主任ケアスタッフ（サ提）	1					1
	サービス提供責任者	1					1
健康管理室	訪問介護員	2					2
	登録ヘルパー	9 (9)					9 (9)
	医師	1 (1)					1 (1)
	主任看護師	1					1
	看護師	7 (3)		1 (1)		1 (1)	7 (3)
	機能訓練職						

※ 網掛けについては、一部総数に計上していない。数字は総数で表示し、内パート職員の数（ ）内に再表示している。

6-2 職員研修・訓練など実施状況

法人研修		
日付	研修内容	参加人数
4/11	感染症対策研修(オンライン)	8
10/16	安全運転講習	2
10/14	メンター面談研修	1
12/7	感染症対策アドバイザー検定研修	4
3/26	労務管理者研修	1

施設内研修		
日付	研修内容	参加人数
4/30	感染症対策研修(オンライン)	7
5/2	感染症対策研修(オンライン)	7
5/3	感染症対策研修(オンライン)	7
5/4	感染症対策研修(オンライン)	4
5/6	褥瘡予防研修	10
5/7	感染症対策研修(オンライン)	5
5/8	感染症対策研修(オンライン)	6
5/10	感染症対策研修(オンライン)	6
5/16	感染症対策研修(オンライン)	12
6/3	嚥下 口腔ケアについて(オンライン)	9
10/7	身体拘束廃止研修(オンライン)	8
8/5	救急対応について(オンライン)	21
6/10	摂食嚥下の基本、食事介助時の姿勢(オンライン)	11
12/9	ターミナルケア研修「ご家族の思いを聴く」	11
2/3	感染症対策アドバイザー検定研修(オンライン)	11

外部研修		
日付	研修内容	参加人数
7/29	居宅介護支援事業所の経営について(オンライン)	4
8/25	業務効率化 コスト削減について(オンライン)	1
8/27	介護支援専門員として医療連携を図るための勉強会	1
9/27	法的根拠をおさえたケアプラン作成について	1
6/30	プライバシーの保護 法連順守に関する研修(オンライン)	1
7/3	アドラー心理学に基づく実践コーチングスキルアップ術(オンライン)	1
9/25	給食施設管理者・従事者研修会 日本人の食事摂取基準	1
11/9	安全運転管理者講習会	2
11/20	ICT化による生産性向上研修(オンライン)	2
12/1	コロナ渦における退院支援について	2
12/14	アルコール依存症の理解と本人、家族への支援について	1
2/2	事業継続に関する研修(オンライン)	2
2/19	千葉県老施設協 新施設長研修会	1
2/20	支援システムの構築にケアマネジャーはどう関わっていくのか	2
2/25	介護保険改正、地域共生社会について(オンライン)	2
3/14	訪問介護フォーラム WITH コロナ時代にこそ求められる訪問介護	2
3/15	訪問介護におけるターミナルケア	2

訓練など		
日付	内容	参加人数
7/8	防災訓練(夜間想定)	特養職員
9/9	防災訓練	全職員
11/5	防災訓練	全職員
9/18	ガウンテクニック訓練	12
9/19	ガウンテクニック訓練	10
9/21	ガウンテクニック訓練	9
9/22	ガウンテクニック訓練	9
9/25	ガウンテクニック訓練	8
9/26	ガウンテクニック訓練	10
9/28	ガウンテクニック訓練	9
3/10	感染症対策訓練 ゾーニングについて	14

7 諸会議の開催状況

	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運営会議	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
虐待防止・身体拘束廃止委員会	4			1			1			1			1
特養主任会議	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
入居判定会議			1		1		1			1			1
デイサービス会議	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ホームヘルプ会議	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
栄養改善会議	6	1		1		1		1			1	1	
サービス担当者会議	60	3	5	6	4	5	6	6	6	6	6	5	2

8 実習受け入れ状況

依頼教育機関等	実 習 目 的	日数	件数	人数
※総数		75	2	4
新国際福祉カレッジ	介護福祉士	30	1	1
新国際福祉カレッジ	介護福祉士	10	1	2
植草学園短期大学	介護福祉士	13	1	3
植草学園短期大学	介護福祉士	20	1	3
植草学園短期大学	介護福祉士	9	1	2
植草学園短期大学	介護福祉士	2	1	4
千葉県新規採用職員施設研修	職場体験	2	1	5
佐倉市社会福祉協議会	介護職員初任者研修	1	1	1
日本医科大学	医学実地演習	4	1	20

9 ボランティア活動

9-1 活動状況(年間実績)

活動内容			理 髪	施設 環境・備 置整備	清拭布・洗濯物た たみ	生 活 介 助	作 業 補 助	行 事 協 力	傾 聴・朗 読等	手 工 芸 陶 芸 ク ラ ブ	音 楽 療 法	生 花・茶 道ク ラ ブ	公 演・発 表	そ の 他
4月	延人数	11												11
	人数	1												1
	回数	11												11
5月	延人数	9												9
	人数	1												1
	回数													
6月	延人数	13												13
	人数	1												1
	回数	13												13
7月	延人数	11												11
	人数	1												1
	回数	11												11
8月	延人数	12												12
	人数	1												1
	回数	12												12
9月	延人数	13	3											10
	人数	3	2											1
	回数	13	3											10
10月	延人数	13	2											11
	人数	2	1											1
	回数	13	2											11
11月	延人数	11												11
	人数	2												2
	回数	11												11
12月	延人数													
	人数													
	回数													
1月	延人数	11												11
	人数	2												2
	回数	11												11
2月	延人数	16												16
	人数	2												2
	回数	16												16
3月	延人数	21												21
	人数	2												2
	回数	21												21
合計	延人数	149												
	人数	20												
	回数	140												

9-2 ボランティア登録状況

活動内容	人数	団体名
施設環境整備		
理美容	4	個人
清拭・洗濯たたみ		
生活補助		
傾聴		
陶芸クラブ		
音楽クラブ		
茶道クラブ		
囲碁・将棋		
歌・演奏		
生花クラブ		
車椅子清掃		
その他（誘導・散歩等）	2	個人（犬の散歩）

10 行事・活動等実施状況（2020.4.1～2021.3.31）

月	行 事 内 容
5 月	7 日入居者・職員 健康診断
6 月	19 日内部監査 26 日 監事監査
7 月	19 日 特養・ショート入居者納涼祭（はちフェス）
9 月	20 日敬老会（家族ビデオレター）
11 月	4 日入居者・職員 健康診断 10・17 日 インフルエンザ予防接種（入居者・職員）
12 月	20 日 特養・ショート入居者忘年会
R2 1 月	1 日 獅子舞
3 月	5・17 日 職員 PCR 検査（千葉県高齢者入所施設職員を対象とした PCR 検査）
	10/15 介護者のつどい（1 回のみ開催） 特養・SS 毎週日曜日 お楽しみ活動実施（カラオケ 体操など）

IV. 地域福祉事業部

概況

スローガンを、「地域づくり 子育ての目くばり気くばりから」とした。児童センターは家庭、学校に加えて「第三の居場所」として、学童保育所は「家庭に代わる生活の場」としての機能を、可能な限り発揮できるようにアイデアを出し合いながら児童の健全育成に努めてきた。

前年度末3月2日(月)から、新型コロナウイルス感染対策として、各学校とも修了式までの間、臨時休校となったが、学童保育は通常どおり開所し、保護者の就労支援の対応を行った。

しかし、4月7日(火)の緊急事態宣言発出に伴い、引き続き学校は臨時休校となり、学童保育所は利用の自粛要請をして、極力利用を控えていただくこととした。家庭での保育が可能な方は、手続きをしていただいたうえで減免措置とした。また、学童保育所は、臨時休所としたが、医療従事者等を対象に特別保育を行った。緊急事態宣言が延長され、休校措置は5月下旬まで続き、分散登校から徐々に再開されるのと同時に、学童も再開していった。

この間、児童センターは臨時休館とし、6月16日(火)から再開した。学童保育所も児童センターも「コロナを入れるな！出すな！」を合言葉に、○マスクの着用 ○手指消毒の徹底 ○三密(密閉・密集・密接)の回避を徹底した。

児童センターは、休館中に、館内の蛇口をすべて自動水栓に改修し、極力手を触れる部分を少なくした。入場時間帯と入場可能な人数を制限するとともに、共用部分からすべてのイスやテーブルを撤去するなどして、滞在時間を短くした。遊具は、すべて除菌・消毒を施してから貸し出すようにし、入れ替え時には、トイレをはじめとして室内すべての清掃および消毒・除菌を徹底した。

感染拡大が収まらないなか、休館中でも児童センターと同じような遊びが家庭でもできるようにと、YouTubeを活用して、種々の遊びをシリーズ化して、「おうちあそび」と称して発信してきた。また、新生児を抱え、自由に外出もままならない「新米ママ」たちを対象に、10月から「ゆりかごタイム(0歳対象)」「さくらんぼタイム(多胎児対象)」をスタートした。子育ての不安からコミュニティーの場を求めて、1週間ほどで定員に達し、さらに開催日を増やして対応しなければならないほどの盛況だったが、1月7日(木)、再び緊急事態宣言が発出され、安全対策のため、事業を中止せざるを得なかった。

児童センターは、単に遊ぶための施設ではなく、家庭育児をされている方の気分転換など、心の拠り所としての存在もあるため、2度目の緊急事態宣言下は、休館することなく対応した。結果として、年間3,703名の入館となり、前年対比約13%程度の入館者であった。

○サービス目標

開館中は、可能な限り子育てコンシェルジュによる子育て相談を開設したが、利用者は少数であった。

○地域連携目標

根郷地区社会福祉協議会やまちづくり協議会など、関係諸団体とのすべての事業を中止とした。ねっこ食堂や寺崎食堂は弁当の配布などを行ったが、チラシ配布などの協力をした。

○業務遂行目標

計画していた子どもの社会参加の促進事業は推進することができなかったため、次年度開催へ継続した。

○人材育成目標

県が主催する「学童支援員認定資格研修」は開催されたので、該当職員を派遣したが、毎年開催してきた基礎知識、専門性を高める内部研修の開催は、蜜を避けるため見送った。外部団体が開催した種々のWEB研修会は、可能な限り受講した。

(所長 吉田 信之)

IV-1 サービスの利用状況(2020.4.1～2021.3.31)

IV-1-1 佐倉市立南部児童センター

(1) 施設利用状況 (人)

	開館日数	幼児	小学生	中学生	高校生	一般	合計
年間利用数	235	1,360	632	272	21	1,418	3,703
一日平均		5.8	2.7	1.2	0.1	6.0	15.8

※新型コロナ感染対応のため、4月1日から6月15日までの間臨時休館

(2) 図書貸出状況 (人)

	開館日数	延べ利用者数	貸出冊数	新規登録者数
年間利用数	0	0	0	0
一日平均		0	0	0

※新型コロナ感染対応のため、図書室は通年閉鎖

(3) 事業実施状況(延べ人数)

区分	事業の名称	実施回数	参加人数	事業内容
子育て支援に関する業務	①子育て中の親子へ遊び場の提供業務			
	ひよこタイム	0	0	スキンシップあそび・わらべうたあそび・絵本読み聞かせ
	ゆりかごタイム	29	379	スキンシップあそび・身体測定・母親同士の交流・保健師・栄養士による相談
	ペンギンちゃんタイム	0	0	スキンシップあそび・わらべうたあそび
	うさぎちゃんタイム	0	0	2歳以上 月2回毎水曜日(8月を除く)
	くまちゃんクラス	0	0	2・3歳児親子遊び 第2 第4火曜日
	さくらんぼちゃんタイム	7	34	多胎児保護者、妊婦の交流、情報交換の場
	ひよこランド	0	0	くまちゃんクラスの参加親子によるお店屋さんごっこ
	ひよこスペシャル	0	0	家族でひよこタイムに参加し、あそびの楽しさの体験・スマイルクラブとの交流
	幼児親子あそび	0	0	講師による親子あそびの紹介と実践
	おはなし会	0	0	司書による絵本読み聞かせ・わらべうた遊び
	乳幼児遠足 (佐倉草ぶえの丘)	0	0	季節の自然に触れながら、母親同士の交流
	幼児親子バス遠足	0	0	季節の自然に触れながら、母親同士の交流(アンデルセン公園)
	幼稚園説明会	0	0	南部地区近隣幼稚園の職員を招いて説明会
	おはなしキャラバン	0	0	人形劇、大型絵本、パネルシアター、絵本の鑑賞
	県民の日あそびのフェスティバル	0	0	色々なあそびを通して交流を深める。高齢者クラブと連携
	あそびりんぴっく	0	0	スマイルクラブによるあそびのブース
	②子育て相談業務			
	誕生会&大きくなったかな?	0	0	お誕生児に手形・缶バッジプレゼント・身体測定
	子育てコンシェルジュ	0	0	子育てコンシェルジュを招いて、子育ての個別相談・支援業務

	③子育てサークル等の支援業務	子育てサロン (はっぴいランチ)	0	0	昼食を摂りながら、母親同士の交流を深めリフレッシュする場
遊びを通しての体力増進指導業務		幼児体操教室	0	0	講師による親子運動あそびの実践
		小学生体操教室	0	0	ゲームあそびを通して体力作り。跳び箱、ボール等を使った運動あそび
児童の健全育成に関する業務	①行事活動業務	県民の日あそびのフェスティバル	0	0	高齢者クラブと連携。工作、魚釣りゲームなどのブース
		水風船大会	0	0	水風船大会を通しての交流
		おばけやしき	0	0	スマイルクラブが企画・運営。地域との交流
		愛光秋まつり	0	0	障害者、高齢者との交流
		あそびリンピック	0	0	スマイルクラブによるあそびのブースを展開
		放課後Xデー (スポーツ大会)	0	0	集団あそびをとおして、異年齢の交流を図る。ドッジボール、スポーツ鬼ごっこ等
		こわいおはなし会 & ミニ工作	0	0	司書による怖い絵本の読み聞かせ、素話。スライム作り
	②小学生を対象とする活動業務	夏のおはなし会	0	0	
		将棋クラブ	0	0	駒の名前や動かし方、ルールなどを覚えて対局
		卓球大会	0	0	色々な学校・学年の友だちとの対戦し交流を図る
		生け花教室	0	0	伝統文化の体験
		小学生バス遠足	0	0	他校、他学年との交流(科学技術館)
		臨時開館	0	0	中学生の居場所づくり(かき氷の配布)
	③中学生を対象とする活動業務	中高生バスケ大会	0	0	参加者希望による3対3ミニゲーム
		スマイルクラブ	0	0	通年 障害者施設や老人施設などの訪問・交流活動
	④ボランティア、サークル支援活動業務	お化け屋敷実行委員会	0	0	お化け屋敷の企画運営
		ボランティア交流会	0	0	こんにやく作り体験(根郷地区まち協との連携)
		子育て応援サポーター	0	0	はっぴいランチ、くまちゃんクラス幼児見守り、将棋教室補助など
		ゴミゼロ運動	0	0	根郷地区まちづくり協議会との連携
	⑤地域交流・世代間交流活動業務	ともいきランチ	0	0	南部地域福祉センターとの連携
		赤い羽根共同募金活動	0	0	佐倉市社会福祉協議会との連携/しおり作成
		高齢者施設訪問	0	0	高齢者施設の敬老会やオレンジカフェなどへの参加
		共同募金活動等	0	0	佐倉市社会福祉協議会との連携
		まち協芋ほり等	0	0	根郷地区まちづくり協議会との連携
		ラン伴	0	0	南部包括との連携/認知症啓発活動
		根郷福祉まつり	0	0	根郷社会福祉協議会や各種団体との連携
		Christmas concert	0	0	家族で参加できるオーケストラコンサート
		ボランティアの受け入れ	0	0	南部地域福祉センターとの連携・共同企画
		ともいきマルシェ	0	0	事業部内および高齢者施設との連携/休館のため中止

(4)南部児童センター 主な行事実施状況

月	行事内容
1月	小学生書き初め展(1/14～2/2)
その他の行事は、新型コロナウイルス感染対応のためすべて中止	

(5)子育て相談(件)

子育て支援	家庭問題	発達課題	あそび場の情報
9	2	7	1

IV-1-2 学童保育所

(1)登録・利用状況(開所日数292日)

	定 員	登録者数 (延べ人数)	延べ利用者数 (年間総数)	一日平均 利用者数
根 郷 学 童 保 育 所 (対象学年1年～3年)	55	722	9,653	33.0
第二根郷学童保育所 (対象学年1年～6年)	60	522	6,095	20.8
和 田 学 童 保 育 所 (対象学年1年～6年)	15	239	2,762	9.4
弥 富 学 童 保 育 所 (対象学年1年～6年)	65	216	2,797	11.4
寺 崎 学 童 保 育 所 (対象学年1年～3年)	60	745	8,192	28.0
大 崎 台 学 童 保 育 所 (対象学年1年～6年)	30	415	4,452	15.2
山 王 学 童 保 育 所 (対象学年1年～6年)	50	382	4,993	17.0
全学童計	335	3,241	38,944	133.3

(人)

※ 4月20日(月)～5月2日(土) 全学童臨時休所

ただし、特別保育対象者(事業の継続要請) …「特別保育申請書」を提出により利用可とした

※ 5月7日以降も当面の間、全学童臨時休所

※ 5月25日非常事態宣言解除

(2)学童保育所の主な行事

○各学童とも、火災避難訓練、地震避難訓練、不審者対応訓練以外の行事は、すべて中止とした

IV-1-3

(1) 職員状況

	2020.4.1 現員数	2020.4.1～2021.3.31				2021.3.31 現員数
		採用	異動入	異動出	退職	
総数	48(32)	23(20)	3(1)	3(3)	26(23)	46(33)
所長	1(0)	・	・	・	・	1(0)
主任	1(0)	・	・	・	・	1(0)
インストラクター	7(5)	・	・	1(1)	1(1)	7(5)
学童支援員	27(17)	2(10)	3(1)	・	9(8)	24(16)
学童支援員補助	8(8)	10(10)	・	2(2)	13(13)	10(10)
事務員	2(0)	1(0)	・	・	3(1)	1(0)
用務員	2(2)	・	・	・	・	2(2)

(2) 職員の研修状況

全 体 研 修					
月日	研修名	人数	月日	研修名	人数
	職員全体研修研修(悉皆)	中止		実践発表会	中止

あ

学童支援員資格認定研修会					
月日	研修名	人数	月日	研修名	人数
9/7,9, 13,17	第1期受講者 (千葉市)	3	11/15,2 2, 29,12/6	第6期受講者 (茂原市)	0
9/28,10/1, 5,9	第2期受講者 (千葉市)	2	12/4,5, 11,13	第7期受講者 (柏市)	0
10/13,16, 20,27	第3期受講者 (柏市)	0	1/13,15, 20,22	第8期受講者 (習志野市)	0
11/1,7, 8,14	第4期受講者(習志野市)	2	1/14,19 ,21,26	第9期受講者 (成田市)	0
11/.9,18, 21,24	第5期受講者 (市原市)	0	2/1,4, 9,11	第10期受講者 (千葉市)	0

施設内研修					
月日	研修名	人数	月日	研修名	人数
4/1～3	新任職員研修	3	12/7	感染症対策研修会	2
	感染症対策 WEB 研修会 4/11, 20, 23, 30, 5/2,3,8,9,10,14,16,17,23,30,			中期経営セミナー 7月から原則毎第4水曜日	1
11/26	子ども人権オンライン研修	2	3/26	労務管理者研修	2

外 部 研 修					
月日	研修名	人数	月日	研修名	人数
11/11	WEB 接遇研修	1		児童虐待 WEB 研修 11/24,25,26,27,12/1,2,3,4,5,7,8,9	20
11/13	資質向上研修	1	1/31	全国子ども健全育成リーダー 養成セミナー（Zoom）	2
11/19	WEB ハラスメント研修	1	2/19	資質向上研修	1
11/26, 27	保育博覧会（東京都）	2			

(3) 実習生受け入れ状況

期間	養成機関名	実施対象資格等	人数
9 月 4 日	聖徳大学	社会福祉士/介護福祉士/保育士	1
9 月 9 日	〃	〃	1
9 月 11 日	〃	〃	1
9 月 29, 30, 10/1 日	〃	〃	3
10 月 6 日	東京福祉専門学校	介護福祉士/保育士/幼稚園教諭	2
10 月 8 日	〃	〃	1
10 月 28 日	城西国際大学	社会福祉士/介護福祉士/保育士/幼稚園教諭	1
11 月 11 日	〃	〃	1
11 月 18 日	〃	〃	1
11 月 20 日	〃	〃	1
延べ 12 日間	3養成機関		13

総合相談センター

（ 佐倉市障害者生活支援センターアシスト / 佐倉市南部地域包括支援センター ）

概況

スローガンを、「つなげよう！広げよう！ともいきの輪」としたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画通りとはならない1年となった。緊急事態宣言発令時には、感染症対策に配慮しながら訪問を行い、極力、電話での相談や対応に切り替えた。地域の方々も地域活動の制限や外出自粛を余儀なくされた。地域の方に参加して頂く事業については、開催方法や内容について新しい形を検討しながら進めてきた。次年度も事業展開するにあたって、新たな取り組みが求められている。

○数値目標

コロナ禍により、介護予防教室等、市で定められた回数の開催が難しかった。アシストでは、電話モニタリングを積極的に行い、継続した対応ができるようにコロナ禍での状況把握に努めた。

【アシスト】

計画相談（児・者）	140 件→273 件
モニタリング件数	350 件→468 件
障害区分認定調査件数	90 件→134 件

【南部包括】

介護予防教室（としとらん塾）	12 回→ 8 回
介護者教室	4 回→ 4 回
予防プラン給付件数	月 105 件→ 82 件
地域ケア推進会議	年 2 回 → 1 回
地域ケア個別会議	隔月 → 6 件

○サービス目標

包括支援センターでは毎朝、前日の新規ケースを確認し、チームとして関わることを意識し、迅速かつ継続的に対応できるよう取り組んだ。さらに週1回、ケース確認を行い情報共有に努めた。

アシストでは、週1回のアシスト会議や、隔月の合同事例検討会の開催を通じて、対応の振り返りの機会を設け、専門職としての質の向上を目指した。

○地域連携目標

包括支援センター、アシスト共に、関係諸団体や住民等との連携を目標とした。地域住民との関わりにおいては、地域への出前講座や住民主体の活動への参加等がほぼ中止となった。

医療介護連携会議（通称：さきいか）では、オンラインでの定期連絡会、年2回の研修会を行った。コロナ禍における医療と介護の情報共有の方法等、ケアマネジャーからのアンケートも行い、多職種連携の強化を図った。8月には医療介護連携共通連絡票の本格運用に向けて、包括職員が圏域の医療機関を廻り、包括支援センターの周知と連絡票の説明を実施した。

地域ケア会議の開催については、地域ケア個別会議を中心に進め、個別課題から地域課題の抽出を行った。12月には「南部を知る会」と題し、自立支援型地域ケア会議を開催した。事例を通じて、サービス事業所、ケアマネジャー、地区社協の支えあいサービスとの意見交換を行い、お互いの役割を知り、地域資源を有効活用できるような情報共有の場となった。

認知症当事者や家族の支援として、毎月オレンジカフェを計画したが、本年度は計6回の開催となった。他のオレンジカフェとオンラインで繋いで演奏会を開催する等、コロナ禍でも楽しめるものを企画した。

○業務遂行目標

包括支援センター、アシスト共に、関係機関との「顔の見える関係づくり」を意識して取り組んだ。民生委員との定例会には毎月参加しているが、コロナ禍により開催できない月もあった。お会いできない時期も、適宜、電話で状況を確認し合い、地域の状況把握に努めた。

アシストでは、市内事業所との事例検討会を主催し、横のつながり、連携の輪がひろがるよう企画した。また、ハンズフリーで電話対応できるようヘッドマイクを取り入れ、業務の効率化を進めた。

○人材育成目標

総合相談センターとして、多問題家族の事例の共有を行い、さらにはちす苑との合同勉強会を通じて、事業所間の連携を深めた。また、総合相談センター全体で実習生を受け入れ、職員の指導力の向上を目指した。本年度は出張による研修は減ったが、オンラインによる研修に積極的に参加し、個々の専門性を高めるため、幅広い知識習得を目指した。

（所長 森 由美子）

【アシスト】

1-1 業務内容

○基幹相談支援センター事業並びに業務

- ①総合的・専門的な相談支援の実施
- ②地域の相談支援体制の強化の取組
- ③地域移行・地域定着の促進の取組
- ④権利擁護・虐待の防止

○生活全般の相談

○サービス利用に関する情報提供等の福祉サービスの利用援助

○情報提供、相談、アセスメント、サービス等利用計画の作成、サービス調整、モニタリング、個別ケース会議 等

○サービス事業者との連絡調整、担当者会議の開催

○利用者負担の上限額管理

○社会資源を活用するための支援や各種支援施策に関する助言・指導等

○社会生活力を高めるための支援や権利の擁護のために必要な援助 人間関係、健康管理、金銭管理等

○ピアカウンセリング

○専門機関の紹介

○総合支援協議会の運営

○相談員との連携に関すること

《社会資源の改善・開発に向けた調整》

①相談支援事業をはじめとするシステム作りに関し、中核的役割を果たす協議の場

②相談支援事業者、福祉サービス事業者、保健・医療、学校、企業、高齢者介護等の関係機関、障害当事者団体、権利擁護関係者、地域ケアに関する学識経験者等で構成する。

③主な機能

○福祉サービス利用に係る相談支援事業の中立・公平性の確保

○困難事例への対応の在り方に関する競技・調整

○地域の関係機関によるネットワーク構築等に向けた協議

○地域の社会資源の開発、改善

○権利擁護等の分野別のサブ協議会等の設置、運営

○その他（市町村障害福祉計画の作成・具体化に向けた協議など）

○専門的な相談支援等を要する困難ケース等への対応

○相談支援事業者間の連携

1－2 障害者相談支援事業

(1) 相談者実人数

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
4月	217	29	2	68	125	21	5	9
5月	185	22	1	56	111	14	8	8
6月	197	27	1	64	101	19	4	13
7月	177	25	1	57	91	17	3	10
8月	190	29	2	56	95	22	4	12
9月	201	37	2	57	101	23	4	10
10月	178	24	0	49	104	18	5	6
11月	174	23	0	52	91	26	4	7
12月	192	25	0	61	93	17	9	16
1月	180	21	4	50	90	23	5	15
2月	190	25	4	54	91	21	2	16
3月	191	25	2	55	95	21	3	18
計	2,272	312	19	679	1,188	242	56	140

(2) 支援方法件数

	訪問	来所相談	同 行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他
4月	49	11	29	356	15	3	556	328
5月	31	6	32	275	3	2	465	312
6月	64	13	29	322	11	7	501	324
7月	64	10	18	316	7	6	508	353
8月	59	11	19	353	9	4	428	338
9月	75	12	18	290	7	1	452	355
10月	42	9	15	251	3	6	377	286
11月	56	12	19	272	3	2	379	307
12月	50	10	28	299	4	6	404	175
1月	20	14	23	284	2	4	375	38
2月	34	5	26	252	4	3	402	67
3月	45	18	35	309	2	7	491	56
計	589	131	291	3,579	70	51	5,338	2,939

(3) 支援内容数（重複あり）

	福祉サービスの利用等に 関する支援	障害や症状の 理解に関する 支援	健康・医療に 関する支援	不安の解消・ 情緒安定に 関する支援	保育・教育に 関する支援	家族関係・人 間関係に関す る支援	家計・経済に 関する支援	生活技術に関 する支援	就労に関する 支援	社会参加・余 暇活動に関す る支援	権利擁護に関 する支援	その他	日程調整等 軽易な相談等	計
4月	528	55	170	154	6	83	50	54	54	0	48	1039	98	2339
5月	439	40	154	131	10	88	42	61	33	1	30	898	68	1995
6月	467	60	138	154	23	110	54	85	73	1	51	911	111	2238
7月	376	58	181	144	15	133	60	79	53	7	23	1000	106	2235
8月	415	55	134	182	3	124	46	44	73	5	11	971	103	2166
9月	424	26	113	163	12	92	30	61	61	3	22	883	127	2017
10月	303	33	133	119	11	53	23	53	46	1	9	700	89	1573
11月	317	17	139	166	14	73	29	44	42	6	19	696	135	1697
12月	349	38	133	168	34	76	37	51	43	0	11	587	114	1641
1月	356	31	136	162	23	69	35	49	60	6	4	348	117	1396
2月	398	36	156	117	28	71	53	37	54	4	10	355	131	1450
3月	508	36	160	160	17	103	45	46	46	4	19	412	177	1733
計	4,880	485	1,747	1,820	196	1,075	504	664	638	38	257	8,800	1,376	22,480

1-3 障害支援区分認定調査 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
認定調査	13	7	9	15	14	12	13	9	11	13	9	9	134

1-4 計画相談 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画	41	28	33	30	24	25	19	13	16	13	16	15	273
モニタリング	39	29	46	27	38	61	64	26	28	28	39	43	468
計	80	57	79	57	62	86	83	39	44	41	55	58	741

【南部包括】

１－１ 業務内容

○センター業務
①総合相談支援業務
②権利擁護業務
③包括的・継続的ケアマネジメント業務
○在宅医療・介護連携推進事業
○生活支援体制整備事業
○認知症総合支援事業
○地域ケア会議推進事業
○介護予防ケアマネジメント（第一介護予防支援事業）
○一般介護予防事業

１－２ 利用状況

（１）介護予防ケアマネジメント 予防給付（要支援認定者）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
直営件数	74	73	77	78	78	83	83	85	86	87	88	92	984
委託件数	174	177	179	187	178	180	178	179	176	171	176	170	2125
計	248	250	256	265	256	263	261	264	262	258	264	262	3109

（２）総合相談・権利擁護・ケアマネジメント支援

	実数	延数
相談件数	630	2797

（３）方法別相談延べ件数（総合相談のみ）

	平日		土・日	総数	%
	業務時間中	業務時間外	祝日		
来所	167	0	22	189	29%
電話	406	2	34	442	68%
その他	17	0	4	21	3%
合計	590	2	60	652	100%

（４）内容別相談件数（重複あり）

内容	件数	内容	件数
１．ねたきり高齢者	4	11．権利擁護・成年後見制度	6
２．ひとり暮らし高齢者	106	12．消費者被害	0
３．認知症高齢者	101	13．高齢者の虐待（疑いも含む）	12
４．介護に関する事柄	37	14．施設入所	28
５．介護・福祉サービス	424	15．介護方法（技術）	1
６．保健・医療	40	16．やむを得ない事由による措置	0

7. 精神的支援	11	17. 苦情全般	4
8. 生活支援	28	18. 家族間調整	7
9. 状況確認	113	19. 個人の悩み事	12
10. 関係機関調整	27	20. その他	43

2 運営管理

2-1 職員状況

	2020.4.1 現員数	2020.4.1～2021.3.31				2021.3.31 現員数
		退職	異動 出	異動 入	採用	
総 数	14(1)	1			1	14(1)
所長（兼務）	1					1
【アシスト】 管理者（兼務）	1					1
相談支援専門員	5(1)					5(1)
【南部包括】 管理者（兼務）	1					1
主任ケアマネジャー	2	1				1
社会福祉士	4				1	5
看護師	1					1
理学療法士（兼務）	1					1
ケアマネジャー	1					1
生活支援コーディネーター	1					1

※数字は総数で表示し、うちパート職員の数（ ）内に表示。

2-2 職員研修の状況

法人研修			
月・日	研修名	月・日	研修名
4 月	法人新人研修	5 月	感染症セミナー
10/15	安全運転講習	10/16	メンター面談研修
12/7、2/3	感染症対策研修		
施設外			
月・日	研修名	月・日	研修名
9/9	キャラバンメイト養成研修	9/9、10	地域包括支援センター初任者研修
9/27	千葉県介護支援専門員研修	10/7、8	地域包括支援センター初任者研修
9/29	自立支援協議会と基幹相談支援センターを考える研修会（ア）	10/14	高次脳機能障害 地域支援者向け講座
10/12	障害支援区分認定調査員研修	10/21	地域ケア会議に係る市町村研修会
10/23	高次脳機能障害研修懇話会（ア）	10/28	キャラバンメイトスキルアップ研修
10/28	安全運転管理者講習	10/30	初期集中初期集中チーム員 フォローアップ研修

11/17、18	地域包括支援センター初任者研修	11 月	千葉県高齢者虐待防止対策研修
12/7	地域包括支援センター現任者研修	12/9～11	千葉県相談従事者現任研修(ア)
1/7	介護予防通いの場研修	1/21	在宅医療介護連携 コーディネーター研修
1/22	障害者虐待防止・権利擁護 研修(ア)	2/9～ 3/25	介護予防担当者研修 (連続講座 6 回)
2/18	市町村後見申し立て研修	2/18	睡眠が高齢者のところと 体に与える影響
2/18	高次脳機能障害 ジョブコーチ支援研修(ア)	2/22	レスキューナースに学ぶ
2/12、19、 26	高齢者虐待防止現任研修	2/27	障害福祉サービスの報酬改定 勉強会
3/4	千葉県地域連携の会	3/6	生活支援コーディネーター研修
3/16～18	地域包括ケア担当職員セミナー	3/15	地域緩和ケア研修
3/18	セルフネグレクト研修	3/18	チームオレンジ研修
3/19	地域における健康づくり研修会	3/23	チャラバンメイトスキルアップ研修 (中学生対象)
3/26	チャラバンメイトスキルアップ研修 (小学生対象)	3/27	介護報酬改定説明会 (県ケアマネ協議会)
3 月	笑って学べる成年後見講座		

※(ア)…アシスト職員対象研修

2-3 会議等(定例会議)

施設内		施設外	
会議名	開催数	会議名	開催数
アシスト会議 合同会議 包括会議 部内会議	週 1 回 月 1 回 月 2 回 随 時	【アシスト】 佐倉市障害者総合支援協議会 生活支援部会 佐倉市障害福祉関係機関連絡会 佐倉市相談支援事業所事例検討会 精神障害にも対応した地域包括ケアシ テム構築会議(実務者会議) 【南部包括】 管理者会議 5 包括事例検討会 生活支援コーディネーター定例会 認知症地域支援推進員会議 認知症初期集中支援チーム員会議 民児協定例会 医療介護連携会議「さきいか」 介護予防担当者会議	年 2 回 随 時 年 2 回 隔 月 随 時 月 1 回 月 1 回 月 1 回 月 1 回 月 1 回 月 1 回 随 時

概況

『めざせ!! 地域共生「ともいき」事業の発展』をスローガンとしたが、新型コロナウイルスの関係で、サロン・ド・ともいき、世代間交流事業、マルシェなど、ともいき事業が実施できなかった。また、センターのイベントや年間の行事も中止とした。感染症対策としては、利用制限をするとともに、館内の消毒を徹底し、感染リスクの回避に努めた。休所期間中は、普段手が行き届かなかった箇所の環境整備や施設内の片付け、整理を実施した。特に本年度は、毎年年間80台の運行を予定している大型バス運行業務が、コロナの関係で0台の運行となり、当業務の予算に係る余剰金を施設の修繕に利用することができたため、今までできていなかった修繕関係に充てることができた。

センターの開所状況は、2020年3月5日から休所となり、6月から行政利用等の一部利用再開、7月から一部条件・制限付きの一般利用再開、8月から入浴営業の再開、11月から活動制限の緩和があった。その後、1月23日の緊急事態宣言の発出に伴い、休所（行政利用等のみ利用可）となり、3月23日から再び開所となった。完全休所が53日、行政利用等のみの利用日が75日、条件・制限付きの一般利用が179日であった。

○数値目標 利用実績 本年度 15,037人 前年度 63,512人 前年度比 23.6%

○サービス目標

利用者のふれあいの場である「ふれあいサロン南部」「うたごえ喫茶」、センターの年間行事である「南部文化祭」「教養教室発表会」「カラオケ発表会」を中止とした。条件・制限付きの一般利用が可能な期間は、部屋の利用定員を制限し、感染症対策の下、活動が可能な教養教室を実施し、同好会の活動を受け入れた。「愛光たすけあい移送サービス」については、コロナ禍ではあったが、利用者のニーズを確認しながら運行し、年間の利用人数は480人（往復2人でカウント）であった（前年度実績1,113人）。

○地域連携目標

地域のボランティア活動については、ほとんどの団体が活動を自粛した。センターでの利用活動も制限があり、ボランティアの受け入れも例年のようにはできなかった。地域のイベントである「根郷福祉まつり」も中止となった。

○業務遂行目標

2021年から2026年まで（5年間）の指定管理者の公募を申請した。11月に選定結果通知書が届き、3月30日付で佐倉市と協定を締結した。選定理由としては、「サービスの質の向上や住民による地域福祉に関する取り組みへの支援の拡充等が期待され、地域福祉の推進に寄与するものと判断した」とのことであった。年1回開催の第三者委員を交えた「定期利用団体との懇談会」は中止とした。

○人材育成目標

スタッフ会議にて感染症対策の研修会（ビデオ）を実施。

○その他

- ・本年度実施した修繕関係

大広間の畳の床下修繕、大小浴室のタイルの張替、A棟屋上の防水シート一部張替、照明器具のLED化、A棟トイレのウォームレット取り付け、洗面所の給湯配管工事、空調設備の操作盤基盤交換、膨張タンクの部品交換他

- ・A棟健康談話室に設置されていた電位治療器ヘルストロン4台を廃棄処分とした。

- ・本年度の入浴営業について

4～7月まで入浴の営業は休止。8月から人数制限して予約優先で実施した。入浴時間も一人50分に設定し、入浴後の10分間で毎回職員が消毒を行った。年間の入浴利用者は1,032人で、前年度比46.3%であった（前年度2,227人）。

（所長 横川民夫）

1-1 業務内容

○事業並びに業務

1. 各種相談事業
2. 高齢者交流事業
3. ふれあいサロン事業
4. ボランティアセンター運営事業
5. 文化祭・発表会等(イベント)事業
6. 大型バス運営事業
7. 愛光たすけあい移送サービス
8. 浴室運営事業
9. その他施設管理運営業務

1-2 実績

(1) 利用状況(開所日数241日 延べ14,143人 16,072人)

A棟	浴室	大広間	作業室	教養 娯楽室	会議室	健康 談話室	陶芸室	中庭	健康 相談
当年	1,032	903	460	18	1,636	62	461	466	555
前年	2,227	9,614	2,653	2,835	7,287	2,321	1,588	1,895	1,935
B棟	研修室	和室	ボランティア センター	相談室	愛光たすけあい 移送サービス				
当年	7,656	1,517	617	209	480				
前年	24,649	6,843	1,297	303	1,113				

※移送サービス(当年、実施内容の変更により往復2名でカウント)

(2) 大型バス運行利用状況

利用台数	0台
利用人数	0人

(3) 高齢者教養教室の開催

教室の種類	開催日	講師名	受講者数
カラオケ	第2第4金曜日		0人
踊り	毎週木曜日	藤塚早苗 氏	11人
民謡	第1第3木曜日	會田和則 氏	12人
尺八	第2第4木曜日		0人
大正琴	第2第4水曜日	斉藤玲子 氏	10人
書道	第1第3火曜日	長尾左保里氏	10人
いけばな	第2第4火曜日	羽根井和子氏	10人
太極拳	第1第3水曜日	塚本景次 氏	51人
自力整体	第1火曜日・第3土曜日	秋田美智子氏	102人
詩吟	第1第3土曜日	川端恵子 氏	11人

(4) 講座、イベント

講座・イベント名	回数	人数
サロン事業	0	0
高齢者交流事業（教養教室のみ）	7 7	6 6 7
趣味の教室	1 4	4 4
地域福祉のための講座	5	2 8
カラオケ発表会	0	0

(5)

2-1 職員状況

	2020.4.1 現員数	2020.4.1～2021.3.31				2021.3.31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総 数	12(9)	2	1	0	2	11(8)
所長	1	0	0	0	0	1
事務員	2	0	1	0	0	2
管理員	5	2	0	0	1	5
保健師	2	0	0	0	0	2
用務員	2	0	0	0	1	1
ボランティアコーディネーター	0	0	0	0	0	0

※数字は総数で表示し、うちパート職員の数()内に表示。

2-2 職員研修の状況

施設内					
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
5・30	感染症対策セミナー研修	1	12・7	感染症対策研修	1
6・8	感染症対策セミナー研修	11	12・22	中期経営計画研修	1
11・25	中期経営計画研修	1	3・26	労務管理者研修	1

2-3 会議等(定例会議)

施設内		施設外	
会議名	開催数	会議名	開催数
スタッフ会議	5	指定管理ミーティング	6
理事会	2	佐倉市ボランティアセンター運営委員会	2
施設長会議(含臨時)	16	佐倉市ボランティアセンター定例会議	6
愛の灯台基金会議	1		
地域共生プロジェクト会議	10		
リスクマネジメント委員会	2		
ボランティア委員会	7		

3 総合相談センター・児童センターと協働事業の報告

3-1 総合相談センターとの協働事業

事業名	回数	人数
高齢者交流事業	0	0
アクティブシニア事業	12	130

3-2 児童センターとの協働事業

事業名	回数	人数
世代間交流事業	0	0

3-3 はちす苑との協働事業

事業名	回数	人数
サロン・ド ともいき	0	0
まちかどエクササイズ	0	0